

## UltraLite タイプ VN

VK22T/NT-S、VK22T/NV-S、VJ22T/NT-S、VJ22T/NV-S

# 活用ガイド

Windows 10 Pro 64 ビット

■ <b>はじめに</b> ..... 5	■ <b>トラブル解決 Q&amp;A</b> ..... 258
本マニュアルの表記や、商標などの情報を記載しています。 <b>最初にご覧ください。</b>	本機をお使いになっているときのトラブル事例や解決法について記載しています。
■ <b>本機の機能</b> ..... 25	本マニュアルに記載していないトラブル事例や解決法については、「サービス&サポート」をご覧ください。 <a href="http://121ware.com/support/">http://121ware.com/support/</a>
本機の各部の名称やインターフェイスについて記載しています。	■ <b>仕様一覧</b> ..... 306
■ <b>セキュリティチップ</b> ..... 207	Web にて、仕様の詳細情報を公開しています（インターネットへの接続環境が必要です）。
セキュリティチップの概要や使い方について記載しています。	
■ <b>便利な機能とアプリケーション</b> ..... 211	
本機にインストール、または添付されているアプリケーションの概要やインストール、アンインストール方法について記載しています。	

<b>はじめに</b> .....	5	NXパッドの使い方.....	84
はじめに.....	6	NXパッドの設定.....	85
本マニュアルの表記について.....	7	<b>マウス</b> .....	89
「ユーザー アカウント制御」について.....	10	マウスを使用する.....	90
基本操作.....	11	マウスを接続するための設定方法.....	92
サポート技術情報について.....	13	マウスを接続する前の設定に戻す.....	93
ご注意.....	14	<b>液晶ディスプレイ</b> .....	94
<b>Windows 10 の画面操作について</b> .....	16	使用上の注意.....	95
アクション センター.....	17	画面表示の調整.....	96
タブレット モードの切り替え.....	19	液晶ディスプレイの回転.....	97
タスク ビューの使い方.....	21	画面の回転.....	101
複数のアプリを並べて表示する.....	23	表示できる解像度と表示色.....	103
アプリを終了する.....	24	ディスプレイストレッチ機能.....	104
<b>本機の機能</b> .....	25	<b>外部ディスプレイ</b> .....	106
<b>各部の名称</b> .....	26	使用上の注意.....	107
各部の名称と説明.....	27	外部ディスプレイ接続時の解像度と表示色.....	109
表示ランプ.....	32	HDMI コネクタ.....	111
<b>電源</b> .....	33	外部ディスプレイ接続時の表示機能.....	114
電源の入れ方と切り方.....	34	表示先、表示機能の設定.....	115
電源の状態.....	36	画面の出力先を切り替える.....	117
スリープ状態／休止状態使用上の注意.....	37	ディスプレイに合わせた設定.....	119
スリープ状態.....	39	<b>Web カメラ</b> .....	121
休止状態.....	41	Web カメラについて.....	122
電源の設定.....	42	<b>SSD</b> .....	125
電源の自動操作.....	46	使用上の注意.....	126
<b>省電力機能</b> .....	47	<b>光学ドライブ</b> .....	127
省電力機能について.....	48	使用上の注意.....	128
ECO モード機能.....	49	外付け光学ドライブの取り付け.....	129
ピークシフト機能.....	53	各部の名称と役割.....	130
Intel SpeedStep® テクノロジー.....	56	使用できるディスク.....	131
<b>バッテリー</b> .....	57	読み込みと再生.....	132
バッテリー（二次電池）について.....	58	書き込みとフォーマット.....	134
使用上の注意.....	59	非常時のディスクの取り出し方.....	135
バッテリーの充電.....	60	<b>SDメモリーカードスロット</b> .....	136
バッテリーの使い方と設定.....	61	使用上の注意.....	137
バッテリーのリフレッシュ.....	63	セットのしかた／取り出し方.....	139
バッテリー・リフレッシュ&診断ツール.....	65	<b>サウンド機能</b> .....	141
<b>タッチパネル</b> .....	71	音量の調節.....	142
使用上の注意.....	72	マイクの設定.....	144
タッチパネルでの操作方法.....	73	AudioEngine™.....	145
タッチパネルの設定.....	75	<b>LAN 機能</b> .....	147
<b>キーボード</b> .....	77	本機を安全にネットワークに接続するために.....	148
キーの名称.....	78	使用上の注意.....	150
キーの使い方.....	80	LAN への接続.....	151
キーボードの設定.....	82	LAN 機能の設定.....	153
<b>NXパッド</b> .....	83	<b>無線 LAN 機能</b> .....	155

概要	156	マカフィー リブセーフ	249
本機を安全にネットワークに接続するために	158	OneNote	254
無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関する ご注意	160	パーティション設定ツール	255
使用上の注意	162	HD 革命/Eraser Ark シュレッダー	256
無線 LAN 機能のオン/オフ	164	<b>トラブル解決 Q&amp;A</b>	258
無線 LAN の設定と接続	167	<b>電源</b>	259
無線 LAN に関する用語一覧	175	「パスワードが正しくありません。入力し直して ください。」と表示された	260
<b>USB コネクタ</b>	178	<b>バッテリー</b>	261
使用上の注意	179	本機に AC アダプタを取り付け、AC コンセントに 接続してもバッテリーの充電が始まらない	262
USB 機器の取り付け/取り外し	181	タスク バーの通知領域に電源アイコンが表示さ れない	263
<b>Bluetooth 機能</b>	182	満充電したのに、バッテリー充電ランプが 点灯する	264
概要	183	バッテリー充電ランプが点滅する	265
セキュリティに関するご注意	185	<b>タッチパネル</b>	266
使用上の注意	186	タッチした位置と反応する位置がずれる、タッチパネ ルに反応しない領域がある	267
Bluetooth 機能の設定と接続	188	<b>表示</b>	268
Bluetooth 機能のオン/オフ	192	外部ディスプレイで画面が流れるように表示さ れる	269
<b>セキュリティ機能</b>	194	デスクトップ上のアイコンの名前が隠れてしまう	270
セキュリティ機能について	195	タブレット スタイルで本体を回転させても画面が自 動的に回転しない	271
スーパバイザパスワード/ユーザパスワード	196	<b>ファイル保存</b>	272
ハードディスクパスワード機能	197	はじめに確認してください	273
I/O 制限	198	DVD、CD にデータを書き込めない (保存できない)	274
盗難防止用ロック	199	<b>LAN 機能</b>	275
DEP (Data Execution Prevention) 機能	200	動作が不安定になった	276
暗号化ファイルシステム (EFS)	201	<b>無線 LAN 機能</b>	277
インテル® アイデンティティ・プロテクション ・テクノロジー	202	「ネットワーク」上のコンピュータのアイコンをダ ブルクリックしても内容が表示されない	278
ウイルス検出・駆除	203	<b>サウンド</b>	279
セキュリティチップ機能	204	HDMI 接続した機器から音声が出力されない	280
NASCA	205	<b>印刷</b>	282
DeviceLock Lite	206	PDF 形式のマニュアルがうまく印刷できない	283
<b>セキュリティチップ</b>	207	<b>SSD</b>	284
セキュリティチップを初期化する	208	領域作成できる容量が、カタログなどに記載され ている値より少ない	285
辞書攻撃防御機能	209	<b>光学ドライブ</b>	286
本機を修理に出した後	210	はじめに確認してください	287
<b>便利な機能とアプリケーション</b>	211	DVD、CD にデータを書き込めない (保存できない)	288
アプリケーションの種類と機能	212	ドライブ文字がおかしい	289
アプリケーションのインストール	214	<b>周辺機器</b>	290
アプリケーションのアンインストール	218	はじめに確認してください	291
Office Home & Business 2016	221	<b>Bluetooth 機能</b>	292
Office Home & Business Premium	224	はじめに確認してください	293
Access Connections	227		
DeviceLock Lite	231		
Acrobat Reader DC	233		
ECO モード設定ツール	235		
ピークシフト設定ツール	236		
CyberLink Power2Go	237		
CyberLink PowerDVD	239		
CyberLink PowerBackup	243		
拡張ディスプレイ操作ツール	245		
フリック入力補助ツール	247		

<b>アプリケーション</b> .....	295	<b>再セットアップ</b> .....	302
はじめに確認してください.....	296	「再セットアップをすることはできません。」と表示	
アプリケーションをインストールできない.....	297	される.....	303
アプリケーションを強制的に終了させたい.....	298	<b>その他</b> .....	304
アプリケーションが本機で使用できるか		クリップなどの異物が本体内部に入って	
知りたい.....	299	しまった.....	305
使用している Windows への対応が明記されていない Windows 用アプリケーションを使用したい.....	300	<b>仕様一覧</b> .....	306
Internet Explorer、関連製品に関するサポート技術情報について知りたい.....	301	仕様一覧.....	307

# はじめに

---

[010000-21]

▶ はじめに.....	6
▶ 本マニュアルの表記について.....	7
▶ 「ユーザー アカウント制御」について.....	10
▶ 基本操作.....	11
▶ サポート技術情報について.....	13
▶ ご注意.....	14
▶ Windows 10 の画面操作について.....	16

# はじめに

---

[010001-00]

本マニュアルには、本機の機能についての説明、添付またはインストールされているアプリケーションの情報、サポートに関する情報、トラブル発生時などの対応方法を記載した Q&A など、本機を利用する上での情報が記載されています。本マニュアルに記載していないトラブル発生時などの対応方法については、「サービス&サポート」をご覧ください。

<http://121ware.com/support/>

本マニュアルは、Windows の基本的な操作がひと通りでき、アプリケーションなどのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に記載されています。

もし、お客様がコンピュータに初めて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などでひと通り経験してから、本マニュアルをご利用になることをおすすめします。

本機の仕様、アプリケーションについては、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。

仕様についての詳細は、「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。




<http://121ware.com/support/>

# 本マニュアルの表記について

[010003-21]

本マニュアルで使用しているアイコンや記号、アプリケーション名などの正式名称、表記について、下記をご覧ください。

## ■ 本マニュアルで使用しているアイコンの意味

アイコン	意味
 <b>チェック</b>	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
 <b>メモ</b>	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
 <b>参照</b>	マニュアルの中で関連する情報が書かれているところを示しています。

## ■ 本マニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
<b>Windows、Windows 10、Windows 10 Pro</b>	Windows 10 Pro 64 ビット
<b>Edge</b>	Microsoft Edge
<b>Internet Explorer、Internet Explorer 11</b>	Internet Explorer 11
<b>Microsoft IME</b>	Microsoft® IME
<b>Windows Media Player</b>	Microsoft® Windows Media® Player 12
<b>Office Home &amp; Business 2016</b>	Microsoft Office Home & Business 2016
<b>Office Home &amp; Business Premium</b>	Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス
<b>Acrobat Reader DC</b>	Adobe® Acrobat® Reader® DC
<b>NASCA</b>	NEC Authentication Agent
<b>CyberLink PowerDVD</b>	CyberLink PowerDVD
<b>CyberLink Power2Go</b>	CyberLink Power2Go 8
<b>CyberLink PowerBackup</b>	CyberLink PowerBackup 2.6
<b>YouCam 5 BE</b>	CyberLink YouCam 5 BE

HD 革命/Eraser Ark シュレッダー	HD 革命®/Eraser Ark シュレッダー
-------------------------	--------------------------

## ■ 本マニュアルで使用している表記の意味

本文中の表記	意味
本機、本体	本マニュアルの対象機種を指します。 特に周辺機器などを含まない対象機種を指す場合、「本体」と表記します。
光学ドライブ	DVD スーパーマルチドライブ、または DVD-ROM ドライブを指します。書き分ける必要のある場合は、そのドライブの種類を記載します。
光学ドライブモデル	DVD スーパーマルチドライブ、または DVD-ROM ドライブが添付されているモデルを指します。
DVD スーパーマルチドライブモデル	DVD スーパーマルチドライブが添付されているモデルを指します。
DVD-ROM ドライブモデル	DVD-ROM ドライブが添付されているモデルを指します。
ワイヤレス機能	無線 LAN 機能、Bluetooth 機能を指します。ご購入時に選択したモデルによって異なります。
Web カメラ搭載モデル	Web カメラが搭載されているモデルを指します。
Office Home & Business 2016 モデル	Office Home & Business 2016 があらかじめインストールされているモデルを指します。
Office Home & Business Premium モデル	Office Home & Business Premium があらかじめインストールされているモデルを指します。
アプリケーションディスク	本機に添付されているアプリケーションを格納したディスクを指します。
CyberLink PowerDVD ディスク	「CyberLink PowerDVD ディスク」または「CyberLink PowerDVD / CyberLink Power2Go / CyberLink PowerBackup ディスク」を指します。
CyberLink Power2Go ディスク	「CyberLink PowerDVD / CyberLink Power2Go / CyberLink PowerBackup ディスク」を指します。
CyberLink PowerBackup ディスク	「CyberLink PowerDVD / CyberLink Power2Go / CyberLink PowerBackup ディスク」を指します。
SD カード、SD メモリーカード	「SD メモリーカード」、「SDHC メモリーカード」、「SDXC メモリーカード」を指します。特定の SD カードを指す場合、個別に記載します。
BIOS セットアップユーティリティ	本文中に記載されている BIOS セットアップユーティリティは、画面上では「Aptio Setup Utility」と表示されます。
「コントロール パネル」を表示し、「システムとセキュリティ」→「管理ツール」→「システム情報」	「コントロール パネル」を表示し、「システムとセキュリティ」→「管理ツール」→「システム情報」を順にクリックする操作を指します。
【 】	【 】で囲んである文字はキーボードのキーを指します。 【Ctrl】 + 【Y】と表記してある場合、【Ctrl】キーを押したまま【Y】キーを押すことを指します。
『 』	『 』で囲んである文字は、マニュアルの名称を指します。



再セットアップ用メディア	「再セットアップ用ディスク」または「再セットアップ用 USB メモリ」を指します。
--------------	---

## ■ 本マニュアルで使用している画面、記載内容について

- 本マニュアルに記載の図や画面は、モデルによって異なることがあります。
- 本マニュアルに記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

# 「ユーザー アカウント制御」について

---

[010005-01]

アプリケーションを表示したり、本機を操作したりしているときに「ユーザー アカウント制御」画面が表示されることがあります。

「ユーザー アカウント制御」は、コンピュータウイルスなどの「悪意のあるソフトウェア」によって、本機のシステムに影響を及ぼす可能性のある操作が行われるのを防ぐため、これらの操作がユーザーが意図して行った操作によるものかを確認するためのものです。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、表示された内容をよく確認し、操作を行ってください。



## チェック

「ユーザー アカウント制御」画面で管理者 (Administrator) 権限を持つユーザーのパスワード入力が求められる場合があります。その場合は、画面の内容を確認し入力を行ってください。

- ▶ コントロール パネルの開き方. . . . . 11
- ▶ 「設定」の開き方. . . . . 11
- ▶ デバイス マネージャーの開き方. . . . . 11

## ■ コントロール パネルの開き方

コントロール パネルでは、Windows の各機能や画面の表示のしかた、アプリケーションのインストール/アンインストールなど、さまざまな設定ができます。

**1 「スタート」 ボタン (  ) をクリック**


**2 「Windows システム ツール」 をクリック**

**3 「コントロール パネル」 をクリック**

コントロール パネルが表示されます。

## ■ 「設定」の開き方

「設定」では、パソコンの設定を変更することができます。

**1 タスク バーの  をクリック**

**2 「すべての設定」 をクリック**

「設定」が表示されます。

## ■ デバイス マネージャーの開き方

デバイス マネージャーでは、本機を構成している部品やディスプレイなどの周辺機器が正常に認識されていることを確認したり、ドライバの更新をしたりすることができます。

**1 「スタート」 ボタン (  ) をクリック**

**2 「Windows システム ツール」 をクリック**

**3 「コントロール パネル」 をクリック**

コントロール パネルが表示されます。

**4** 「システムとセキュリティ」をクリック

---

**5** 「システム」をクリック

---

**6** 「デバイス マネージャー」をクリック

「デバイス マネージャー」が表示されます。

---

# サポート技術情報について

---

[010007-00]

マイクロソフトで確認された問題の説明や解決方法がサポート技術情報として公開されています。  
サポート技術情報を参照するには、「マイクロソフト サポート」にアクセスし該当する文書番号を入力して検索してください。

マイクロソフト サポート  
<http://support.microsoft.com/>



## チェック

サポート技術情報のタイトルや内容は変更される場合があります。

# ご注意

[010004-21]

1. 本マニュアルの内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
2. 本マニュアルの内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本マニュアルの内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、または 121 コンタクトセンターへご連絡ください。
4. 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、3 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
6. 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス [UltraCare サービス] 対象機種に限り、当社の定めるサービス対象地域から日本への引取修理サービスを行います。  
サービスの詳細や対応機種については、以下のホームページをご覧ください。

<http://121ware.com/ultracare/jpn/>

7. 本機の内蔵 SSD にインストールされている Windows は本機でのみご使用ください。また、本機に添付の DVD-ROM、CD-ROM は、本機のみでしかご使用になれません（詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください）。
8. ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
9. ハードウェアの保守情報をセーブしています。
10. 本製品には、Designed for Windows® program のテストにパスしないソフトウェアを含みます。
11. 本マニュアルに記載されている内容は制作時点のもので、お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

## ■ 輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っていません。（ただし、海外保証サービス [UltraCare サービス] 対象機種については、日本への引取修理サービスを実施致します。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

## ■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.

NEC\*<sup>1</sup> will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.

NEC\*<sup>1</sup> does not provide maintenance service\*<sup>1</sup> or technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for Ultracare Services can be provided with acceptance service of repair inside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.

Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

\*1:NEC Personal Computers, Ltd.

\* \* \*

Microsoft、Windows、Edge、Internet Explorer、Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

インテル、Intel、Intel SpeedStep、インテル Coreはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

McAfee、マカフィーは、米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、およびReaderは合衆国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。Bluetoothワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、NECパーソナルコンピュータはライセンスに基づきこのマークを使用しています。

HDMI、High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi CERTIFIED、WPAおよびWPA2は、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

UltraLiteはNECパーソナルコンピュータ株式会社の登録商標です。

DeviceLockおよびDeviceLockロゴは、DeviceLock, Inc.の登録商標です。

Access Connectionsは、米国とその他の国々のいずれかまたはその両方におけるLenovoの商標です。

HD革命は株式会社アーク情報システムの登録商標です。

© NEC Personal Computers, Ltd. 2017

NECパーソナルコンピュータ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

# Windows 10 の画面操作について

---

[010100-01]

Windows 10 のスタートメニューやアプリの画面での基本操作などを紹介します。

➤ アクション センター.....	17
➤ タブレット モードの切り替え.....	19
➤ タスク ビューの使い方.....	21
➤ 複数のアプリを並べて表示する.....	23
➤ アプリを終了する.....	24



# アクション センター

[010106-21]

アクション センターはよく使う機能を集めたメニューです。表示しているアプリに応じて、いろいろな機能を利用できます。

## アクション センターを表示する

### タッチ操作の場合

アクション センターを表示するには、画面の右端から、左にスワイプします。  
目的のタイルが表示されていない場合は、「展開」をタップしてください。



#### メモ

アクション センターに表示されるタイルは、モデルにより異なります。




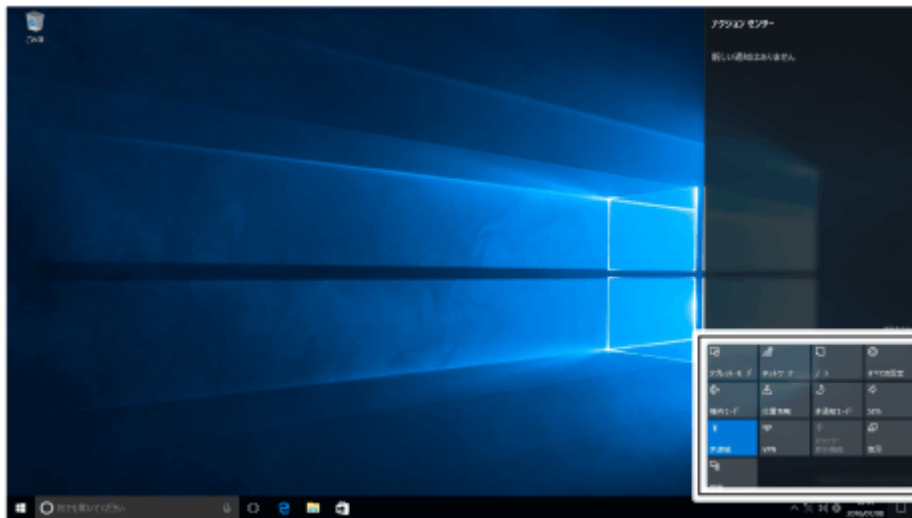
#### 参照

##### タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「タッチパネルでの操作方法 (P. 73)」

### マウス操作の場合

アクション センターを表示するには、タスク バーのをクリックします。  
目的のタイルが表示されていない場合は、「展開」をクリックしてください。



アクション センター



**メモ**

アクション センターに表示されるタイルは、モデルにより異なります。

## アクション センターのタイル

アイコン	説明
 タブレットモード	タブレット モードに切り替えます。
 Bluetooth	Bluetooth 機能のオン/オフを切り替えます。
 すべての設定	設定画面を表示します。
 機内モード	機内モードのオン/オフを切り替えます。
 ネットワーク	ネットワークの状態を表示します。
 非通知モード	アクション センターへの通知のオン/オフを切り替えます。

# タブレット モードの切り替え

[010108-21]

タブレット モードでは、Windows をタッチ操作で利用できます。タブレット モードでは、スタートメニューとすべてのアプリが全画面表示となります。



## メモ

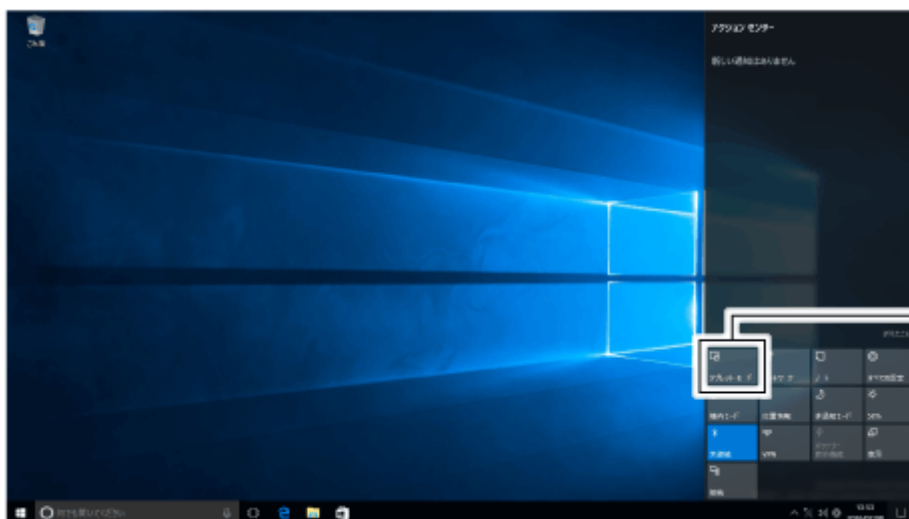
アクション センターに表示されるタイルは、モデルにより異なります。

## タブレット モードをオンにする

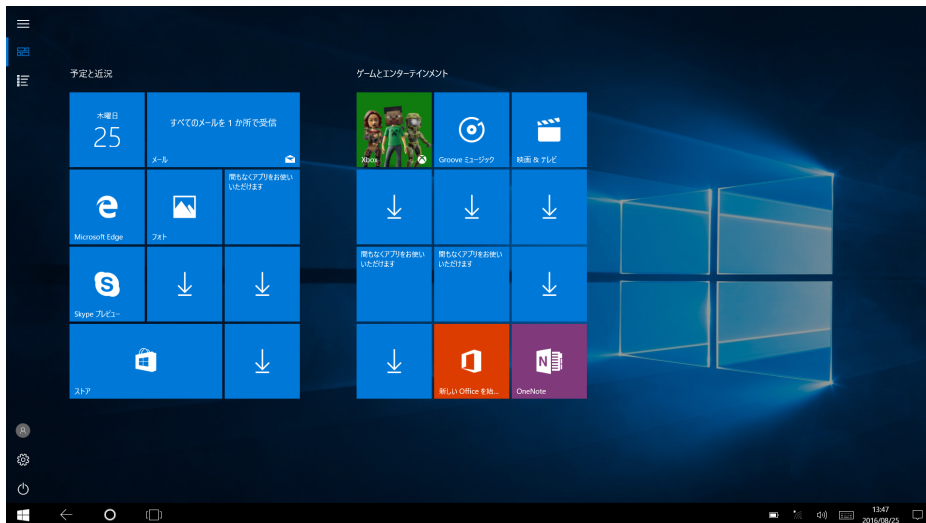
タブレット モードがオフの時に、以下の操作をします。

### 1 「アクション センター (P. 17)」を表示する

### 2 「タブレット モード」をクリック



### 3 タブレット モードのスタートメニューが表示される



## メモ

画面はイメージです。タイルの表示は、ご使用環境により、実際の画面と異なる場合があります。

## タブレット モードをオフにする

タブレット モードがオンの時に、以下の操作をします。

**1** 「アクションセンター (P. 17)」を表示する

**2** 「タブレット モード」をクリック

# タスク ビューの使い方

[010107-21]

タスク ビューを使うと、開いているアプリをすばやく切り替えたり、複数の仮想的なデスクトップを作成して切り替えながら作業できます。

## タッチ操作の場合

**1** 画面の左端から、右にスワイプする

**2** タスク ビューが表示される




参照

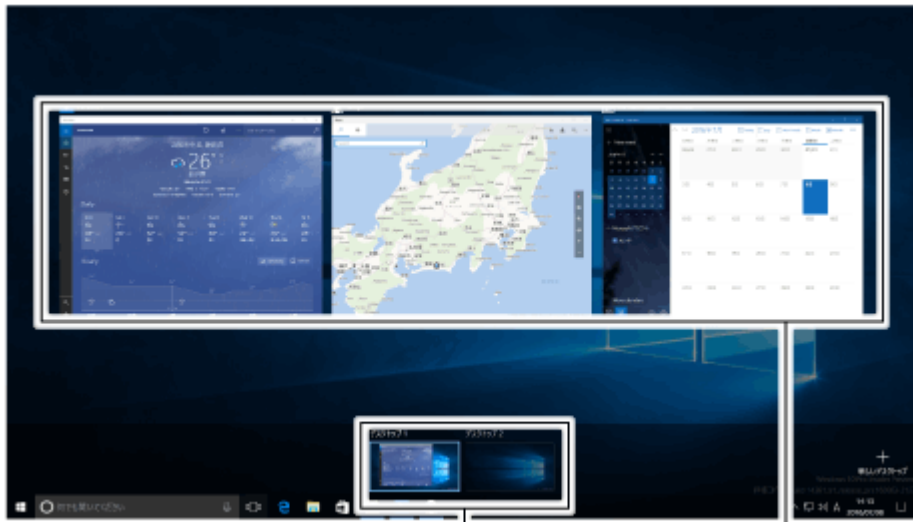
タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「タッチパネルでの操作方法 (P. 73)」

## マウス操作の場合

**1** タスク バーの  をクリック

**2** タスク ビューが表示される



仮想デスクトップ

開いているアプリ

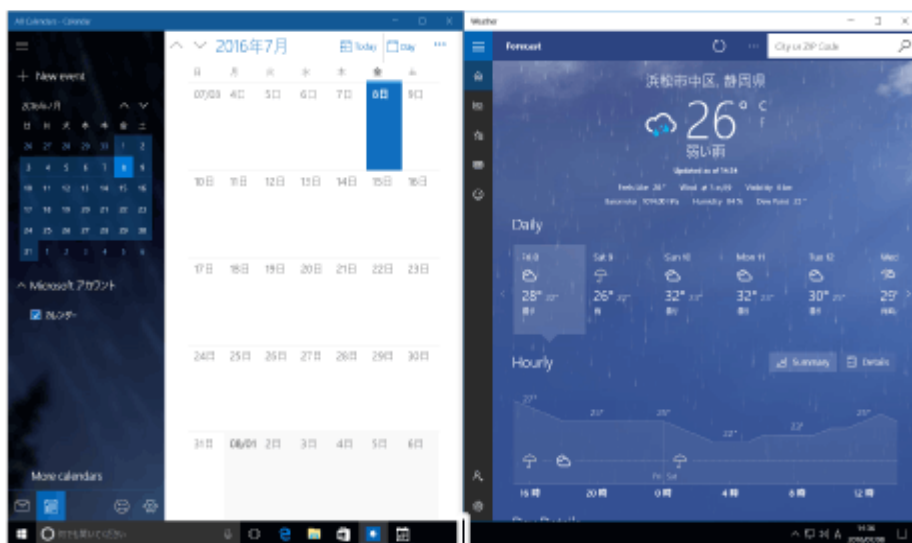
# 複数のアプリを並べて表示する

[010104-21]

複数のアプリを、画面の左右に並べて表示できます。これを「スナップする」といいます。境界線をスライド（またはドラッグ）すると、画面の分割位置を変えるなどの調整ができます。

## 複数の画面にする

複数の画面にするには、アプリのウィンドウ上部を、目的の左右の隅、あるいは四角の角の位置までドラッグまたはスライドし、区切り線が表示されたら指を離します。



区切り線



### メモ

- 複数のアプリを並べて表示をやめたいときは、各アプリを終了します。
- スナップできるアプリの最大数は、ディスプレイのサイズと画面の解像度によって異なります。




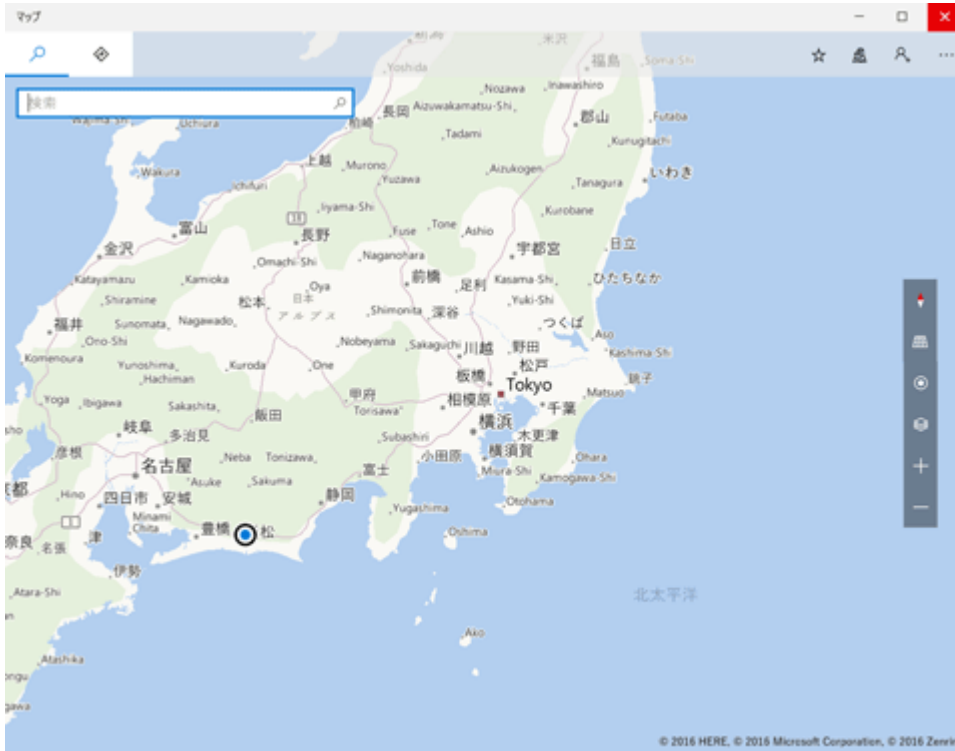
### 参照

- **アプリの終了について**  
「アプリを終了する (P. 24)」
- **タッチパネルの操作について**  
「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「タッチパネルでの操作方法 (P. 73)」

# アプリを終了する

[010105-21]

アプリを終了するには、ウィンドウ右上の × または  をクリックします。



## メモ

タブレットモードにしている場合は、次の手順でアプリを終了できます。

- 1** 画面の上端から下端までスライド
- 2** 画面の下端で枠外までドラッグまたはスライド



各部の名称	26
電源	33
省電力機能	47
バッテリー	57
タッチパネル	71
キーボード	77
NXパッド	83
マウス	89
液晶ディスプレイ	94
外部ディスプレイ	106
Web カメラ	121
SSD	125
光学ドライブ	127
SD メモリーカードスロット	136
サウンド機能	141
LAN 機能	147
無線 LAN 機能	155
USB コネクタ	178
Bluetooth 機能	182
セキュリティ機能	194

# 各部の名称

---

[020100-21]

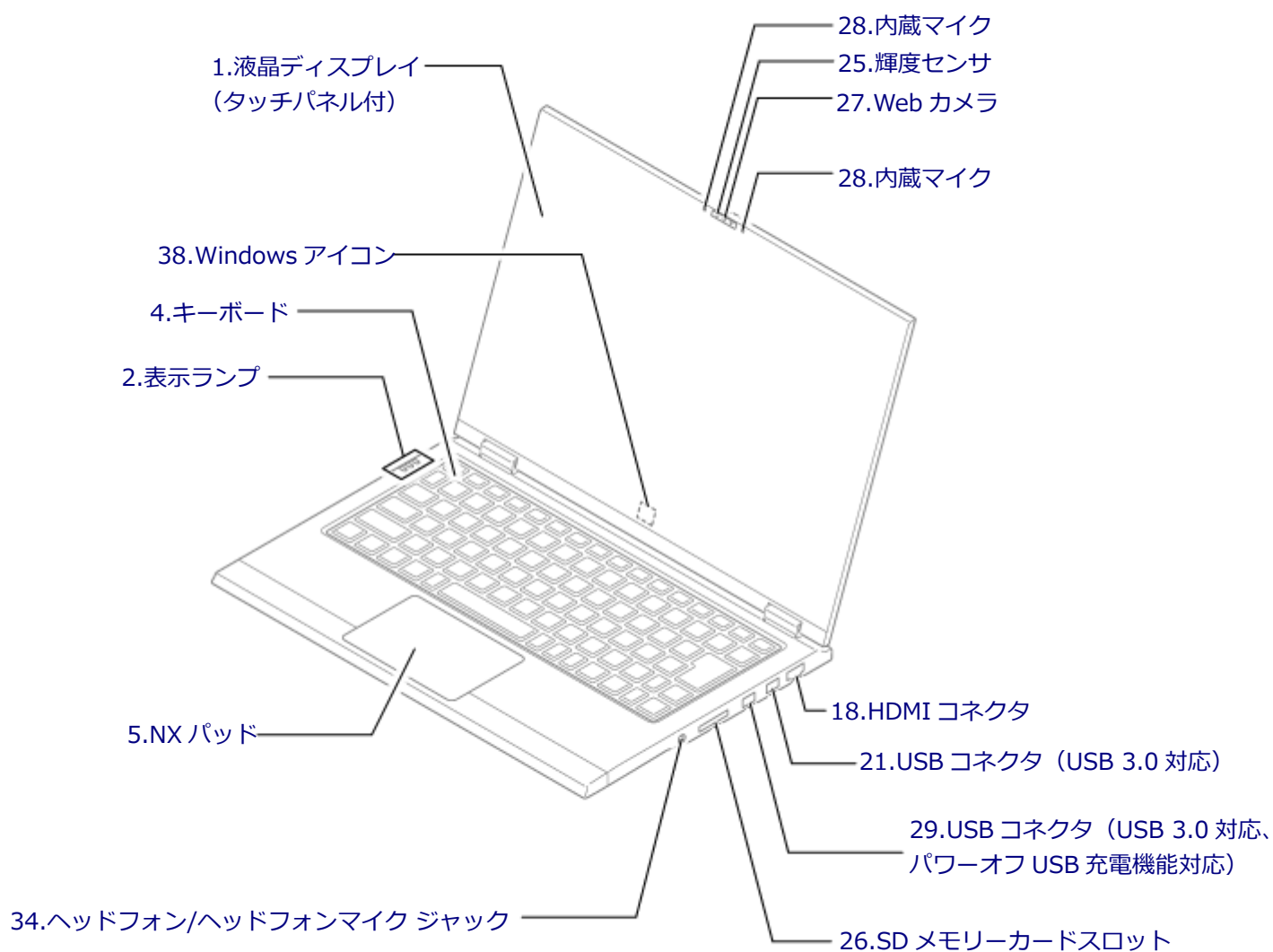
各部の名称と説明.....	27
表示ランプ.....	32

# 各部の名称と説明

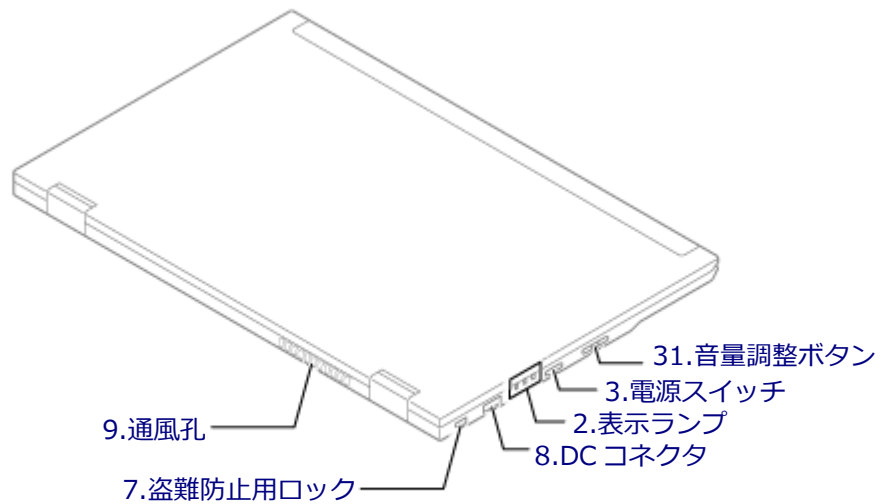
[020101-21]

## 各部の名称

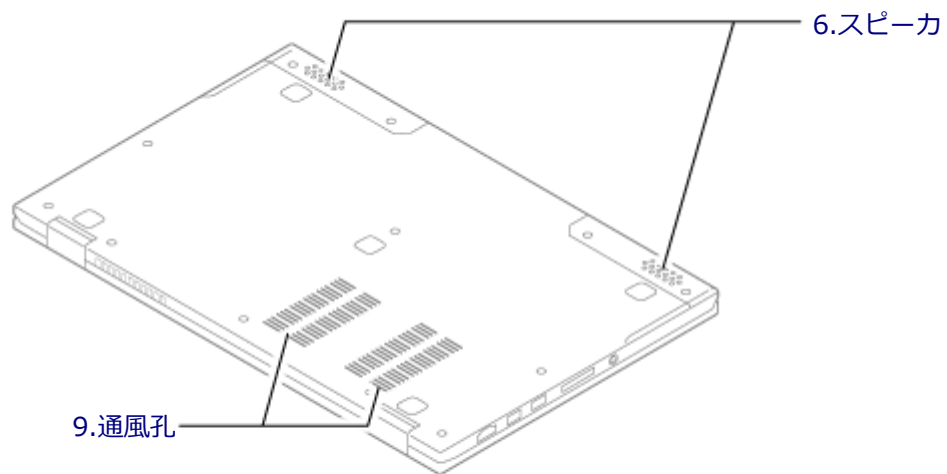
### 本体前面／右側面



### 本体背面／左側面



## 本体底面



## 各部の説明

### 1.液晶ディスプレイ（タッチパネル付）

本機のディスプレイです。タッチパネルが搭載され、Windows の操作を指で行うことができます。

→「液晶ディスプレイ (P. 94)」

→「タッチパネル (P. 71)」

## 2.表示ランプ

本機の動作状態を表します。

→「表示ランプ (P. 32)」

## 3.電源スイッチ (🔌)

電源のオン/オフや電源状態の変更などで使用するスイッチです。

→「電源 (P. 33)」

## 4.キーボード

文字の入力や画面の操作をします。

→「キーボード (P. 77)」

## 5.NXパッド

Windows でマウスカーソルの移動やクリックなどの操作をする際に使用します。

→「NXパッド (P. 83)」

## 6.スピーカ

内蔵のステレオスピーカです。

→「サウンド機能 (P. 141)」

## 7.盗難防止用ロック (🔒)

別売のセキュリティーケーブルを取り付けることができます。

→「セキュリティー機能 (P. 194)」

## 8.DCコネクタ (==)

添付の AC アダプタを接続するための端子です。

## 9.通風孔

本体内部の熱を逃がすための孔です。



### チェック

布や手などでふさがないようにしてください。

## 18.HDMI コネクタ

HDMI 対応の大画面テレビや、HDMI 端子を持つ外部ディスプレイなどを接続するためのコネクタです。

→「外部ディスプレイ (P. 106)」

## 21.USB コネクタ (USB 3.0 対応) (SS⇄)

USB 機器を接続するコネクタです。この USB コネクタは、USB 3.0、USB 2.0 および USB 1.1 の機器に対応しています。USB 2.0 の転送速度を出すためには、USB 2.0 対応の機器を接続する必要があります。USB 3.0 の転送速度を出す

ためには、USB 3.0 対応の機器を接続する必要があります。  
→「USB コネクタ (P. 178)」

## 25.輝度センサ

画面の明るさを自動調整する機能を使用するとき、周辺の明るさを検知するためのセンサです。

## 26.SD メモリーカードスロット

SD メモリーカードを読み書きするためのスロットです。  
→「SD メモリーカードスロット (P. 136)」

## 27.Web カメラ (Web カメラ搭載モデルのみ)

テレビ電話をするときなどに使用します。Web カメラ使用時は、Web カメラ横のランプが点灯します。  
→「Web カメラ (P. 121)」

## 28.内蔵マイク

テレビ電話をするときなどに使用するマイクです。



### チェック

このマイクを使用して録音している場合、録音している音を同時にスピーカなどで再生することはできません。

## 29.USB コネクタ (USB 3.0 対応、パワーオフ USB 充電機能対応)

USB 機器を接続するコネクタです。この USB コネクタは、USB 3.0、USB 2.0 および USB 1.1 の機器に対応しています。USB 2.0 の転送速度を出すためには、USB 2.0 対応の機器を接続する必要があります。USB 3.0 の転送速度を出すためには、USB 3.0 対応の機器を接続する必要があります。

→「USB コネクタ (P. 178)」

またこの USB コネクタは、パワーオフ USB 充電機能に対応しています。USB ケーブルを使って充電できる機器を充電するとき、この USB コネクタでは電源が切れた状態でも充電できます。

この機能を使用するには、BIOS セットアップユーティリティの「Advanced」メニューで設定が必要です。



### 参照

#### 「Advanced」メニューの設定について

『システム設定』の「システム設定」 - 「設定項目一覧」 - 「Advanced」メニュー

## 31.音量調整ボタン

内蔵スピーカや、ヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャックから出力される音量を調節するためのボタンです。+を押すと音量が大きくなり、-を押すと音量が小さくなります。

→「サウンド機能 (P. 141)」

## 34.ヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャック

ヘッドフォンやヘッドフォンマイク（4極（CTIA）ミニプラグ）、または外付けスピーカやオーディオ機器を接続し、音声信号を出力、入力するための端子です。


→「サウンド機能 (P. 141)」



### チェック

入力機能としてはヘッドフォンマイク（4極（CTIA）ミニプラグ）のみ使用できます。市販のステレオマイクやモノラルマイクは使用できません。

## 38.Windows アイコン

Windows 使用時にタップすると、キーボードで  を押したときと同様に、スタートメニューを表示します。

# 表示ランプ

[020102-21]

## 🔌 電源ランプ

ランプの状態		本機の状態
青	点灯	電源が入っている
	点滅	スリープ状態
オレンジ	点灯	バッテリー容量が少ない
	点滅※1	スリープ状態でバッテリー容量が少ない
	速い点滅※2	バッテリー容量が残りわずか
消灯		電源が切れている、または休止状態

※1 約 3 秒に 1 回点滅

※2 約 2 秒に 1 回点滅

## 🔋 バッテリー充電ランプ

ランプの状態		本機の状態
オレンジ	点灯	バッテリー充電中
	点滅	バッテリーのエラー※1
消灯		本機が AC 電源に接続されていない、またはバッテリー充電完了※2

※1 バッテリー充電時のエラー、バッテリーの寿命、または劣化時にエラーとなります。

※2 すでにバッテリーが満充電されている場合や、満充電に近い状態の場合は、ランプが点灯せず、それ以上充電できない場合があります。

## 🔑 キャップスロックキーランプ

ランプの状態	本機の状態
緑点灯	【Caps Lock】がロックされている（英字を入力すると大文字になります。）
消灯	【Caps Lock】がロックされていない（英字を入力すると小文字になります。）



本機の電源の入れ方と切り方、スリープ状態や休止状態などについて説明しています。

▶ 電源の入れ方と切り方.....	34
▶ 電源の状態.....	36
▶ スリープ状態／休止状態使用上の注意.....	37
▶ スリープ状態.....	39
▶ 休止状態.....	41
▶ 電源の設定.....	42
▶ 電源の自動操作.....	46

# 電源の入れ方と切り方

[020301-21]

## 電源を入れる

電源を入れる際は、次の手順に従って正しく電源を入れてください。



### チェック

- 光学ドライブなどにディスクがセットされた状態で電源を入れると、Windows が起動しない場合があります。その場合は、セットされているディスクを取り出してから、電源を入れなおしてください。
- いったん電源を切った後で、電源を入れなおす場合は、電源を切ってから 5 秒以上間隔をあけて電源を入れてください。
- ユーザー選択画面が表示された場合は、サインインするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。

## 1 周辺機器の電源を入れる

## 2 本機の電源スイッチを押す

## 電源を切る

電源を切る際は、次の手順に従って正しく電源を切ってください。



### チェック

- Windows やアプリケーションの表示中や、アクセスランプなどが点灯している場合は、本機の電源を切らないでください。
- 通信を行っている場合は、通信が終了していることを確認してから電源を切ってください。通信中に電源を切ると、通信中のデータが失われる場合があります。

## 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する

## 2 デスクトップの をクリック

## 3 をクリックし、「シャットダウン」をクリック

シャットダウン処理終了後、電源が自動で切れます。



#### チェック

シャットダウン処理中は、電源スイッチを押さないでください。また、シャットダウン処理中に液晶ディスプレイを閉じると設定によってはスリープ状態または休止状態に移行してしまう場合があります。

## 4 電源ランプが消灯し、本機の電源が切れたことを確認したら、周辺機器の電源を切る

### 「高速スタートアップ」について

「高速スタートアップ」とは、電源の切れた状態からすばやく起動するための機能です。工場出荷時の設定では「高速スタートアップ」の機能が有効になっています。

#### ◆「高速スタートアップ」の機能を無効にする

周辺機器の取り付け／取り外しをする際は、次の手順で「高速スタートアップ」の機能を無効にし、シャットダウンしてから行ってください。

チェックを外さずに周辺機器の取り付け／取り外しを行った場合、周辺機器を認識しないことがあります。

#### 1 「コントロールパネル (P. 11)」を表示する

#### 2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」の「電源ボタンの動作の変更」をクリック

#### 3 「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリック

#### 4 「シャットダウン設定」の「高速スタートアップを有効にする(推奨)」のチェックを外す

#### 5 「変更の保存」ボタンをクリック

# 電源の状態

[020302-21]

本機の電源の状態には次のように「電源が入っている状態」「スリープ状態」「休止状態」「電源が切れている状態」の4つの状態があります。

- **電源が入っている状態**

通常、本機を使用している状態です。

- **スリープ状態**

作業中のメモリの状態を保持したまま、SSD やディスプレイを省電力状態にして消費電力を抑えている状態です。メモリには電力が供給され、メモリの状態を保持しているので、すぐに作業を再開できます。

- **ハイブリッドスリープ**

スリープ状態に移行する際に、SSD にもメモリの情報をすべて保存するスリープ状態です。SSD にもメモリの情報が保存されているため、スリープ状態中に電源が切れた場合でも SSD から復帰することができます。

- **休止状態**

メモリの情報をすべて SSD に保存してから、本機の電源を切った状態です。もう一度電源を入れると、休止状態にしたときと同じ状態に復元します。

- **電源が切れている状態**

本機の電源を完全に切った状態です。

電源の状態は、本機の電源ランプで確認することができます。



## 参照

### 電源ランプについて

「各部の名称」の「[表示ランプ \(P. 32\)](#)」

## スリープ状態または休止状態を使用する場合の注意

- 本機が正常に動かなくなったり、正しく復帰できなくなることがありますので、次のような場合は、スリープ状態または休止状態にしないでください。
  - プリンタへ出力中
  - 通信を行うアプリケーションを実行中
  - LAN または無線 LAN を使用して、ファイルコピーなどの通信動作中
  - 音声または動画の再生中
  - SSD、DVD、CD、SD メモリーカードなどにアクセス中
  - 「システムのプロパティ」画面を表示中
  - Windows の起動／終了処理中
  - スリープ状態または休止状態に対応していない USB 機器などの周辺機器やアプリケーションを使用中
- ハイブリッドスリープを使用しない設定にしている場合、スリープ状態のときに次のことが起こると、作業中のデータが失われますので、ご注意ください。
  - バッテリーのみで使用している状態で、バッテリーが切れた
  - バッテリー駆動に十分なバッテリー残量が無いときに、停電や AC アダプタが抜けるなどの理由で、バッテリーのみで使用している状態になった
  - 電源スイッチを 4 秒以上押し続けて、強制的に電源を切った
- スリープ状態または休止状態への移行、復帰などの電源状態の変更は、5 秒以上の間隔をあけてから行ってください。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ファイルコピーなどの通信動作が終了してからスリープ状態または休止状態にしてください。また、使用するアプリケーションによっては、スリープ状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合には、あらかじめ、お使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認のうえ、スリープ状態または休止状態を使用してください。
- 通信を行うアプリケーションを使用中の場合は、通信を行うアプリケーションを終了させてから、休止状態にしてください。通信状態のまま休止状態にすると、強制的に通信が切断されることがあります。
- バッテリーのみで使用する場合は、あらかじめバッテリーの残量を確認しておいてください。また、バッテリー残量が少なくなってきた場合の本機の動作について設定しておくこともできます。



### 参照

#### バッテリーについて

「バッテリー」の「[バッテリーの使い方と設定 \(P. 61\)](#)」

- スリープ状態または休止状態への移行中は、各種ディスク、SD メモリーカードなどの各種メモリーカードの入れ替えなどを行わないでください。データが正しく保存されないことがあります。
- スリープ状態または休止状態中に、周辺機器の取り付けや取り外しなどの機器構成の変更を行うと、正常に復帰できなくなることがあります。
- スリープ状態に移行する前に USB 機器（マウスまたはキーボード以外）を外してください。USB 機器を接続した状態ではスリープ状態に移行または復帰できない場合があります。

- スリープ状態時や休止状態時、スリープ状態や休止状態への移行中、スリープ状態や休止状態からの復帰中は、USB機器を抜き差ししないでください。
- 「電源オプション」で各設定を変更する場合は、管理者 (Administrator) 権限を持つユーザーで行ってください。
- 光学ドライブにディスクをセットしたまま休止状態から復帰すると、正しく復帰できずにディスクから起動してしまうことがあります。休止状態にする場合は、ディスクを取り出してください。
- 光学ドライブに Photo CD をセットしたままスリープ状態または休止状態にすると、復帰に時間がかかることがあります。
- スリープ状態または休止状態から復帰したときに、プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイが逆になったり、外部ディスプレイの設定情報を読み込めない場合があります。外部ディスプレイを再設定してください。
- スリープ状態または休止状態からの復帰を行った場合、本体は復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合は、NX パッドを操作するかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- 次のような場合には、復帰が正しく実行されなかったことを表しています。
  - アプリケーションが動作しない
  - スリープ状態または休止状態にする前の内容を復元できない
  - NX パッド、キーボード、電源スイッチを操作しても復帰しない

このような状態になるアプリケーションを使用しているときは、スリープ状態または休止状態にしないでください。電源スイッチを押しても復帰できなかったときは、電源スイッチを 4 秒以上押し続けてください。電源ランプが消え、電源が強制的に切れます。

この場合、BIOS セットアップユーティリティの内容が、工場出荷時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は再度設定してください。



#### 参照

#### BIOS セットアップユーティリティについて

『システム設定』の「システム設定」 - 「BIOS セットアップユーティリティについて」

# スリープ状態

[020304-21]

作業中のメモリの内容を保持したまま、SSD やディスプレイを省電力状態にして消費電力を抑えている状態です。メモリには電力が供給され、内容が保持されているので、すぐに作業を再開できます。



## チェック

- スリープ状態への移行およびスリープ状態からの復帰は、状態の変更が完了してから 5 秒以上の間隔をあけて行ってください。
- 本機を長時間使用しない場合は電源を切るか、AC アダプタを接続したうえでスリープ状態にしてください。バッテリーのみで長時間スリープ状態にしておくと、バッテリー残量がなくなることがあります。
- ハイブリッドスリープを使用しない設定にしている場合、スリープ状態でバッテリーの残量がなくなると、作成中のデータが失われたり、データが壊れたりすることがあります。

## スリープ状態にする

工場出荷時の設定で、電源が入っている状態から手動でスリープ状態にするには、次の方法があります。

### 電源からスリープ状態にする

#### 1 デスクトップの をクリック

#### 2 をクリック

#### 3 「スリープ」をクリック

Windows が終了し、スリープ状態になります。Windows の終了処理中は電源スイッチを押したり、液晶ディスプレイを閉じたりしないでください。

本機がスリープ状態になると、電源ランプが点滅します。

## 液晶ディスプレイを閉じる

### 電源スイッチを押す



## チェック

電源スイッチでスリープ状態にする場合は、電源スイッチを 4 秒以上押さないでください。電源スイッチを 4 秒以上押し続けると強制的に電源が切れて、保存していないデータは失われてしまいます。

## スリープ状態から復帰する

スリープ状態から手動で電源が入っている状態に復帰するためには、次の方法があります。



### チェック

- ユーザー選択画面が表示された場合は、サインインするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。
- スリープ状態で長時間経過した場合やバッテリー残量が少なくなった場合、自動的に本機が休止状態になっている場合があります。その場合は、電源スイッチで復帰させてください。

## 電源スイッチを押す



### チェック

電源スイッチを押して復帰する場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けしないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保存していないデータが失われます。

## 液晶ディスプレイを開く

液晶ディスプレイを閉じてスリープ状態にした場合は、液晶ディスプレイを開くことでスリープ状態から復帰できます。

## USB マウスを操作する

設定を行うことで、USB マウス接続時、USB マウスを操作することでスリープ状態から復帰できます。



### チェック

USB マウス操作でスリープ状態から復帰できない場合は、他の方法でスリープ状態から復帰を行ってください。

## ハイブリッドスリープ

スリープ状態に移行する際に、SSDにもメモリの情報をすべて保存するスリープ状態です。SSDにもメモリの情報が保存されているため、スリープ状態中に電源が切れた場合でもSSDから復帰することができます。



### チェック

工場出荷時は、ハイブリッドスリープを使用しない設定になっています。使用するには設定の変更が必要です。



### 参照

電源プランの設定の変更について  
「電源の設定 (P. 42)」



# 休止状態

[020305-21]

メモリの情報をすべて SSD に保存し、本機の電源を切った状態です。もう一度電源を入れると、休止状態にしたときと同じ状態に復元しますので、本機での作業を長時間中断する場合、消費電力を抑えるのに有効です。



## チェック

休止状態への移行および休止状態からの復帰は、状態の変更が完了してから 5 秒以上の間隔をあけて行ってください。


## 休止状態にする

電源が入っている状態から手動で休止状態にするには、次の手順で行います。

1

デスクトップの  をクリック

2

 をクリック


3

「休止状態」をクリック

休止状態への移行処理後、電源が自動で切れます。電源スイッチを押さないでください。本機が休止状態になると、電源ランプが消灯します。



## チェック

工場出荷時は  のメニューに「休止状態」は表示されません。「休止状態」を表示するには、「電源の設定」の「電源メニューに休止状態を表示させる (P. 44)」の手順で設定を変更してください。

## 休止状態から復帰する

休止状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、電源スイッチを押してください。



## チェック

- ユーザー選択画面が表示された場合は、サインインするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。

# 電源の設定

[020306-21]

電源の設定は、Windowsの「電源オプション」で行います。

「電源オプション」では、あらかじめ設定されている電源プランから使用するプランを選択するほか、新規のプランを作成することができます。

また、プランごとに電源の状態を変更する操作の設定や、電源の状態が変更されるまでの時間を設定することができます。

## 電源プランの選択

設定されている電源プランから選択する場合は、次の手順で行います。

### 1 「コントロールパネル (P. 11)」を表示する

### 2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック

### 3 表示されているプランから使用したいプランを選択する

表示されているプラン以外から選択したい場合は、「追加プランの表示」をクリックし、表示されたプランから選択してください。

### 4 ボタンをクリック

以上で電源プランの選択は完了です。

## 電源プランの設定の変更

すでに登録されている電源プランの設定を変更する場合は、次の手順で行います。

### 1 「コントロールパネル (P. 11)」を表示する

### 2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック

### 3 設定を変更したいプランの「プラン設定の変更」をクリック

### 4 表示された画面で設定を行う

電源の種類ごとに設定できます。

項目	説明
ディスプレイの電源を切る	指定した時間、何も入力がない場合、ディスプレイの電源を切ります。

コンピューターをスリープ状態にする	指定した時間、何も入力がない場合、本機がスリープ状態になります。
プランの明るさを調整	ディスプレイの輝度を設定します。



### チェック

設定時間を変更したときに、「コンピューターをスリープ状態にする」時間が「ディスプレイの電源を切る」時間よりも短くならないように、設定時間が自動的に変更される場合があります。個別に設定する場合は「詳細な電源設定の変更」をクリックして設定してください。



### メモ

- 「詳細な電源設定の変更」をクリックすると、電源プランごとに詳細な設定が行えます。
- 「このプランの既定の設定を復元」を選択すると、設定値が既定の値に戻ります。

## 5 「変更の保存」 ボタンをクリック

以上で電源プランの設定の変更は完了です。

## 電源プランの作成

新規の電源プランを作成する場合は、次の手順で行います。

### 1 「コントロール パネル (P. 11)」 を表示する

### 2 「システムとセキュリティ」 をクリックし、「電源オプション」 をクリック

### 3 左のメニューから「電源プランの作成」 をクリック

### 4 表示される電源プランから作成したいプランに近いプランを選択する

### 5 「プラン名」 欄に作成する電源プラン名を入力し、「次へ」 ボタンをクリック

### 6 表示される画面で設定を行う

### 7 「作成」 ボタンをクリック

以上で電源プランの作成は完了です。

作成した電源プランは、「電源プランの選択 (P. 42)」 の手順で選択できます。

## 電源の状態を変更する操作の設定

電源スイッチを押す、液晶ディスプレイを閉じるなどの操作により移行する電源の状態を変更する場合は、次の手順で行います。



### チェック

この手順で設定を行った場合、現在登録されているすべての電源プランの設定が変更されます。電源プランごとに設定を行いたい場合は、それぞれの電源プランの設定画面の「詳細な電源設定の変更」から行ってください。

### 1 「コントロールパネル (P. 11)」を表示する

### 2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」の「電源ボタンの動作の変更」をクリック

### 3 「電源ボタンとカバーの設定」欄で、動作を設定する

- 電源スイッチを押すことで移行する電源の状態を設定する場合  
「電源ボタンを押したときの動作」欄で設定します。
- 液晶ディスプレイを閉じることで移行する電源の状態を設定する場合  
「カバーを閉じたときの動作」欄で設定します。



### チェック


工場出荷時の設定は次のようになっています。

- 「電源ボタンを押したときの動作」: 「スリープ状態」
- 「カバーを閉じたときの動作」: 「スリープ状態」

### 4 「変更の保存」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

## 電源メニューに休止状態を表示させる

 をクリックすると表示されるメニューに「休止状態」を追加する場合は次の手順で行います。

### 1 「コントロールパネル (P. 11)」を表示する

### 2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」の「電源ボタンの動作の変更」をクリック

### 3 「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリック

**4** 「シャットダウン設定」の「休止状態」にチェックを付ける

---

**5** 「変更の保存」ボタンをクリック

---

以上で設定は完了です。

# 電源の自動操作

[020307-21]

タイマによって、自動的に電源の操作を行うことができます。



## チェック

タイマの自動操作によるスリープ状態からの復帰を行った場合、本体はスリープ状態から復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合、NXパッドなどのポインティングデバイス进行操作するかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが表示されます。

## タイマ機能（電源オプション）

設定した時間を経過しても、NXパッドやキーボードからの入力やSSDへのアクセスなどが無い場合、自動的にディスプレイの電源を切ったり、スリープ状態、休止状態にすることができます。

工場出荷時は次のように設定されています。

使用している電源	電源プランの名称	ディスプレイの電源を切る	SSDの電源を切る	スリープ状態にする	休止状態にする
ACアダプタ	標準	約10分	約10分	約25分	なし
バッテリー		約2分	約3分	約5分	約15分



## メモ

工場出荷時は、省電力のためスリープ状態になるように設定してあります。

本機の省電力機能について説明しています。

▶ 省電力機能について.....	48
▶ ECO モード機能.....	49
▶ ピークシフト機能.....	53
▶ Intel SpeedStep® テクノロジー.....	56

# 省電力機能について

[020401-21]

Windows には、一定時間本機を使用していない場合などに電源の状態を変更し、消費電力を抑えるように設定できる電源管理機能があります。

また、Windows の電源管理機能に加え、本機には次の省電力機能があります。

- **ECO モード機能**

【Fn】 + 【F4】 またはホットキーを押すことで、簡単に ECO モード機能のモードを切り替えることができます。

- **ピークシフト機能**

設定した時間帯の間、バッテリーにより動作し、AC 電源の使用を控えることで、電力需要がピークに達する時間帯の電力消費を他の時間帯に移行することができます。

- **Intel SpeedStep® テクノロジー**

処理の負荷などによって、CPU の動作性能を切り替える機能です。



## 参照

- **Windows の電源管理機能について**  
「電源 (P. 33)」
- **ECO モード機能について**  
「ECO モード機能 (P. 49)」
- **ピークシフト機能について**  
「ピークシフト機能 (P. 53)」
- **Intel SpeedStep® テクノロジーについて**  
「Intel SpeedStep® テクノロジー (P. 56)」





# ECO モード機能

[020402-21]

本機では、2つの省電力設定から利用シーンにあわせて、最適な設定に切り替えることができます。工場出荷時の設定では、ECOモード機能で切り替えることのできるモードには次の2つがあり、「標準」が選択された状態になっています。

## ◆モードの種類

モード	通知領域のアイコンおよび色	説明
標準	 (青)	本機のパフォーマンスを優先させる設定ですが、操作がない状態で一定の時間が経過した場合、スリープ状態に移行します。電源プランは「標準」が割り当てられており、液晶ディスプレイの輝度は56%に設定されています。
ECO	 (緑)	電力をもっとも節約する設定で、標準よりも早い時間でスリープ状態に移行します。電源プランは「ECO」が割り当てられており、液晶ディスプレイの輝度は10%に設定されています。



## チェック

- 表中のアイコンは工場出荷時の設定のもので、実際に表示されるアイコンはモードに割り当てている電源プランにより異なります。
- 電源プラン「ECO」は固定的に割り当てられるモードのため変更はできません。
- Windowsのサインイン画面が表示されている場合、【Fn】 + 【F4】、または設定したホットキーを押してもモードは変更されません。
- 電源プランの自動切替の実行中は、【Fn】 + 【F4】や設定したホットキーでの電源プランの切り替えはできません。
- 省電力を優先する電源プランを割り当てているモードを選択している場合、DVDの再生などの映像を表示するアプリケーションで、再生品質が低下する可能性があります。そのような場合は、「標準」などの性能を優先するモードを選択してください。
- 本機を起動した直後に「ECOモード設定ツール」を起動すると、一部の機能が正しく動作しません。「ECOモード設定ツール」は、本機を起動後1分ほどたってから起動してください。

## モードを切り替える

### 1 【Fn】 + 【F4】 を押す




## 参照

### キーの使い方について

「キーボード」の「キーの使い方 (P. 80)」



### チェック

- 現在のモードは、タスクバーの通知領域の  をクリックすると表示されるアイコンで確認できます。また、通知領域に表示されたアイコンを選択し、クリックをしてもモードを切り替えることができます。
- 指定したホットキーにモードの切り替えの機能を割当てることができます。  
「ホットキーの設定 (P. 51)」

## ECO モード機能の設定

### モードの設定の変更

ECO モード機能で切り替える各モードの設定を変更する場合は、次の手順で行います。

#### 1 「スタート」ボタン ( ) をクリック

#### 2 「ECO モード設定ツール」をクリック

#### 3 「ECO モード設定ツール」をクリック

#### 4 表示される画面で設定を行う

- **電源プラン**  
変更可能なモードに割り当てる電源プランを選択します。
- **「電源プランのカスタマイズ」ボタン**  
コントロールパネルの電源オプションが表示されます。
- **「初期設定に戻す」ボタン**  
2つのモードと電源プランの組み合わせを、工場出荷時の設定に戻します。

#### 5 「OK」ボタンをクリック



### チェック

- 各モードに設定している電源プランを削除した場合、削除した電源プランを選択していたモードには「設定なし」が設定されます。
- 「初期設定に戻す」ボタンで工場出荷時の設定に戻したときに、工場出荷時の設定で使用している電源プランが削除されていた場合も「設定なし」が設定されます。

以上で設定は完了です。

### 自動切替設定

電源プランを自動的に切り替える期間と時間帯の設定ができます。  
設定した時間帯に応じて、本機の電源プランを変更し、消費電力を抑えることができます。



## チェック

- 電源プランの自動切替の実行中は、【Fn】 + 【F4】 や設定したホットキーでの電源プランの切り替えはできません。
- 電源プランの自動切替の実行中に、手動で Windows の「電源オプション」などで電源プランを切り替えた場合は、自動切替時間の終了後もその電源プランを維持します。
- ECO モード設定の切り替わりには、数分かかる場合があります。

### 1 「スタート」ボタン ( ) をクリック

### 2 「ECO モード設定ツール」をクリック


### 3 「ECO モード設定ツール」をクリック

### 4 「電源モード自動切替の設定」ボタンをクリック

「ECO モード設定ツール(自動切り替え設定)」画面が表示されます。

### 5 自動切替の設定を行う

設定可能な項目は次の通りです。

項目	説明
時間帯により切り替える	チェックを付けると、時間帯に応じて、電源プランを切り替えます。
使用期間	電源プランの自動切り替えを使用する期間の開始日、終了日を設定します。それぞれの欄の▼をクリックし、表示されるカレンダーから日付を選択してください。 さらに、  をクリックし、開始時刻、終了時刻を設定します。設定した時間帯は、使用できる電源プランが制限されます。

### 6 「OK」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

## ホットキーの設定

【Fn】 + 【F4】 とは別に、モードの切り替えに使用するホットキーを 1 つ設定できます。ホットキーの設定は、次の手順で行います。

### 1 「スタート」ボタン ( ) をクリック

### 2 「ECO モード設定ツール」をクリック

### 3 「ECO モード設定ツール」をクリック

---

### 4 「ホットキーの設定」ボタンをクリック

---

### 5 使用するホットキーを選択し、「OK」ボタンをクリック



#### メモ

- ホットキーには、次のキーが設定できます。
  - 【Alt】 + 【F1】 ~ 【F3】
  - 【Alt】 + 【F5】 ~ 【F12】
  - 【Ctrl】 + 【F1】 ~ 【F12】
- 「初期設定に戻す」ボタンをクリックすると、ホットキーの設定を工場出荷時の状態に戻します。

---

以上で設定は完了です。

# ピークシフト機能

[020405-21]

電力需要がピークに達する時間帯の電力消費を、他の時間帯に移行することをピークシフトといいます。本機は、「ピークシフト設定ツール」で設定を行うことで「ピークシフト機能」を使用できます。

## 使用上の注意

- ピークシフト機能の実行には、ACアダプタが接続されている必要があります。
- ピークシフト機能の実行には、「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」がインストールされている必要があります。
- ピークシフト機能実行中に ACアダプタを取り外したり、本機をスリープ状態や、休止状態にする、シャットダウンを行うとピークシフト機能は中断します。
- ピークシフト機能の設定はユーザーごとに設定可能ですが、同時に実行できるピークシフト機能は1つのみです。ユーザーの切り替えを使用して複数のユーザーがサインインしている状態で、いずれかのユーザーが設定したピークシフト機能が実行中の場合、他の設定によるピークシフト機能は正常に動作しません。
- ピークシフト機能実行中に「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」でバッテリーのリフレッシュを実行すると、ピークシフト機能が正常に動作しないことがあります。
- 「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」で、著しい劣化と診断され「警告」と表示されたバッテリーは充電できません。ただちに新しいバッテリーに交換してください。また、劣化したバッテリーのまま、ピークシフト機能を使用しないでください。



### チェック

バッテリーの交換については、121 コンタクトセンターまたはビジネス PC 修理受付センターにご相談ください。

- テキストやその他の項目の大きさを変更している場合、「ピークシフト設定ツール」の設定項目が表示されない場合があります。その場合は、次の手順でテキストなどの大きさを変更してから、設定を行ってください。

### 1 「アクションセンター (P. 17)」を表示する

### 2 「すべての設定」をクリック

### 3 「システム」をクリック

### 4 「ディスプレイ」をクリック

### 5 「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」にあるスライダーを左に動かし、推奨値にする

### 6 「一部のアプリは、サインアウトするまで、拡大縮小の設定に応答しません。」と表示されたら、「今すぐサインアウトする」をクリック

- 「バッテリー駆動に切り換える」「バッテリーへの充電を控える」の時間帯を長時間に設定した場合、バッテリーの充電量が不足します。バッテリーの充電時間が最低 5 時間は確保されるように「バッテリー駆動に切り換える」「バッテリーへの充電を控える」の時間帯を 19 時間以上には設定しないようにしてください。
- バッテリーへの充電を行わない時間の開始・終了は、本機の運用状況により若干の誤差が発生する場合があります。
- 本機を起動した直後に「ピークシフト設定ツール」を起動すると、一部の機能が正しく動作しません。「ピークシフト設定ツール」は、本機を起動後 1 分ほどたってから起動してください。

## ■ ピークシフト機能の設定

ピークシフト設定ツールで、ピークシフト機能に関する各種設定を行うことができます。  
ピークシフト機能の設定は、次の手順で行います。

### 1 「スタート」ボタン ( ) をクリック





### 2 「ピークシフト設定ツール」をクリック


### 3 「ピークシフト設定ツール」をクリック

「ピークシフト設定ツール」が表示されます。

### 4 ピークシフト機能の設定を行う

設定可能な項目は次の通りです。

項目	説明
使用期間	ピークシフト機能を使用する期間の開始日、終了日を設定します。 それぞれの欄の  をクリックし、表示されるカレンダーから日付を選択してください。
バッテリー駆動に切り換える (更にバッテリー充電を控える)	チェックを付けると、時間帯を指定してピークシフト機能を使用します。 ● 「開始」「終了」  をクリックし、開始時刻、終了時刻を設定します。終了時刻は、「バッテリーへの充電を控える」で設定している時間帯の範囲内になります。
バッテリーの残容量が次を切ったら、AC 電源駆動に切り換えます。	ピークシフト実施中に、バッテリー駆動から AC 電源による駆動に切り換えるバッテリーの残容量を 10%~100%の間で設定します。  をクリックし、設定を行ってください。
バッテリー駆動する開始時間をランダムに分散させる。	チェックを付けると、バッテリー駆動を開始/終了する時間を分散させます。  <b>チェック</b> 終了時間の分散により設定画面で設定した終了時間を越えることがあります。
バッテリーへの充電を控える	設定した時間帯はバッテリー充電を行いません。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>「終了」</b>   をクリックし、バッテリーへの充電を控える時間帯の終了時刻を設定します。開始時刻はバッテリー駆動開始時刻と同じ時間になります。</li> </ul>
スリープ、電源オフ中に、AC電源からバッテリーへ充電を行わない。	チェックを付けると、ピークシフト実施中に本機がスリープ状態や休止状態、電源オフになってもバッテリーの充電を行いません。
設定変更には管理者権限が必要	チェックを付けると、管理者（Administrator）権限を持つユーザーのみが、ピークシフト機能の設定を変更できるようになります。

## 5 「OK」 ボタンをクリック

設定が保存され、「ピークシフト設定ツール」が閉じます。





### メモ

「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定を変更しないで「ピークシフト設定ツール」画面を閉じます。

以上でピークシフト機能の設定は完了です。

ピークシフト機能の動作状況は、ピークシフトの実施時間になるとタスクバーの通知領域に表示されるアイコンで確認できます。

通知領域のアイコン	説明
	ピークシフトが実施され、バッテリーのみで動作しています。
	バッテリー残量が「ピークシフト停止バッテリー残容量」以下などの理由で、AC電源で動作しています。

# Intel SpeedStep® テクノロジー

---

[020404-21]

Intel SpeedStep® テクノロジーに対応した CPU が搭載されているモデルでは、電源の種類や CPU の動作負荷によって、動作性能を切り替えることができます。

Intel SpeedStep® テクノロジーへの対応については、「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。

<http://121ware.com/support/>

設定を変更する場合は、「電源プランの設定の変更」の手順 3 で「詳細な電源設定の変更」をクリックし、表示される画面の「プロセッサの電源管理」の各項目で設定を行います。



## 参照

### 電源プランの設定の変更について

「電源の設定」 - 「[電源プランの設定の変更 \(P. 42\)](#)」



本機のバッテリー（二次電池）の使い方やバッテリーのリフレッシュなどについて説明しています。

▶ バッテリー（二次電池）について.....	58
▶ 使用上の注意.....	59
▶ バッテリーの充電.....	60
▶ バッテリーの使い方と設定.....	61
▶ バッテリーのリフレッシュ.....	63
▶ バッテリー・リフレッシュ&診断ツール.....	65

# バッテリー（二次電池）について

---

[020501-21]

- 本機はリチウムイオン電池を内蔵しています。バッテリーの交換については、121 コンタクトセンターまたはビジネス PC 修理受付センターにご相談ください。
- バッテリーについては JEITA（一般社団法人 電子情報技術産業協会）の「PC 用バッテリー関連 Q&A 集」（<http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=121&ca=14>）もあわせてご覧ください。
- 本機に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。



## 使用上の注意

[020502-21]

- SSD などへの読み書き中にバッテリー残量がなくなり、電源が切れてしまうと、作成中のデータが失われたり、SSD などのデータが失われたり、壊れたりすることがあります。
- 充電を行う際にはできるだけ満充電するようにしてください。バッテリー残量が少ない場合などに少量の充放電を何度も繰り返して本機を使用すると、バッテリー残量に誤差が生じることがあります。
- バッテリー残量の表示精度を良くするには定期的にバッテリーのリフレッシュを実行してください。
- 満充電（バッテリーを充電してバッテリー充電ランプが消灯した状態）にしても使用できる時間が短くなった場合は、バッテリーのリフレッシュを行ってください。



### 参照

**バッテリーのリフレッシュについて**  
「[バッテリーのリフレッシュ \(P. 63\)](#)」

- バッテリーだけで本機を長時間使用する場合は、スリープ状態や休止状態を利用したり、本機の省電力機能を使用してください。



### 参照

- **スリープ状態／休止状態について**  
「[電源 \(P. 33\)](#)」
- **省電力機能について**  
「[省電力機能 \(P. 47\)](#)」

# バッテリーの充電

[020504-21]



## チェック

購入直後や長時間放置したバッテリーでは、バッテリー駆動ができないことや動作時間が短くなること、バッテリー残量が正しく表示されないことなどがあります。必ず満充電してから使用してください。

## バッテリーの充電のしかた

本機に AC アダプタを取り付け、AC コンセントに接続すると、自動的にバッテリーの充電が始まります。本機の電源を入れて使用していても充電されます。



## メモ

充電できる電池容量は、周囲の温度によって変わります。また、高温になると充電が中断されることがありますので、18～28℃での充電をおすすめします。

バッテリーの充電時間については、「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。

<http://121ware.com/support/>

## 充電状態を表示ランプで確認する

バッテリーの充電状態を、バッテリー充電ランプで確認することができます。



## 参照

バッテリー充電ランプについて  
「表示ランプ (P. 32)」



# バッテリーの使い方と設定

[020505-21]

## バッテリー残量の確認

バッテリー残量は次の方法で確認できます。

### タスク バーの通知領域で確認する

タスク バーの通知領域の  または  をクリックすると、現在のバッテリー残量が表示されます。

### 電源ランプで確認する

電源ランプの状態で、バッテリー残量を確認できます。



参照

電源ランプについて  
「表示ランプ (P. 32)」

## バッテリー残量による動作の設定

バッテリー残量が一定の値以下になったときに通知したり、自動的にスリープ状態や休止状態になるように設定できます。



チェック

- 工場出荷時の状態では、バッテリー残量が 10%以下になったときに通知し、5%以下になったときに再度通知し、自動的に休止状態になるように設定されています。
- バッテリー残量による動作は、電源プランごとに設定します。

バッテリー残量による動作の設定を変更するには、次の手順で行います。

**1** 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

**2** 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック

**3** 設定を変更したい電源プランの「プラン設定の変更」をクリック

**4** 「詳細な電源設定の変更」をクリック

**5** 「バッテリー」をダブルクリック

## 6 「バッテリー」以下に表示される項目で設定を行う

設定可能な項目は次の通りです。

項目	説明
バッテリー切れの動作	バッテリー残量が「バッテリー切れのレベル」以下になったときに行う動作を設定します。
低残量バッテリーのレベル	バッテリー残量がここで設定した値以下になると、「低残量バッテリーの動作」を開始します。
バッテリー切れのレベル	バッテリー残量がここで設定した値以下になると、「バッテリー切れの動作」を開始します。
低残量バッテリーの通知	バッテリー残量が「低残量バッテリーのレベル」以下になったときに通知するかどうかを設定します。
低残量バッテリーの動作	バッテリー残量が「低残量バッテリーのレベル」以下になったときに行う動作を設定します。
省電源移行バッテリー レベル	バッテリー残量がここで設定した値以下になると、Windows が省電源モードで動作するようになります。

## 7 「OK」 ボタンをクリック

以上で設定の変更は完了です。

### ■ バッテリー駆動中にバッテリー残量が少なくなったときは

バッテリー駆動中にバッテリー残量が少なくなった場合は、状況に応じて次の操作を行ってください。

#### AC コンセントから電源を供給できる場合

AC アダプタを接続して、AC コンセントから電源を供給してください。バッテリー充電ランプが点灯し、バッテリーの充電が始まります。また、バッテリーを充電しながら本機を使用できます。

#### AC コンセントが使えない場合

本機を休止状態にするか、使用中のアプリケーションを終了して本機の電源を切ってください。

バッテリー残量が少ない状態で、AC コンセントから電源を供給しないまま本機を使用していると、バッテリー残量に応じて電源プランで設定されている動作が実行されます。

# バッテリーのリフレッシュ

[020506-21]

バッテリーのリフレッシュは、一時的に低下したバッテリーの性能を回復させるときに行います。次のような場合には、バッテリーのリフレッシュを実行してください。

- バッテリーでの駆動時間が短くなった
- 購入直後や長期間バッテリーを使用しなかったため、バッテリーの性能が一時的に低下している
- バッテリーの残量表示に誤差が生じている

## バッテリーのリフレッシュの実行



### メモ

本機は、「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」で Windows 上からバッテリーのリフレッシュを実行することができます。



### 参照

**バッテリー・リフレッシュ&診断ツールについて**  
「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール (P. 65)」

BIOS セットアップユーティリティからバッテリーのリフレッシュを実行するには、次の手順で行います。

- 1 本機を使用中の場合は、本機の電源を切る**
- 2 本機に AC アダプタを接続していない場合は、AC アダプタを接続し、電源コードのプラグを AC コンセントに接続する**
- 3 バッテリーを満充電（バッテリー充電ランプが消灯した状態）にする**
- 4 電源を入れ、すぐに【F2】を数回押す**

BIOS セットアップユーティリティが表示されます。



### 参照

**BIOS セットアップユーティリティについて**  
『システム設定』の「システム設定」 - 「BIOS セットアップユーティリティについて」

- 5 電源コードのプラグを AC コンセントから抜き、AC アダプタを本機から取り外す**
- 6 「Exit」メニューの「Battery Refresh」を選択し、【Enter】を押す**

## 7 「Do you want to refresh battery?」と表示されたら、「Yes」を選択し【Enter】を押す

バッテリーのリフレッシュが始まります。



### チェック

バッテリーのリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。

バッテリーのリフレッシュが完了しバッテリー内の電力がなくなると、自動的に本機の電源が切れますので、本機の電源が切れるまでお待ちください。

以上でバッテリーのリフレッシュは完了です。

## ■ バッテリーのリフレッシュを中断する

バッテリーのリフレッシュを中断するには、次の方法があります。

- **【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】 を押す**

本機が再起動します。

- **電源スイッチを押す**

本機の電源が切れます。

- **【Esc】 を押す**

選択画面が表示されるので、【↑】【↓】で「Cancel Battery Refresh」を選択し、【Enter】を押してください。バッテリーのリフレッシュが中断し、本機が再起動します。



# バッテリー・リフレッシュ&診断ツール

[020507-21]

「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」を使用することで、バッテリーのリフレッシュと性能診断、バッテリーのリフレッシュと診断の自動実行ができます。



## チェック

バッテリー・リフレッシュ&診断ツールがインストールされていない場合、ピークシフト機能は使用できません。また、著しく劣化したバッテリーの充電停止機能も使用できません。

## バッテリー・リフレッシュ&診断ツールの表示

バッテリー・リフレッシュ&診断ツールの表示は次の手順で行います。



## チェック

- バッテリー・リフレッシュ&診断ツールは画面の向きを縦画面表示にした状態ではご利用になれません。
- 縦画面表示で設定画面を表示した場合には、設定画面右上の×ボタンをクリックし、一旦設定画面を閉じてください。その後、画面の向きを横画面表示の状態にして、再度設定画面を表示してください。
- 本機を起動した直後にバッテリー・リフレッシュ&診断ツールを起動すると、一部の機能が正しく動作しません。バッテリー・リフレッシュ&診断ツールは、本機を起動後 1 分ほどたってから起動してください。

### 1 「スタート」ボタン ( ) をクリック

### 2 「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」をクリック

### 3 「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」をクリック

### 4 バッテリーのリフレッシュや性能診断についての概要を説明する画面が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリック



## メモ

- 「起動時にこの画面を表示しない」にチェックを付けてから「次へ」ボタンをクリックすると、概要説明画面を次回から表示しなくなります。
- 概要説明画面は、「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」を表示して、「はじめにお読みください」ボタンをクリックしても表示されます。

バッテリー・リフレッシュ&診断ツールや診断結果については、バッテリー・リフレッシュ&診断ツールを表示し、「ヘルプ」ボタンをクリックすると表示されるヘルプをご覧ください。

## バッテリーのリフレッシュと性能診断を実行する

バッテリーのリフレッシュと性能診断は、次の手順で行います。



### チェック

バッテリーのリフレッシュと性能診断を行う場合には、本機に AC アダプタを取り付け、AC コンセントに接続しておく必要があります。

### 1 「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」を表示する

### 2 「開始」ボタンをクリック

確認画面が表示されます。

### 3 内容を確認し、「はい」ボタンをクリック

バッテリーのリフレッシュが開始されます。  
バッテリーのリフレッシュ終了後、性能診断が行われます。



### メモ

- 確認画面、および実行中の画面で「終了後、自動的にスリープ状態にする」にチェックを付けると、バッテリーのリフレッシュと性能診断が終了した後、本機がスリープ状態になります。
- アクション センターの「非通知モード」がオフになっているときに、実行中の画面で「通知領域に格納」ボタンをクリックすると、実行中の画面を閉じてタスク バーの通知領域に本ツールのアイコンを表示します。

通知領域のアイコンにマウスポインタを合わせるとリフレッシュの進行状況を表示しますが、アクションセンターの「非通知モード」の設定を切り替えたあと、「非通知モード」をオフにしても、マウスポインタを合わせた時にリフレッシュの進行状況を表示しない場合があります。

このようなときは、下記の手順でバッテリーのリフレッシュと性能診断の進行状況を表示させることができます。

### 1 通知領域に表示される本ツールのアイコンをクリック

### 2 バッテリー・リフレッシュ&診断ツールの画面で、「通知領域に格納」をクリック

- アクション センターの「すべての設定」- 「システム」の「通知とアクション」で本ツールからの通知を表示しない設定にした場合でも、リフレッシュ実行中の画面で「通知領域に格納」ボタンをクリック後、通知領域のアイコンから作業状況を表示させると本ツールからの通知表示が自動的にオンになり、作業状況を再度表示する場合があります。



### チェック

- バッテリーのリフレッシュを中断する場合は、「中止」ボタンをクリックし、画面の指示に従ってください。また、バッテリーのリフレッシュを中断した場合、性能診断は行われません。
- 「バッテリー状態」に「劣化」と表示された場合、バッテリーの交換をおすすめします。
- 「バッテリー状態」に「警告」と表示された場合、バッテリーを交換してください。また、バッテリーへの充電やバッテリーのリフレッシュは、安全のため行えなくなります。
- バッテリーの交換については、121 コンタクトセンターまたはビジネス PC 修理受付センターにご相談ください。

## バッテリーのリフレッシュと性能診断を自動実行する

バッテリーのリフレッシュと性能診断の自動実行は、次の手順で設定します。



### チェック

バッテリーのリフレッシュと性能診断を自動実行する場合には、設定した時間に本機が以下の状態であることが必要です。

- 本機に AC アダプタを取り付け、AC コンセントに接続されている。
- 電源がシャットダウンされていない（起動中、スリープ状態、休止状態の場合は実行可能です）。
- 管理者（Administrator）権限を持たないユーザーで自動実行を設定した場合、設定したユーザーでサインインしている。
- 管理者（Administrator）権限を持ち、Windows パスワードを持たないユーザーで自動実行を設定した場合、設定したユーザーでサインインしている。

### 1 「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」を表示する

### 2 「次回開始日時の設定」ボタンをクリック

### 3 「次回の実行日時を指定する」を選択し、実行時間を設定する

必要に応じて以下の項目も設定してください。

- 「Windows パスワード」  
Windows のサインインパスワードを設定している場合は、この欄にパスワードを入力する
- 「終了後、自動的にスリープ状態にする」  
自動実行終了後、本機をスリープ状態にする場合にはチェックを付ける



### チェック

管理者（Administrator）権限を持たないユーザーで設定を行っている場合、「Windows パスワード」欄は表示されません。

### 4 「OK」ボタンをクリック

以上でバッテリーのリフレッシュと性能診断の自動実行の設定は完了です。

## ■ バッテリーの充電モードを設定する

バッテリーの充電モードを設定できます。



### チェック

充電モードの設定は、バッテリー・リフレッシュ&診断ツールでのみ変更可能です。



### メモ

- 現在内蔵しているバッテリーの充電モードは、バッテリー・リフレッシュ&診断ツールの「現在のモード」欄で確認できます。
- バッテリーは、使い続けていくうちに、バッテリーの電源のみでパソコンを使用できる時間が以前よりも短くなっていきます。このようなときは、バッテリーのリフレッシュを実行することでバッテリーの性能を回復できます。

## 1 「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」を表示する

## 2 「充電モードの設定」ボタンをクリック

## 3 設定するモードを選択する

設定可能なモードは次のとおりです。

モード	説明
フル充電モード	100%まで充電する通常モードです。
8割充電モード	充電を80%までにすることで、バッテリーの劣化を抑えるモードです。
5割充電モード	50%まで充電します。

## 4 「OK」ボタンをクリック

以上で充電モードの設定は完了です。

## ■ バッテリー・リフレッシュ&診断ツールのアンインストール

バッテリー・リフレッシュ&診断ツールのアンインストールは、次の手順で行います。



### チェック

アンインストールは管理者 (Administrator) 権限を持つユーザーで行ってください。

## 1 「コントロールパネル (P. 11)」を表示する

**2** 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

**3** 「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」を選択し、「アンインストール」をクリック

**4** 「バッテリー・リフレッシュ&診断ツールをアンインストールしますか?」と表示された場合は、「はい」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

以上でバッテリー・リフレッシュ&診断ツールのアンインストールは完了です。

## バッテリー・リフレッシュ&診断ツールの再インストール


アンインストールした「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」を再インストールする場合は、次の手順で行います。



### チェック

- インストールには光学ドライブが必要です。
- インストールは管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。

**1** 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする

**2** 「スタート」ボタン (  ) をクリック

**3** 「Windows システム ツール」をクリック

**4** 「ファイル名を指定して実行」をクリック

**5** 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥Nxsetup.exe



### メモ

光学ドライブがDドライブ以外の場合は、先頭の「D」を、お使いの光学ドライブのドライブ文字に置き換えて入力してください。

**6** 「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」を選択し、「インストール」をクリック



### チェック

「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール」が複数表示される場合は、お使いのタイプ名を選択してください。

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

**7** 「バッテリー・リフレッシュ&診断ツールファイル使用中」画面が表示された場合は、「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール - スケジューラ (Process Id: XXXX)」をクリックし、「継続」ボタンをクリック

**8** 「インストールが完了しました。」画面が表示されたら、「閉じる」ボタンをクリック

**9** 再起動を促すメッセージが表示された場合は、光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出し、「はい」ボタンをクリック

Windows が自動的に再起動します。



#### チェック

メッセージが表示されない場合は、光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出し、Windows を再起動してください。

以上でバッテリー・リフレッシュ&診断ツールの再インストールは完了です。

本機のタッチパネル機能について説明しています。

▶ 使用上の注意.....	72
▶ タッチパネルでの操作方法.....	73
▶ タッチパネルの設定.....	75

## 使用上の注意

---

[023001-21]

- 必要以上に強い力でタッチしないでください。故障の原因になります。
- 画面上に物を置くなど、長時間同じ位置に重量負荷をかけないようにしてください。画面がたわみ、故障の原因になります。
- 汚れた指でタッチしないでください。画面に汚れが付着して見にくくなる可能性があります。
- 万が一タッチパネルが割れた場合は指で触れたりせずに修理を依頼してください。
- タッチパネルの表面にフィルムなどを貼らないでください。また、汚れや水滴が付着した場合は柔らかい布で取り除いてください。タッチ操作が正常に行えなくなる可能性があります。
- 指の状態（乾燥している、汗や水で濡れているなど）によっては、タッチ操作が正常に行えなくなる可能性があります。
- 他の電気機器から離してお使いください。そばに置いて使用していると、タッチパネルの動作が不安定になることがあります。
- ACアダプタは、他の電気機器と同じ AC コンセントに接続しないでください。他の電気機器からノイズを受けて、タッチパネルの動作が不安定になることがあります。  
やむなく同じコンセントに接続していて、他の電気機器にアース線がある場合は、必ずアース線を接続してください。



# タッチパネルでの操作方法

[023002-21]

本機のタッチパネルでの操作と対応するマウス操作について説明します。



## メモ

操作をするときは指先で触れるようにし、また、2本の指で操作する場合は、1本目の指で画面に触れてから、2本目の指の操作を行ってください。

操作名	操作イメージ	説明	同じ動作をするマウス操作
タップ		画面上の対象に指1本で軽く触れ、指を離します。 アイコンや項目の選択や、ボタンを押すときに使用します。	クリック
長押し (プレス アンド ホールド)		指1本で画面上の対象に触れ続け、四角が表示された後に指を離します。 右クリックメニューが表示されます。	右クリック
ダブル タップ		画面上の対象を指で2回連続でタップします。 ダブルクリックと同様に、フォルダを開いたり、プログラムを実行するときに使用します。	ダブル クリック
ドラッグ		画面上の対象に触れ、指を離さずに目的の場所まで動かして指を離します。 アイコンの移動や範囲選択などで使用します。	ドラッグ
スライド (パン)		指を画面上に軽くタッチした状態で動かします。 画面に表示しきれない大きなページや画像データを動かし、隠れていた部分を表示することができます。	スクロール

<p>スワイプ (フリック)</p>		<p>画面に触れ、指を払うように動かします。 指を動かした方向に表示内容がスクロールさせたり、ページをめくることがができます。 アプリケーションが対応している場合のみ有効です。</p>	<p>—</p>
<p>ピンチ/ ストレッチ (ズーム)</p>		<p>ピンチによる縮小をする場合は、指1本で画面に触れたまま、別のもう1本の指で画面に触れ、2本の指先でつまむように動かします。 ストレッチによる拡大をする場合は、逆に2本の指先を開くように動かします。 アプリケーションが対応している場合のみ有効です。</p>	<p>【Ctrl】 + スクロールホイール</p>
<p>回転</p>		<p>指1本で画面に触れたまま、もう1本の指で画面に触れ、最初に触れた指を中心にして円を描くように動かします。 アプリケーションが対応している場合のみ有効です。</p>	<p>—</p>

# タッチパネルの設定

[023004-21]

## 操作や表示などの設定

ダブルタップなどの操作に関する設定や、タッチパネル操作時の表示について設定できます。

### ダブルタップなどの操作に関する設定をする

1 「コントロールパネル (P. 11)」を表示する

2 「ハードウェアとサウンド」→「ペンとタッチ」をクリック

3 「タッチ」タブで設定を行う

ダブルタップや長押しの設定ができます。

4 「OK」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

### タッチパネル操作時の表示、画面の回転に関する設定をする

1 「コントロールパネル (P. 11)」を表示する

2 「ハードウェアとサウンド」→「タブレット PC 設定」をクリック

3 次のタブで設定を行う

- 「画面」タブ  
画面の回転についての設定などができます。



#### チェック

「調整」をクリックしてタッチする位置の調整をしないでください。調整をすると、タッチの反応位置がずれてしまうことがあります。  
調整してしまった場合は、「画面」タブの「リセット」をタップして、ご購入時の設定に戻してください。

- 「その他」タブ  
きき手などの設定ができます。

## 4 「OK」 ボタンをクリック

---

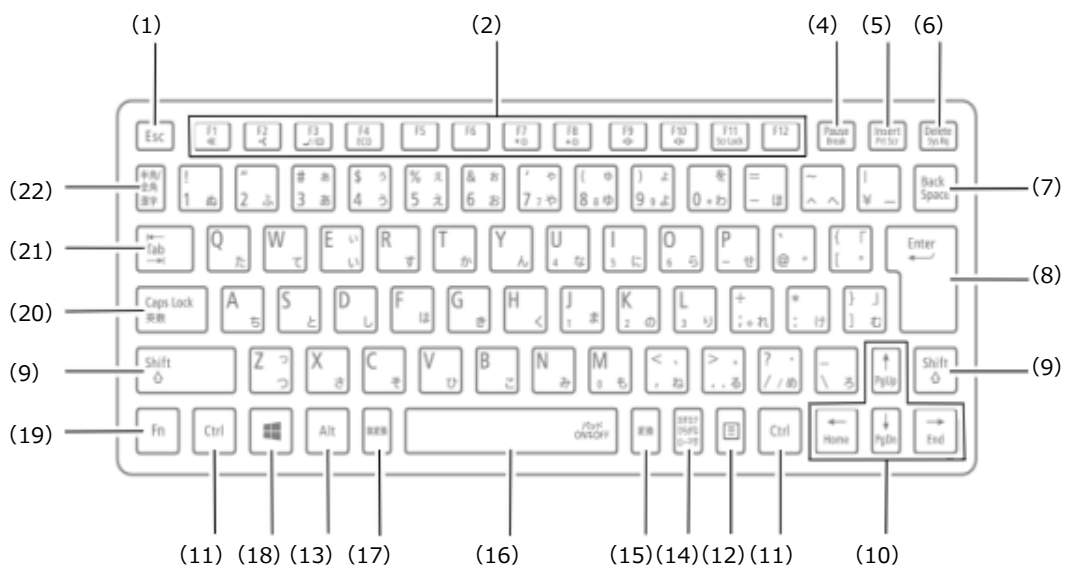
以上で設定は完了です。



本機のキーボードのキーの名称や、キーの使い方について説明しています。

➤ キーの名称.....	78
➤ キーの使い方.....	80
➤ キーボードの設定.....	82

# キーの名称

[020603-21]



番号	マニュアルでの表記	名称
(1)	【Esc】	エスケープキー
(2)	【F1】～【F12】	ファンクションキー
(4)	【Pause】	ポーズキー
(5)	【Insert】	インサートキー
(6)	【Delete】	デリートキー
(7)	【Back Space】	バックスペースキー
(8)	【Enter】	エンターキー（リターンキー）
(9)	【Shift】	シフトキー
(10)	【↑】【↓】【→】【←】	カーソルキー
(11)	【Ctrl】	コントロールキー
(12)	【  】	アプリケーションキー
(13)	【Alt】	オルトキー
(14)	【カタカナ ひらがな】	かなキー
(15)	【変換】	変換キー
(16)	スペースキー	スペースキー
(17)	【無変換】	無変換キー
(18)	【  】	Windows キー

(19)	【Fn】	エフエヌキー
(20)	【Caps Lock】	キャップスロックキー
(21)	【Tab】	タブキー
(22)	【半角/全角】	半角/全角キー

# キーの使い方

[020604-21]

## 日本語入力のオン/オフ

本機は、工場出荷時、日本語入力システムとして Microsoft IME が設定されています。  
工場出荷時の状態で日本語入力のオン/オフを切り替えるには【半角/全角】または【Caps Lock】を押してください。



## ホットキー機能（【Fn】の使い方）

【Fn】と他のキーを組み合わせることで、パソコンの設定を変更したり、キーの役割を変えることができます。これをホットキー機能といいます。

組み合わせが可能なキーとその機能を表すアイコンは【Fn】と同じ色でキー上面に印字されているものもあります。

キー操作	機能	説明
【Fn】 + 【F1】	音声のオン/オフ（ミュート機能） 	音声のオン/オフを切り替えます。
【Fn】 + 【F2】	ワイヤレススイッチ 	ワイヤレス機能のオン/オフを切り替えます。詳しくは「 <a href="#">無線 LAN 機能 (P. 155)</a> 」、「 <a href="#">Bluetooth 機能 (P. 182)</a> 」をご覧ください。
【Fn】 + 【F3】 ※1	画面表示先の切り替え（  / 	市販の外部ディスプレイを接続しているときに、パソコンの画面を表示するディスプレイを切り換えます。 詳しくは「 <a href="#">画面の出力先を切り替える (P. 117)</a> 」をご覧ください。
【Fn】 + 【F4】 ※2	ECO モードの切り替え（ <b>ECO</b> ）	ECO モードを切り替えます。詳しくは「 <a href="#">ECO モード機能 (P. 49)</a> 」をご覧ください。
【Fn】 + 【F7】	輝度を下げる（ 	液晶ディスプレイの輝度が下がります（11 段階）。
【Fn】 + 【F8】	輝度を上げる（ 	液晶ディスプレイの輝度が上がります（11 段階）。
【Fn】 + 【F9】	音量を下げる（ 	スピーカの音量を下げます。
【Fn】 + 【F10】	音量を上げる（ 	スピーカの音量を上げます。
【Fn】 + 【F11】 ※3	スクロールロック	【Scr Lock】として機能します。
【Fn】 + 【Insert】	プリントスクリーン	【Prt Scr】として機能します。
【Fn】 + 【Pause】	Break	【Break】として機能します。
【Fn】 + 【Delete】	システムリクエスト	【Sys Rq】として機能します。
【Fn】 + 【↑】	Page Up	【Pg Up】として機能します。
【Fn】 + 【↓】	Page Dn	【Pg Dn】として機能します。
【Fn】 + 【←】	Home	【Home】として機能します。
【Fn】 + 【→】	End	【End】として機能します。



【Fn】 + スペースキー	NXパッドのオン/オフ	NXパッドのオン/オフを切り替えます。
【Fn】 + 	右 Windows	右  として機能します。

※1 外部ディスプレイを接続していない場合は動作しません。

※2 「ECOモード設定ツール」をアンインストールした場合は動作しません。

※3 本機の電源を切ったり、再起動を行った場合、設定した内容は解除されます。

# キーボードの設定

---

[020605-21]

Windows でキーボードをより使いやすく設定することができます。



**参照**

**キーボードの設定について**  
Windows のヘルプ

本機のNXパッドの使い方や拡張機能の設定方法などについて説明しています。

▶ NXパッドの使い方.....	84
▶ NXパッドの設定.....	85

## NXパッドでの操作

工場出荷時の状態で使用できるNXパッドでの操作には、次のようなものがあります。

操作名称	操作説明
マウスポインタの移動	パッドに触れ、マウスポインタを動かしたい方向に指を動かします。
クリック	パッドの右下以外の部分を押し込んで、すぐに離します。
右クリック	パッドの右下部分を押し込んで、すぐに離します。
ダブルクリック	アイコンやフォルダなどの上にポインタを合わせてから2回続けてすばやくクリックします。
ドラッグ	アイコンやフォルダなどの上にポインタを合わせ、パッドを押し込んだままパッド上で指を動かします。
スクロール	スクロールバーが表示されているアプリケーションのウィンドウをクリックし、パッドの2カ所に触れます。触れる位置は少し離してください。 そのまま、スクロールバーを動かしたい逆方向に2本の指を動かします。
ズーム	拡大／縮小の操作を行いたいアプリケーションのウィンドウをクリックし、パッドの2カ所に触れます。 そのまま、指先の間を広げたり狭めたりすることで、拡大／縮小ができます。
回転	回転の操作を行いたいアプリケーションのウィンドウをクリックし、パッドの2カ所に触れます。 そのまま、2つの指をひねるように回転させます。



### チェック

スクロールやズーム、回転は、対応していないアプリケーションでは使用できません。



### メモ

- パッドを指先で軽くたたくとクリックと同じ操作になります。また、2回続けてすばやくパッドをたたくと、ダブルクリックと同じ操作になります。パッドを軽くたたいてクリックやダブルクリックの操作をすることを「タップ」や「ダブルタップ」と呼びます。
- アイコンやフォルダなどの上にポインタを合わせてから2回続けてすばやくパッドをたたき、そのまま指を動かすと、ドラッグの操作になります。

# NXパッドの設定

[020803-21]

NXパッドのボタンやポインタの動作などの設定は「マウスのプロパティ」で行います。

## 1 「コントロールパネル (P. 11)」を表示する

## 2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリック

「マウスのプロパティ」が表示されます。

「マウスのプロパティ」の各タブをクリックし、NXパッドの設定ができます。

## マルチタッチやジェスチャーなどの機能の設定

マルチタッチやジェスチャー、スクロールなどの機能の設定は、「マウスのプロパティ」の「NXパッド」タブから「Elan Smart-Pad」画面を表示して行います。

「Elan Smart-Pad」画面の表示は、次の手順で行います。

## 1 「コントロールパネル (P. 11)」を表示する

## 2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリック

「マウスのプロパティ」が表示されます。

## 3 「NXパッド」タブをクリック

## 4 「NXパッド」タブ内の「オプション」ボタンをクリック

NXパッドの「Elan Smart-Pad」画面が表示されます。



### チェック

【Fn】 + 【Space】でNXパッドを無効にしていた場合、「オプション」ボタンは操作できません。


## 設定できる項目


「オプション」画面では、次の項目の設定ができます。


	項目	説明
基本	タッピング	有効にすると、タップ操作が使用可能になります。
	一本指	クリック/選択の操作が使用可能になります。

	二本指	二本指を使ったタップ操作が可能になります。ご使用になりたい機能をドロップダウンメニューから選択してください。
	三本指	三本指を使ったタップ操作が可能になります。ご使用になりたい機能をドロップダウンメニューから選択してください。
	四本指	四本指を使ったタップ操作が可能になります。ご使用になりたい機能をドロップダウンメニューから選択してください。
	クリック	パッドを押し込む操作がクリックとして機能します。
	一本指	クリック/選択の操作が使用可能になります。
	二本指	二本指を使ったクリック操作が可能になります。ご使用になりたい機能をドロップダウンメニューから選択してください。
	三本指	三本指を使ったクリック操作が可能になります。ご使用になりたい機能をドロップダウンメニューから選択してください。
	左隅	パッドの左下隅を使ったクリック/選択が可能になります。
	右隅	パッドの右下隅を使ったポップアップメニューが可能になります。
	ドラッグ&ドロップ	有効にすると、ドラッグおよびドロップの操作が使用可能になります。操作の設定については、以下の項目から選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● スクリーンから指を離すとフレーム選択が解除されます</li> <li>● もう一度タッピングしてリリース</li> <li>● 一定時間遅延後リリース</li> </ul>
	エッジスクロール	パッドの右端や下端をなぞることでスクロールができるスクロール領域が使用可能になります。操作の設定については、以下の項目から選択してください。
	縦方向スクロール	縦方向へのスクロールが使用可能になります。
	横方向スクロール	横方向へのスクロールが使用可能になります。
	スクロールエリア	新しいスクロールエリアを設定できます。縦方向または横方向のスクロールが有効なときのみ、操作が可能になります。
	スクロール速度	スクロール速度を設定できます。縦方向または横方向のスクロールが有効なときのみ、操作が可能になります。
	円形スクロール	指で円を描く動作により、連続スクロールを可能にします。縦方向または横方向のスクロールが有効なときのみ、操作が可能になります。
	連続スクロール	ウィンドウを、縦または横にスクロールし続けることができます。縦方向または横方向のスクロールが有効なときのみ、操作が可能になります。
拡張	ズーム	有効にすると、ズームイン/ズームアウト機能が使用可能になります。
	ズーム率	ズーム機能を有効にすることで、ズーム率の速さを設定できます。
	スクロール	二本指でのスクロール機能が使用可能になります。操作の設定については、以下の項目から選択してください。
	縦方向スクロール	縦方向へのスクロールが使用可能になります。

	横方向スクロール	横方向へのスクロールが使用可能になります。
	スクロール速度	スクロール速度を設定できます。縦方向または横方向のスクロールが有効なときのみ、操作が可能になります。
	慣性スクロール	有効にすると、慣性スクロール機能が使用できます。縦方向または横方向のスクロールが有効なときのみ、操作が可能になります。
	逆方向	標準のマウスホイールの実装とスクロール方向が反対にできます。縦方向または横方向のスクロールが有効なときのみ、操作が可能になります。
	回転	有効にすると、時計回り/反時計回りの回転機能が使用可能になります。
	三本指スワイプ	有効にすると、三本指でスワイプするジェスチャーが使用可能になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 左にスワイプ：前ページ/高速タスク切り替え</li> <li>● 右にスワイプ：次ページ/高速タスク切り替え</li> <li>● 上にスワイプ：スライドショーの開始/タスクビュー</li> <li>● 下にスワイプ：スライドショーの停止/デスクトップを表示</li> </ul>
追加	パーム測定	誤って手がパッドに触れたときなどに、ポインタが誤動作しないようにする感度を設定できます。
	感度	設定画面でパッドの感度が設定できます。
	スマートモーション	有効にすると、スマートモーション機能が使用可能になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 常に：スマートモーションが常に有効になります</li> <li>● ドラッグ時のみ：スマートモーションがドラッグの動作時のみ有効になります</li> <li>● モーション速度：スマートモーション速度を設定できます。</li> </ul>

それぞれの項目の操作イメージを表示するには、「構成」画面の  をクリックしてください。

それぞれの項目の設定を工場出荷時の状態に戻すには、「構成」画面の  をクリックしてください。

項目のヘルプを見る場合は、項目を選択し、  をクリックしてください。

## 工場出荷時の設定に戻す

NX パッドの設定を工場出荷時の状態に戻す場合は、次の手順で行います。

### 1 「NX パッド」タブの「オプション」ボタンをクリック

NX パッドの「Elan Smart-Pad」画面が表示されます。

### 2 「すべてデフォルトに設定」ボタンをクリック

### 3 「Ok」ボタンをクリック



#### チェック

【Fn】 + 【Space】で NX パッドを無効にしていた場合、「オプション」ボタンは操作できません。

## NX パッドのオン/オフ

【Fn】 + スペースキーを押すことで、NX パッドのオン/オフを切り替えることができます。

ただし「マウスを接続した場合、NX パッドを無効にする。」にチェックを付けた状態でマウスを接続した場合、【Fn】 + スペースキーを押しても NX パッドは有効になりません。

また、USB マウスを接続しているときに、NX パッドが自動的に無効になるように設定できます。  
設定する場合は、次の手順で行ってください。



### メモ

工場出荷時の状態では、「マウスを接続した場合、NX パッドを無効にする。」にチェックが付いています。

- 1 「コントロールパネル (P. 11)」を表示する
- 2 「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリック  
「マウスのプロパティ」が表示されます。
- 3 「NX パッド」タブをクリック
- 4 「マウスを接続した場合、NX パッドを無効にする。(この機能を有効にしてマウスを接続した場合、Fn+Space を押しても NX パッドは有効になりません)」にチェックを付ける
- 5 「OK」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。



本機でマウスを使用する場合の設定について説明しています。

▶ マウスを使用する.....	90
▶ マウスを接続するための設定方法.....	92
▶ マウスを接続する前の設定に戻す.....	93

# マウスを使用する

[020902-21]

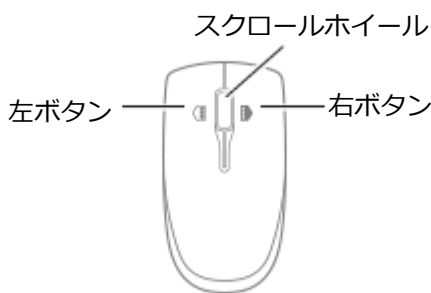
本機では、USB 接続のマウスを使用することができます。

添付または別売の当社製 USB マウスを使用する場合は、特に設定を行う必要はありません。そのまま USB コネクタに接続してください。

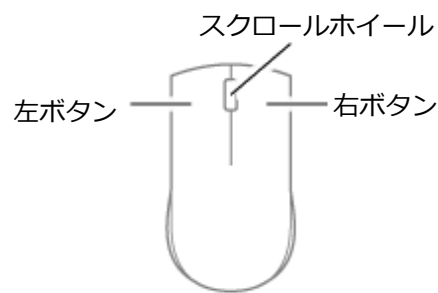
他社製の USB マウスを使用する場合は、他社製 USB マウスに添付のマニュアルをご覧ください。手順に従って USB マウスを接続してください。

購入時に、マウスを選択した場合に添付されるマウスを例として説明します。

## USB レーザーマウス



## USB 光センサーマウス



### チェック

USB レーザーマウスや USB 光センサーマウスは、マウス底面に光源があり、マウスを置いた操作面をセンサーで検知することでマウスの動きを判断しています。次のような操作面では正しく動作しない（操作どおりにマウスポインタが動かない）場合があります。

- 反射しやすいもの（鏡、ガラスなど）
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの（雑誌や新聞の写真など）
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- 光沢があるもの（透明、半透明な素材を含む）



### 参照

- **マウスを接続するための設定方法**  
「本機の機能」の「マウス」 - 「マウスを接続するための設定方法 (P. 92)」
- **マウスの使い方**  
Windows のヘルプ

## スクロールホイールの使い方



### チェック

スクロールホイールの機能に対応していないアプリケーションでは使用できません。

## USB レーザーマウスの場合

---

- **垂直スクロール機能**

スクロールホイールを奥または手前方向に回転させることで、画面を上下にスクロールさせることができます。

- **水平スクロール機能**

スクロールホイールを左または右側に傾けると、画面を左右にスクロールさせることができます。

- **オートスクロール機能**

スクロールホイールをクリックしたり、押し続けるとスクロールアイコンが表示されます。

その状態で、三角マークの方向にマウスを動かして、画面を上下、または左右にスクロールさせることができます。

スクロールホイールを再度クリックしたり、指を離すとスクロールアイコンが消えます。

## USB 光センサーマウスの場合

---

- **垂直スクロール機能**

スクロールホイールを奥または手前方向に回転させることで、画面を上下にスクロールさせることができます。

- **オートスクロール機能**

スクロールホイールをクリックしたり、押し続けるとスクロールアイコンが表示されます。

その状態で、三角マークの方向にマウスを動かして、画面を上下、または左右にスクロールさせることができます。

スクロールホイールを再度クリックしたり、指を離すとスクロールアイコンが消えます。

# マウスを接続するための設定方法

[020903-21]

## 当社製 USB マウス（添付または別売）を使用する

当社製 USB マウス（添付または別売）を使用する場合は、特に設定を行う必要はありません。そのまま USB コネクタに接続してください。



### チェック

当社製 USB マウスと NX パッドを同時に使用できませんが、工場出荷時の状態では、USB マウス接続時に NX パッドが無効になるように、NX パッドドライバで設定されています。



### メモ

- USB マウスと NX パッドを同時に使用する場合は、「マウスのプロパティ」→「NX パッド」タブで「マウスを接続した場合、NX パッドを無効にする。（この機能を有効にしてマウスを接続した場合、Fn +Space を押しても NX パッドは有効になりません）」のチェックを外してください。
- NX パッドを使用しない場合は、BIOS の設定で NX パッドを無効にできます。「[他社製の USB マウスを使用する \(P. 92\)](#)」を参照してください。

## 他社製の USB マウスを使用する

他社製の USB マウスを使用する場合は、他社製 USB マウスに添付のマニュアルをご覧ください、手順に従って USB マウスを接続してください。



### メモ

NX パッドを無効にしたい場合は、BIOS セットアップユーティリティの「Advanced」メニュー→「Device Configuration」の「Internal Mouse」を「Disabled」に設定してください。



### 参照

#### NX パッドを無効にする

- 『システム設定』の「システム設定」 - 「BIOS セットアップユーティリティについて」
- 『システム設定』の「システム設定」 - 「設定項目一覧」 - 「「Advanced」メニュー」

# マウスを接続する前の設定に戻す

[020904-21]

マウスを取り外すとき、「マウスを接続するための設定方法 (P. 92)」で変更する前の設定に戻す (NX パッドの拡張機能を使用する) 場合は、次の操作を行ってください。

## ■ 当社製 USB マウス (添付または別売) を使用している場合

そのまま USB コネクタから取り外してください。



### メモ

BIOS の設定で NX パッドを無効にした場合は、「他社製の USB マウスを使用している場合」と同様に、NX パッドを有効に戻してください。

## ■ 他社製の USB マウスを使用している場合

他社製の USB マウスを使用している場合は、他社製 USB マウスに添付のマニュアルをご覧ください、手順に従って USB マウスを取り外してください。



### メモ

BIOS の設定で NX パッドを無効にした場合は、BIOS セットアップユーティリティの「Advanced」メニューで次の設定を行い、NX パッドを有効に戻してください。

「Device Configuration」の「Internal Mouse」を「Enabled」に設定する



### 参照

#### NX パッドを有効にする

- 『システム設定』の「システム設定」 - 「BIOS セットアップユーティリティについて」
- 『システム設定』の「システム設定」 - 「設定項目一覧」 - 「「Advanced」メニュー」

# 液晶ディスプレイ

---

[021100-21]

本機の液晶ディスプレイの表示の調整や表示できる解像度と表示色、表示に関する機能の設定などについて説明しています。

▶ 使用上の注意. . . . .	95
▶ 画面表示の調整. . . . .	96
▶ 液晶ディスプレイの回転. . . . .	97
▶ 画面の回転. . . . .	101
▶ 表示できる解像度と表示色. . . . .	103
▶ ディスプレイストレッチ機能. . . . .	104

## 使用上の注意

---

[021101-21]

- 液晶ディスプレイは非常に高精度な技術で作られていますが、色調のズレなど個体差が発生する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。
- OpenGL のアプリケーションを使用した場合、アプリケーションによっては、画面が表示されない、または画面の表示が乱れることがあります。
- DVD の再生画面の上に他のウィンドウを重ねると、コマ落ちや音切れ、およびデスクトップ上のアイコンのちらつきが発生したり、再生画面にゴミが残る場合があります。
- DVD の再生時に画面がちらつく場合があります。また、再生する DVD の種類によっては、コマ落ちが発生する場合があります。
- Windows の状態によっては、スクリーンセーバー動作時に液晶ディスプレイの電源がオフにならない場合があります。
- 各種ベンチマークが正常に実行できない場合があります。
- DVD や動画の再生中は、休止状態やスリープ状態にしないでください。
- 解像度、または画面の出力先の変更を行う場合は、動画や音楽を再生するアプリケーションを表示したまま行わないでください。
- 動画を再生するアプリケーションによっては、画質が低下する場合があります。
- 本機の液晶ディスプレイを開閉すると、画面がちらつくことがありますが、故障ではありません。

## ■ 輝度を調整する

### キーボードで調整する

キーボードで、一時的に輝度を調整できます。

機能	キー操作	説明
輝度を下げる (▼☀)	【Fn】 + 【F7】	液晶ディスプレイの輝度が下がります。
輝度を上げる (▲☀)	【Fn】 + 【F8】	液晶ディスプレイの輝度が上がります。



# 液晶ディスプレイの回転

[021106-21]

本機は液晶ディスプレイを 360 度回転した状態で使用できます。

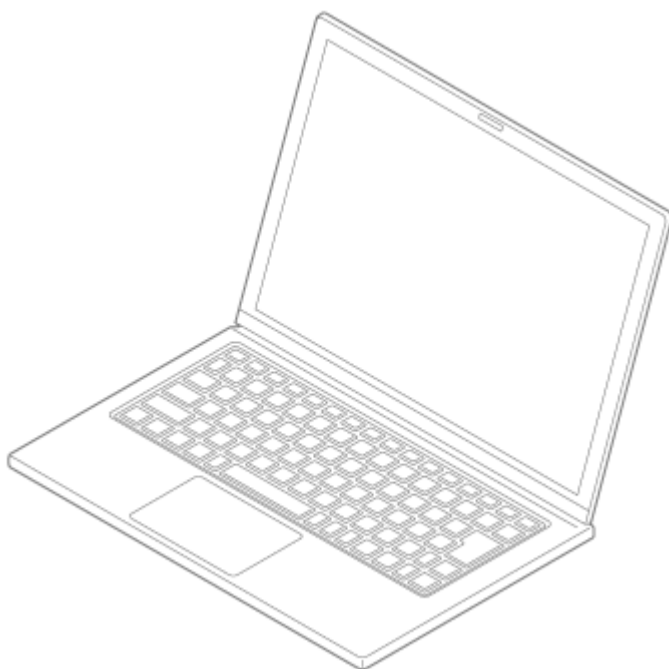


## チェック

- タブレット スタイル、フラット スタイルの状態では机などに設置して使用する場合は、そのまま本体を引きずらないでください。パソコンに傷が付いたり、塗装がはがれたりする可能性があります。
- 無理な力で液晶ディスプレイを開閉しないでください。液晶ディスプレイやヒンジ部分が損傷するおそれがあります。
- 液晶ディスプレイを約 340 度以上に開くと、キーボードと NX パッドが自動的にロックされ、入力できない状態になります。

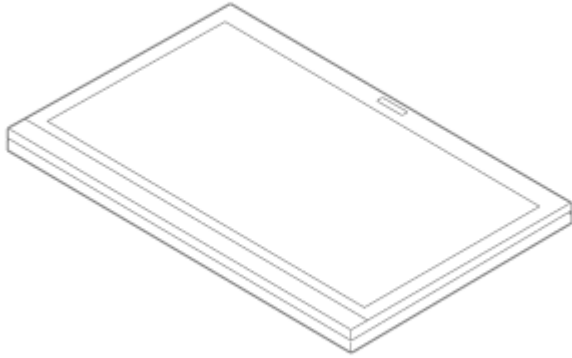
## ● ノート PC スタイル

文書やメールの作成などキーボードが必要な作業では、ノート PC スタイルが適しています。



## ● タブレット スタイル

インターネットを見たりゲームをしたりといった液晶ディスプレイを頻繁にタッチする場合は、タブレット スタイルが適しています。

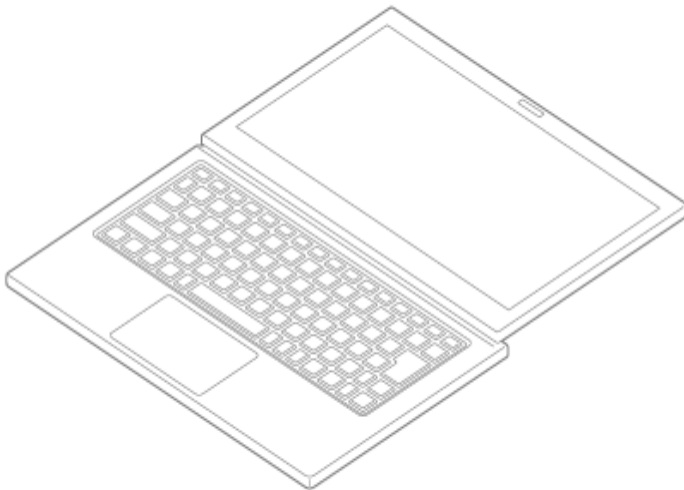


#### チェック

「タブレットスタイル」のまま持ち運ばないでください。必ず、液晶ディスプレイを閉じた状態である「ノート PC スタイル」にして持ち運んでください。

#### ● フラットスタイル

手元で操作しながら対面の相手に図や表を表示したい場合は、フラットスタイルが適しています。



#### チェック

対面の相手に画面を見せる場合は、キーボードを使って画面を回転します。【Ctrl】 + 【Alt】 + 【↓】を押すと、画面を 180 度回転します。



#### 参照

キーボードを使った画面の回転について  
「液晶ディスプレイ」の「画面の回転 (P. 101)」

## スタイルの変更のしかた

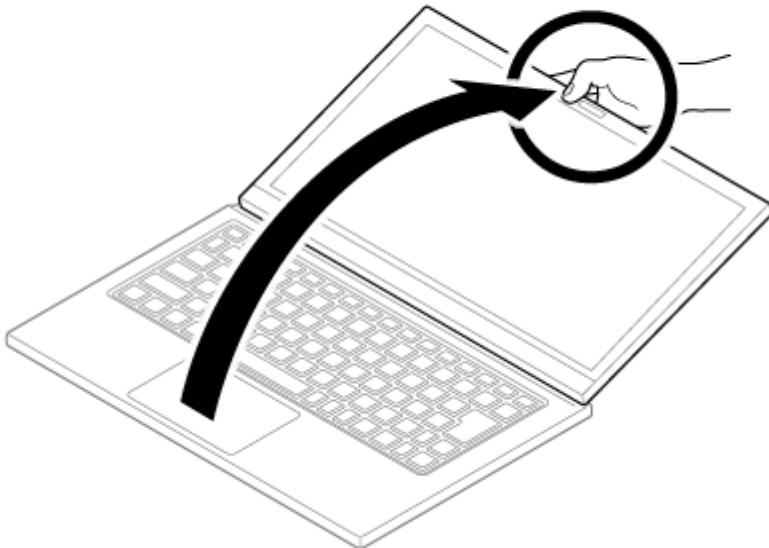
次の手順で、ノート PC スタイルからタブレット スタイルへスタイルを変更します。



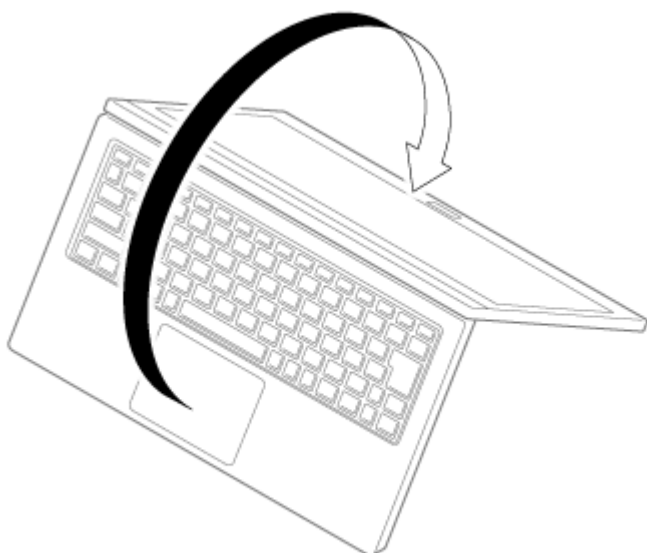
#### チェック

タブレット スタイルからノート PC スタイルに変更する場合は、逆の手順を行ってください。

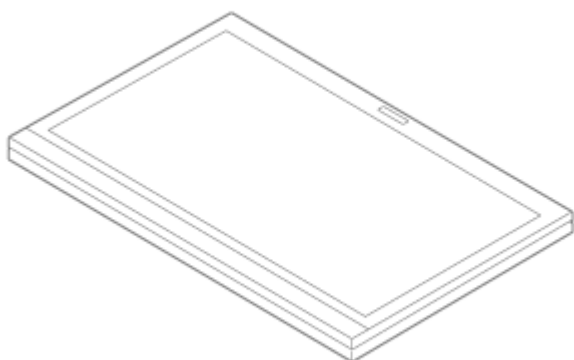
**1** 下図のように液晶ディスプレイの中央部分を持ち、後方に開く



**2** 本体底面へ液晶ディスプレイをさらに開く



### 3 本体底面と合わせる



#### チェック

液晶ディスプレイを約 340 度以上に開くと、キーボードと NX パッドが自動的にロックされ、入力できない状態になります。

## 画面を回転させる

タブレット スタイル時は、本機の向きを感知して画面の表示方向を切り替える自動回転機能により、自動で画面が回転します。



参照

スタイルについて

「液晶ディスプレイ」の「[液晶ディスプレイの回転 \(P. 97\)](#)」

## キーボードで画面を回転させる

キーボードを使って画面を任意の方向に回転させることができます。

押すキー	画面が回転する方向
【Ctrl】 + 【Alt】 + 【→】	時計回りに 90 度回転
【Ctrl】 + 【Alt】 + 【↓】	時計回りに 180 度回転
【Ctrl】 + 【Alt】 + 【←】	時計回りに 270 度回転
【Ctrl】 + 【Alt】 + 【↑】	時計回りに 360 度回転



参照

スタイルについて

「液晶ディスプレイ」の「[液晶ディスプレイの回転 \(P. 97\)](#)」



## 自動回転機能を一時的に停止（ロック）する

タブレット スタイル時、自動回転機能を一時的に停止（ロック）することができます。




## チェック


- ノート PC スタイルにすると自動的にロックがかかり、自動回転機能は停止します。
- タブレット スタイルにすると自動的にロックが解除され、自動回転機能が動作します。
- 自動回転機能は、アクション センターの「回転ロック」より確認できます。

アクション センター のアイコン	状態
	自動回転機能：オン。自動回転機能が動作しています。
	自動回転機能：オフ。自動回転機能が停止しています。

### ● 自動回転機能を一時的に停止する

アクション センターを表示し、 をクリックします。

### ● 自動回転機能の一時停止を解除する

アクション センターを表示し、 をクリックします。

# 表示できる解像度と表示色

---

[021103-21]

本製品で使用できる液晶ディスプレイの解像度や表示色については、「仕様一覧」に記載しております。「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。

<http://121ware.com/support/>



## チェック

設定により、「仕様一覧」に記載されていない解像度を選択することができる場合がありますが、動作を保証するものではありません。必ず記載されている解像度で使用してください。



## 参照

外部ディスプレイ使用時の解像度と表示色、機能、設定について  
「外部ディスプレイ (P. 106)」

# ディスプレイストレッチ機能

[021104-21]

ディスプレイストレッチ機能とは、液晶ディスプレイの解像度よりも Windows の解像度設定が低い場合に、液晶ディスプレイに画面イメージを拡大して表示する機能です。

ディスプレイストレッチ機能を使う場合は次の手順で行います。



## チェック

ディスプレイストレッチ機能を使用して拡大表示を行っている場合、表示される文字などの線の太さが不均一になることがあります。

- 1 「アクションセンター (P. 17)」を表示する
- 2 「すべての設定」をクリック
- 3 「システム」をクリック
- 4 「ディスプレイ」をクリック
- 5 「ディスプレイの詳細設定」をクリック
- 6 「アダプターのプロパティの表示」をクリック
- 7 「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」タブをクリックし、「グラフィックス・プロパティ」ボタンをクリック
- 8 「ディスプレイ」をクリック
- 9 「一般設定」をクリック
- 10 「ディスプレイの選択」欄で「内蔵ディスプレイ」を選択する
- 11 「スケーリング」欄で「全画面のスケールにする」を選択する
- 12 「適用」ボタンをクリック  
設定の保存を確認するメッセージが表示されます。
- 13 「はい」ボタンをクリック



## 14 「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」を閉じる

---

## 15 「OK」ボタンをクリック

---

設定が有効になり、ディスプレイストレッチ機能が使用できます。

# 外部ディスプレイ

---

[021200-21]

外部ディスプレイで表示可能な解像度や表示色、画面の表示先の切り替えなどについて説明しています。

▶ 使用上の注意.....	107
▶ 外部ディスプレイ接続時の解像度と表示色.....	109
▶ HDMI コネクタ.....	111
▶ 外部ディスプレイ接続時の表示機能.....	114
▶ 表示先、表示機能の設定.....	115
▶ 画面の出力先を切り替える.....	117
▶ ディスプレイに合わせた設定.....	119

# 使用上の注意

[021201-21]

- DVD や動画の再生中は、休止状態やスリープ状態にしないでください。
- 解像度、または画面の出力先の変更を行う場合は、動画や音楽を再生するアプリケーションを表示したまま行わないでください。
- 本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示を行っている場合、オーバーレイを使用して再生する動画は、プライマリ側のディスプレイにのみ表示されます。
- デュアルディスプレイ機能使用時に動画を再生し、表示が乱れた場合、デュアルディスプレイ機能を使用せずに本機の液晶ディスプレイまたは外部ディスプレイのみで動画の再生をしてください。
- 高解像度で外部ディスプレイに表示している場合、DVD-Video の種類によっては、コマ落ち、映像の乱れが発生する場合があります。その場合は、より低い解像度に設定することをおすすめします。
- 外部ディスプレイに表示している状態で、本機の液晶ディスプレイを開閉すると、画面がちらつくことがあります。故障ではありません。
- 外部ディスプレイやテレビを接続した場合、OS の DPI 仕様により解像度を変更出来ない場合があります。その場合はプライマリとセカンダリディスプレイの表示サイズを小さくする必要があります。



## メモ

- 機種によってはセカンダリディスプレイの表示サイズがプライマリ表示サイズと比例して変更される場合もあります。
- 解像度を選択できない場合、「検出する」ボタンをクリックまたはタップすると選択可能になる場合があります。
- 「別のディスプレイは検出されませんでした。」メッセージが表示される場合がありますが本機に影響はありません。

## HDMI コネクタ使用時の注意

- すべての HDMI 規格に対応した外部ディスプレイやテレビでの動作確認はしていません。そのため、HDMI 規格に対応した外部ディスプレイやテレビによっては正しく表示されない場合があります。
- HDMI ケーブルは、別途市販のものをお買い求めください。
- 本機の電源が入っている状態、スリープ状態、および休止状態のときは、HDMI コネクタへの HDMI ケーブルの取り付け、取り外しを行わないでください。
- 著作権保護されたコンテンツなどは出力されない場合があります。
- HDMI ディスプレイ接続時、リフレッシュレートが 30Hz（インターレース）に設定されていると、本機の操作中にちらつく場合があります。その場合はリフレッシュレートを 60Hz（プログレッシブ）に変更してください。
- 使用環境によっては、60Hz（プログレッシブ）に変更するか解像度を低くしないと描画性能が上がらない場合があります。
- HDMI ディスプレイのタイプによっては、解像度を変更しないと、60Hz（プログレッシブ）に変更できない場合があります。

## HDMI コネクタを制限する

本機では、BIOS セットアップユーティリティの I/O 制限で、HDMI コネクタからの出力を制限することができます。



参照

I/O 制限について

「セキュリティ機能」の「I/O 制限 (P. 198)」

# 外部ディスプレイ接続時の解像度と表示色

[021202-21]

本製品で使用できる外部ディスプレイの解像度や表示色については、「仕様一覧」に記載しております。  
「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。

<http://121ware.com/support/>



## チェック

- 外部ディスプレイをご使用の際は、外部ディスプレイのマニュアルで、対応している走査周波数や解像度を確認してください。
- 初回接続時の外部ディスプレイやテレビは、本機の液晶ディスプレイとのクローンモードに設定されます。
- 設定により、マニュアルに記載されていない解像度や周波数を選択できる場合がありますが、動作を保証するものではありません。必ずマニュアルに記載されている解像度や周波数で使用してください。
- 外部ディスプレイによっては、特定の解像度やリフレッシュレートに設定できないことがあります。

## VGA 接続の外部ディスプレイ使用時の解像度と表示色について



### チェック

- VGA 接続の外部ディスプレイと本機を接続するには、VGA 変換アダプタが必要です。
- 著作権保護に対応したコンテンツは出力することができません。
- すべてのアナログ RGB コネクタを持った外部ディスプレイ、テレビでの動作確認はしていません。

# HDMI コネクタ


[021204-21]

- ▶ HDMI コネクタへの接続. . . . . 111
- ▶ HDMI コネクタ使用時の音声出力について. . . . . 111
- ▶ VGA 変換アダプタを使用した接続. . . . . 112

## HDMI コネクタへの接続

### 1 本機と接続する外部ディスプレイやテレビの電源を切る

### 2 HDMI ケーブルで、HDMI コネクタと HDMI 規格に対応した外部ディスプレイやテレビなどを接続する

 **参照**  
HDMI コネクタの位置について  
「各部の名称」の「各部の名称と説明 (P. 27)」

### 3 外部ディスプレイやテレビと、本機の電源を入れる

詳しくは外部ディスプレイやテレビのマニュアルをご覧ください。

以上で外部ディスプレイの接続は完了です。

## HDMI コネクタ使用時の音声出力について

HDMI コネクタに映像を出力すると、接続した HDMI 機器が音声出力に対応している場合には音声を出力することができます。

自動で切り替わる場合もありますが、自動的に音声切り替わらない場合は、次の手順で設定を行ってください。

### 1 サウンドデバイスを使用しているすべてのソフトを終了する

### 2 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

### 3 「ハードウェアとサウンド」をクリック

### 4 「サウンド」をクリック

「サウンド」が表示されます。

## 5 「再生」タブをクリック

## 6 「インテル(R) ディスプレイ用オーディオ」を選択して、「既定値に設定」ボタンをクリック

## 7 「OK」ボタンをクリック

音声は HDMI 経由で出力されるようになります。



### チェック

HDMI コネクタに映像を出力しているときに音声が出られなくなった場合は、本機を再起動すると改善されることがあります。

## VGA 変換アダプタを使用した接続

VGA 変換アダプタを使用することで、本機とアナログインターフェースの外部ディスプレイや 프로젝タを接続することができます。



### チェック

- VGA 変換アダプタは、ご購入時に選択した場合に添付されます。また、別途購入することもできます。
- 著作権保護に対応したコンテンツは出力することができません。
- すべてのアナログ RGB コネクタを持った外部ディスプレイやテレビでの動作確認はしていません。そのため、接続する機器やケーブルによっては正しく表示されない、選択できない解像度もあります。

## 1 本機と接続する外部ディスプレイの電源を切る

## 2 本機の HDMI コネクタに、VGA 変換アダプタを接続する



### チェック

VGA 変換アダプタは、HDMI コネクタにしっかりと取り付けてください。



### 参照

HDMI コネクタの位置について  
「各部の名称」の「各部の名称と説明 (P. 27)」

## 3 ディスプレイ用ケーブルを VGA 変換アダプタに接続する



### チェック

ディスプレイ用ケーブルは、VGA 変換アダプタにしっかりと取り付けてください。



## 4 外部ディスプレイと本機の電源を入れる

詳しくは外部ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

---

以上で外部ディスプレイの接続は完了です。



### チェック

プロジェクタの接続のしかたは、プロジェクタのマニュアルをご覧ください。また、使用する場合はプロジェクタのマニュアルを参考にして表示解像度（ドット）、垂直走査周波数（Hz）などを確認してください。

# 外部ディスプレイ接続時の表示機能

[021205-21]

外部ディスプレイを接続して使用する場合、本機の液晶ディスプレイ、または接続した外部ディスプレイのみに表示する他、次の表示機能が使用できます。

## デュアルディスプレイ

本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイを使用して、ひとつの画面として表示できる機能です。液晶ディスプレイと外部ディスプレイを続き画面として利用できるため、表示できる範囲が広がります。

## クローンモード

本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイで同時表示を行います。表示される内容は同じものですが、選択した解像度によっては本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイが異なる表示状態になる場合があります。



### チェック

接続している外部ディスプレイやプロジェクタによっては、これらの機能の選択時に、画面の解像度が変更される場合があります。その場合は、解像度を設定しなおしてください。



### 参照

**表示先や表示機能の設定について**  
「表示先、表示機能の設定 (P. 115)」

# 表示先、表示機能の設定

[021206-21]

外部ディスプレイなどを接続した場合、次の方法で表示先、表示機能の設定ができます。



## チェック

動画再生のソフトウェアを表示中は、設定の変更を行わないでください。設定の変更を行った場合は、動画再生のソフトウェアを再起動してください。

## 「ディスプレイのカスタマイズ」で設定する



## チェック

- デュアルディスプレイモードのときは画面の解像度によっては、2つのディスプレイに同時に表示できない場合があります。
- デュアルディスプレイモードのときは1番目のディスプレイと2番目のディスプレイの交換ができない場合があります。  
その場合は一度、液晶ディスプレイ単体を表示させる設定などに変更してから、1番目のディスプレイと2番目のディスプレイを交換してください。
- デュアルディスプレイモードからクローンモードへ、またはクローンモードからデュアルディスプレイモードへ直接変更できない場合があります。  
その場合は一度、液晶ディスプレイのみに表示する設定に変更してから、デュアルディスプレイモードまたはクローンモードへ変更してください。
- DVDの再生中に設定を変更する場合は、DVDの再生を停止し、DVD再生のソフトウェアを終了させてから行ってください。
- 本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイに同時に表示している場合、DVDの種類によっては、映像の乱れが発生する場合があります。  
本機の液晶ディスプレイまたは外部ディスプレイのみに表示させる設定にすることをおすすめします。

## 1 「アクションセンター (P. 17)」を表示する

## 2 「すべての設定」をクリック

## 3 「システム」をクリック

## 4 「ディスプレイ」をクリック

## 5 「複数のディスプレイ」欄で表示したい設定を選択する

- 1台のディスプレイのみでお使いになる場合は「1のみに表示する」または「2のみに表示する」を選択します。  
2台のディスプレイをデュアルディスプレイモードでお使いになる場合は「表示画面を拡張する」を選択します。  
2台のディスプレイをクローンモードでお使いになる場合は「表示画面を複製する」を選択します。

## 6 「適用する」ボタンをクリック



「ディスプレイの設定を維持しますか？」と表示された場合は「変更の維持」をクリックしてください。  
「一部のアプリは、サインアウトするまで、拡大縮小の設定に応答しません。」と表示された場合は、「今すぐサインアウトする」をクリックしてサインアウト後、再度サインインしてください。

以上で表示先、表示機能の設定は完了です。

## キーボードで設定を切り替える

本機では、キーボードで表示先や表示機能の設定を切り替えることができます。設定を切り替えるには、次の方法があります。

### 【】 + 【P】を押す

【】 + 【P】を押すと、選択できる表示先、表示機能が画面上に表示されます。【】 + 【P】を押すごとに、表示先、表示機能が切り替わります。選択できる表示先、表示機能は次の通りです。

項目	設定される表示先、表示機能
PC 画面のみ/切断	本機の液晶ディスプレイ
複製	本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイでのクローンモード
拡張	本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイでのデュアルディスプレイ
セカンド スクリーンのみ	外部ディスプレイ

## ホットキー機能を使う

ホットキー機能を使用して、表示先や表示機能の設定の切り替えが行えます。



### 参照

ホットキー機能を使った画面出力先の切り替えについて  
「画面の出力先を切り替える (P. 117)」

# 画面の出力先を切り替える

[021207-21]

本機は、キーボードから画面の出力先の切り替えを行うことができます。

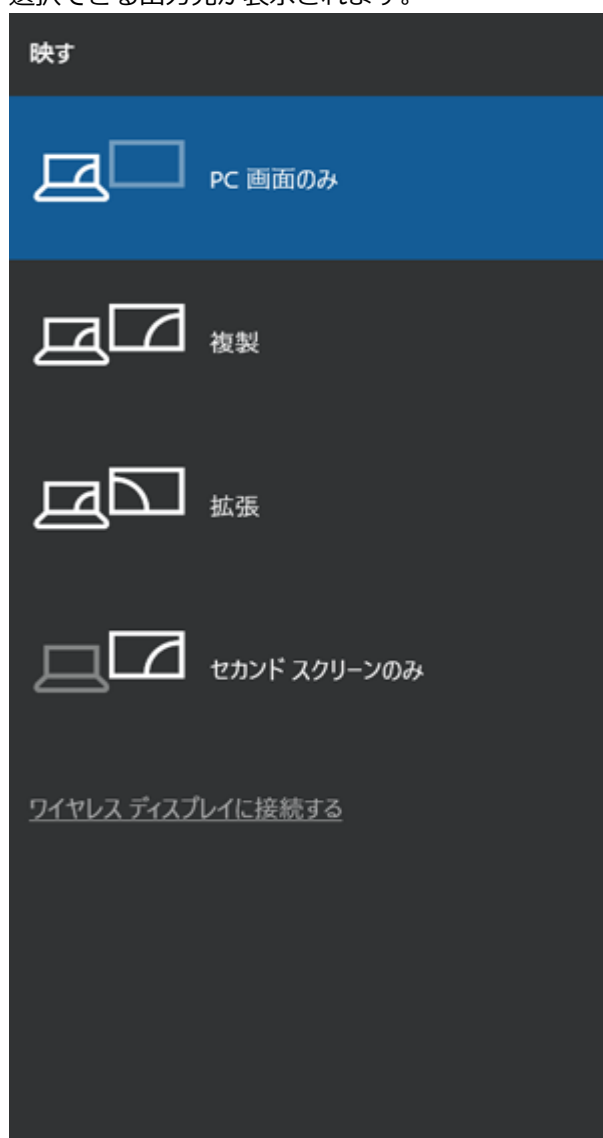


## チェック

外部ディスプレイを接続していないときは、この操作を行わないでください。

## 1 【Fn】 + 【F3】 を押す

選択できる出力先が表示されます。



出力先	説明
PC 画面のみ/切断	本機の液晶ディスプレイ
複製	本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイでのクローンモード
拡張	本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイでのデュアルディスプレイ

**2** 【↑】【↓】で出力先を選択し、【Enter】を押す

画面の出力先が切り替わります。

# ディスプレイに合わせた設定

[021208-21]

外部ディスプレイ使用時に、表示が適切でない場合やプラグ&プレイに対応していないディスプレイを使用しているときは、次の操作を行ってください。



## チェック

プラグ&プレイに対応したディスプレイを使用しても、ディスプレイの情報が反映されない場合があります。その場合も、次の操作を行ってください。

## お使いのディスプレイにドライバが用意されている場合

ディスプレイのマニュアルをご覧ください。ドライバのインストールを行ってください。

## お使いのディスプレイにドライバが用意されていない場合

次の手順で設定を行ってください。

- 1 「アクションセンター (P. 17)」を表示する
- 2 「すべての設定」をクリック
- 3 「システム」をクリック
- 4 「ディスプレイ」をクリック
- 5 「ディスプレイの詳細設定」をクリック
- 6 「アダプターのプロパティの表示」をクリック
- 7 「モニター」タブをクリックし、「プロパティ」ボタンをクリック
- 8 「ドライバー」タブをクリックし、「ドライバーの更新」ボタンをクリック  
「ドライバー ソフトウェアの更新」が表示されます。
- 9 「コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します」をクリック
- 10 「コンピューター上のデバイス ドライバーの一覧から選択します」をクリック

## 11 「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックを外す

---

## 12 「製造元」と「モデル」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

一覧に、接続したディスプレイのモデルが表示されない場合は、「製造元」欄で「(標準モニターの種類)」を選択し、「モデル」欄で接続したディスプレイに対応した解像度を選択してください。

---

## 13 「閉じる」ボタンをクリック

---

## 14 「閉じる」ボタンをクリック

---

## 15 「OK」ボタンをクリック

---

以上でディスプレイの設定は完了です。



本機の Web カメラや Web カメラアプリケーション「YouCam 5 BE」について説明しています。

▶ Web カメラについて.....	122
--------------------	-----

# Web カメラについて

[023602-21]

- ▶ 「YouCam 5 BE」 ができること..... 122
- ▶ 「YouCam 5 BE」 のインストール..... 122
- ▶ 「YouCam 5 BE」 のアンインストール..... 123

## 「YouCam 5 BE」 ができること

本機の Web カメラでは、動画・静止画の撮影や、本機に添付されている Web カメラアプリケーション「YouCam 5 BE」と組み合わせて以下のような機能を使用することができます。

- カメラに顔が写らなくなったときに、自動でディスプレイの電源を切り、続いてコンピュータをスリープまたは休止状態に移行する (Face-out)
- コンピュータを監視カメラとして使う
- プレゼンテーションビデオを作成する
- Web カメラ映像にフリーハンドで描画を追加し、インスタントメッセージャーを利用して、テレビ電話で共有する



### 参照

#### Web カメラの位置について

「各部の名称」 - 「各部の名称と説明 (P. 27)」

## 「YouCam 5 BE」 のインストール

「YouCam 5 BE」を使用するには、インストールが必要です。  
次の手順でインストールしてください。



### チェック

- YouCam 5 BE をインストールすると、YouCam のミラー機能が同時にインストールされます。手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたときは、画面の表示を確認し操作してください。
- パソコンの状態によっては、インストール後に Windows を再起動するまでアプリケーションが使用できない場合があります。その場合は、Windows を再起動してからアプリケーションを起動してください。



### 参照

#### 「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「ユーザー アカウント制御」について (P. 10)」

## 1

### Windows を起動する

## 2

### 光学ドライブに「CyberLink YouCam 5 BE ディスク」をセットする

**3** 「スタート」ボタン (  ) をクリック

**4** 「Windows システム ツール」をクリック

**5** 「ファイル名を指定して実行」をクリック

**6** 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥YouCam¥Setup.exe

以降は画面の指示に従ってください。

**7** 「InstallShield Wizard の完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

以上で、「YouCam 5 BE」のインストールは完了です。

## 「YouCam 5 BE」のアンインストール

「YouCam 5 BE」のアンインストールは次の手順で行います。



### チェック

YouCam 5 BE をアンインストールすると、YouCam のミラー機能が同時にアンインストールされます。手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。



### 参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「ユーザー アカウント制御」について (P. 10)」

**1** 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

**2** 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

**3** 「CyberLink YouCam 5」を選択し、「アンインストール」をクリック

アンインストールの確認ダイアログが表示されます。

**4** 「これにより、CyberLink YouCam 5 はコンピューターから削除されます。続行しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

**5** アンインストールが完了したら、Windows を再起動する

以上で、「YouCam 5 BE」のアンインストールは完了です。

## 使用上の注意

本機の画面回転機能で画面の表示方向を切り替えた場合、ご利用になる Web カメラ用ソフトウェアによっては、表示される Web カメラの映像が正常な方向に回転しない場合があります。

そのような場合には、本体前面の Windows アイコンが画面の下側に見える状態に戻してご使用ください。

本機の SSD の使用上の注意について説明しています。

▶ 使用上の注意.....	126
---------------	-----

# 使用上の注意

[021401-21]

SSD は非常に精密に作られています。次の点に注意して使用してください。

- SSD のデータを破損させる外的な要因には次のようなものがあります。
  - 高熱
  - 落雷
- SSD が故障すると、記録されているデータが使用できなくなる場合があります。特に、お客様が作成したデータは再セットアップしても元には戻りません。定期的にバックアップをとることをおすすめします。
- SSD の領域の作成や削除、フォーマットは「コンピューターの管理」の「ディスクの管理」から行います。
- 本機の SSD には、「ディスクの管理」でドライブ文字が割り当てられていない領域が表示されます。この領域には、システム復旧時に必要なデータなどが格納されています。この領域にあるデータは削除しないでください。



## チェック

SSD 内の大切なデータを守り、トラブルを予防するには、定期的にメンテナンスを行うことも大切です。SSD のメンテナンスについては、『メンテナンスとアフターケアについて』をご覧ください。

## SSD のデータを保護する

### SMART 機能


本機の SSD は、S.M.A.R.T. (Self Monitoring, Analysis and Reporting Technology) に対応しているため、SSD の異常を検出し、SSD の故障が予見された場合は警告をします。

本機の光学ドライブの使用上の注意や使い方などについて説明しています。

▶ 使用上の注意.....	128
▶ 外付け光学ドライブの取り付け.....	129
▶ 各部の名称と役割.....	130
▶ 使用できるディスク.....	131
▶ 読み込みと再生.....	132
▶ 書き込みとフォーマット.....	134
▶ 非常時のディスクの取り出し方.....	135

# 使用上の注意

[021601-21]

- 光学ドライブ内のレンズには触れないでください。指紋などの汚れによってデータが正しく読み取れなくなるおそれがあります。
  - アクセスランプの点灯中は、ディスクを絶対に取り出さないでください。データの破損や本機の故障の原因になります。
  - イジェクトボタンを押してからディスクトレイが排出されるまで数秒かかることがあります。
  - ディスクの信号面（文字などが印刷されていない面）に傷を付けないように注意してください。
  - 本機で、次のような形式や規格、異なった形やサイズのディスクは使用できません。無理に使用した場合、再生や作成ができないだけでなく、破損の原因になる場合があります。
    - AVCHD 形式または AVCREC 形式の DVD
    - 名刺型、星型などの円形ではない、異形ディスク
    - 厚さが 1.2mm を大きく越える、または大きく満たないディスク
    - 規格外に容量の大きな書き込みディスク
- また、特殊な形状のディスクや、ラベルがはってあるなど、重心バランスの悪いディスクを使用すると、ディスク使用時に異音や振動が発生する場合があります。このようなディスクは故障の原因になるため、使用しないでください。
- 光学ドライブにディスクをセットすると、「自動再生」画面が表示される場合があります。その場合は、実行したい操作をクリックしてください。実行したい操作がない場合は、ウィンドウの右上の  をクリックしてください。
  - ディスクに飲み物などをこぼした場合、そのディスクは使用しないでください。

## 光学ドライブを制限する

本機では、BIOS セットアップユーティリティの I/O 制限で、光学ドライブの有効/無効を設定して、使用を制限することができます。

また、添付の DeviceLock で、光学ドライブに対し、読み込みや書き込みを制御することができます。



### 参照

- **I/O 制限について**  
「セキュリティ機能」の「I/O 制限 (P. 198)」
- **DeviceLock について**  
「セキュリティ機能」の「DeviceLock Lite (P. 206)」



# 外付け光学ドライブの取り付け

[021608-21]

## 接続のしかた

外付け光学ドライブを選択した場合に添付される光学ドライブをお使いになるには、次の手順で本機に接続してください。



### メモ

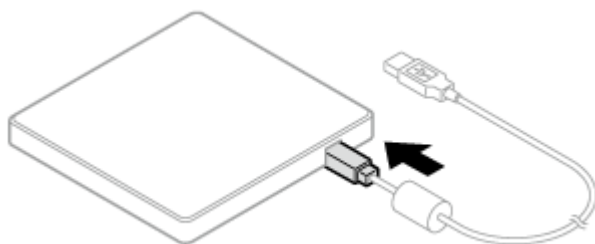
添付される光学ドライブは次の通りです。

- DVD-ROM ドライブ (DVD-ROM (外付け、USB 接続) 選択時)
- DVD スーパーマルチドライブ (DVD スーパーマルチドライブ (外付け、USB 接続) 選択時)

1

## 光学ドライブ背面に、光学ドライブ用ケーブルの B マークのある方のプラグを接続する

プラグの向きに注意して、差し込んでください。



2

## 光学ドライブ用ケーブルを、本機の USB コネクタに接続する

プラグの向きに注意して差し込んでください。



### 参照

**USB コネクタ使用時の注意**  
「[USB コネクタ \(P. 178\)](#)」

## 各部の名称と役割

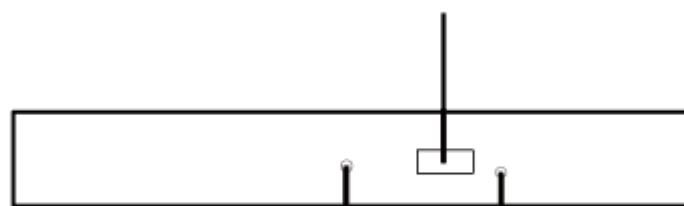
[021602-21]



### チェック

アクセスランプ点灯中は本機の電源スイッチやイジェクトボタンを押さないでください。故障の原因になります。

イジェクトボタン  
セットしたディスクを取り出すためのボタンです。



アクセスランプ  
ディスクアクセス中は点灯します。

非常時ディスク取り出し穴  
非常時に、ディスクトレイを手動で引き出すために使用します。



### メモ

イジェクトボタンやアクセスランプ、非常時ディスク取り出し穴の位置や形状は、モデルによって図と多少異なることがあります。

また、モデルによっては、アクセスランプがないものもあります。

# 使用できるディスク

---

[021603-21]

お使いのモデルの光学ドライブで使えるディスクは異なります。使用できるディスクについては、「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。

<http://121ware.com/support/>

## ■ ディスク利用時の注意

- 記録用の DVD には、録画用（for Video）とデータ用（for Data）とがありますので、ご購入の際にはご注意ください。
- DVD-RAM には、カートリッジなしのディスクと、TYPE1（ディスク取り出し不可）、TYPE2（ディスク取り出し可能）、TYPE4（ディスク取り出し可能）の 4 種類があります。本機の光学ドライブでは、カートリッジなし、またはカートリッジからディスクを取り出せるタイプ（TYPE2、TYPE4）のみご利用になることができます。ご購入の際には、ご注意ください。
- 片面 2.6GB の DVD-RAM および両面 5.2GB の DVD-RAM は使用できません。
- 両面 9.4GB の DVD-RAM は面ごとに 4.7GB の記録／再生が可能です。同時に両面への記録／再生はできません。ディスクを取り出して、裏返して使用してください。

# 読み込みと再生

[021604-21]

本機の光学ドライブで、読み込みや再生ができるディスクについては、「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。

<http://121ware.com/support/>

また、本機でDVDを再生するには、添付の「CyberLink PowerDVD」を使用してください。



## チェック

- CyberLink PowerDVDは、工場出荷時にはインストールされていません。
- CyberLink PowerDVDでは音楽CD、ビデオCD、およびDVD-Audioは再生できません。



## 参照

### CyberLink PowerDVDについて

「便利な機能とアプリケーション」の「CyberLink PowerDVD (P. 239)」

## ディスク再生時の注意

本機でDVD、CDの読み込みや再生を行うときは、次のことに注意してください。

- 本機で記録したDVD、CDを他の機器で使用する場合、フォーマット形式や装置の種類などにより使用できない場合があります。
- 他の機器で記録したDVD、CDは、ディスク、ドライブ、記録方式などの状況により、本機では再生および再生性能を保証できない場合があります。
- コピーコントロールCDなどの一部の音楽CDは、現在のCompact Discの規格外の音楽CDです。規格外の音楽CDについては、音楽の再生や取り込みができないことがあります。
- 本機で音楽CDを使用する場合、ディスクレーベル面に規格準拠を示すCompact Discのマークの付いたディスクを使用してください。
- CD (Compact Disc) 規格外ディスクを使用すると、正常に再生ができなかったり、音質が低下したりすることがあります。
- CD TEXTのテキストデータ部は、読み出せません。
- 本機では、リージョンコード（国別地域番号）が「ALL」または「2」が含まれているDVDのみ再生することができます。
- 本機で再生できるCDまたはDVDのディスクサイズは8センチと12センチです。
- DVDや動画を再生する際は、再生に使用するアプリケーション以外のソフトウェアを終了することをおすすめします。本機での動画再生には高い処理能力が必要とされ、お使いのモデルや設定によっては、複数のアプリケーションを実行している状態で動画再生を行うと、映像の乱れやコマ落ちが発生する場合があります。
- 「ECOモード機能」で、省電力を優先する電源プランを割り当てているモードを選択している場合、DVDや動画の再生品質が低下する可能性があります。そのような場合は、「標準」などの性能を優先するモードを選択してください。



## 参照

### ECO モード機能について

「省電力機能」の「ECO モード機能 (P. 49)」

- 本機で DVD を再生する場合、次のことに注意してください。
  - デュアルディスプレイ機能使用時に動画を再生し、表示が乱れた場合、デュアルディスプレイ機能を使用せずに本機の液晶ディスプレイまたは外部ディスプレイのみで動画の再生をしてください。
  - DVD の再生画面の上に他のウィンドウを重ねると、コマ落ちや音飛びが発生したり、再生画面にゴミが残る場合があります。DVD の再生中は、再生画面の上に他のウィンドウを重ねないでください。
  - DVD の再生時に画面がちらつく場合があります。また、再生する DVD の種類によっては、コマ落ちが発生する場合があります。

# 書き込みとフォーマット

[021605-21]

DVD スーパーマルチドライブモデルで、DVD、CD への書き込み、書き換え、およびフォーマットをするには、「CyberLink Power2Go」を使用してください。



## 参照

### CyberLink Power2Go について

「便利な機能とアプリケーション」の「CyberLink Power2Go (P. 237)」



## メモ

DVD、CD への書き込みは Windows の機能でも行うことができます。選択可能な各フォーマットの説明については Windows のヘルプをご覧ください。

## ご注意

- 書き込みに失敗した DVD、CD は読み込みできなくなります。書き込みに失敗したディスク、およびディスクに記録されていたデータの補償はできませんのでご注意ください。
- データの書き込みを行った後に、データが正しく書き込まれているかどうかを確認してください。
- 作成したメディアのフォーマット形式や装置の種類などにより、他の光学ドライブでは使用できない場合がありますのでご注意ください。
- お客様がオリジナルの CD-ROM、音楽 CD、ビデオ CD、および DVD-Video などの複製や改変を行う場合、著作権を保有していなかったり、著作権者から複製・改変の許諾を得ていない場合は、著作権法または利用許諾条件に違反することがあります。複製などの際は、オリジナルの CD-ROM などの利用許諾条件や複製などに関する注意事項に従ってください。
- コピーコントロール CD などの一部の音楽 CD は、現在の Compact Disc の規格外の音楽 CD です。規格外の音楽 CD については、音楽の再生や音楽 CD の作成ができないことがあります。

# 非常時のディスクの取り出し方

---

[021606-21]

停電やソフトウェアの異常動作などにより、イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、非常時ディスク取り出し穴に太さ 1.3mm 程の針金を押し込むと、トレイを手動で引き出すことができます。針金は太めのペーパークリップなどを引き伸ばして代用できます。



## チェック

- 強制的にディスクを取り出す場合は、本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。
- 光学ドライブのイジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこないといった非常時以外は、非常時ディスク取り出し穴を使用して取り出さないようにしてください。

# SD メモリーカードスロット

---

[022700-21]

SD メモリーカードスロットの使用上の注意や使い方などについて説明しています。

- ▶ 使用上の注意..... 137
- ▶ セットのしかた／取り出し方..... 139



## 使用上の注意

[022701-21]

- Windows 上で SD メモリーカードのフォーマットやディスクデフラグを行わないでください。各メモリーカード対応機器との互換性や性能などで問題が生じる場合があります。
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所では SD メモリーカードを使わないでください。
- SD メモリーカードの取り扱いについては、それぞれの SD メモリーカード製品に添付のマニュアルや取扱説明などの指示に従ってください。
- 本機や SD メモリーカードの不具合により、音楽データの録音ができなかったり、データの破損、消去が起きた場合、データの内容の補償はいたしかねます。
- お客様が画像、音楽、データなどを記録（録画・録音などを含む）したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 大切なファイルはコピーして、バックアップを取ることをおすすめします。
- 本機の SSD 以外から SD メモリーカードにデータを保存する場合は、一度、本機の SSD にデータを保存し、そこから SD メモリーカードにデータを保存してください。
- データの保存中にスリープ/休止状態にしないでください。メモリーカード内のデータが破損したり誤動作の原因になります。
- 本機がスリープ/休止状態にあるときは、メモリーカードを抜き挿ししないでください。また、スリープ/休止状態から復帰する際は、Windows のサインイン画面またはデスクトップが表示されるまでメモリーカードを抜き挿ししないでください。メモリーカード内のデータが破損したり誤動作の原因になる場合があります。
- すべての SD メモリーカードの動作を保証するものではありません。
- さまざまな規格のメディアがありますので、本機の SD メモリーカードスロットで使えるメディアかどうかや、メディアの使用方法をお確かめになり、お使いください。
- メモリーカードの端子面が汚れていると、メモリーカードを認識しなかったり、データの読み込み、書き出しができないことがあります。端子面が汚れた場合は、メモリーカードに添付のマニュアルをご覧ください。
- メモリーカードにデータを保存中、または読み込み中に周辺機器を接続しないでください。
- DVD、CD を再生中にメモリーカードへの読み書きを行ったり、メモリーカード内の音声や動画ファイルを再生中にファイルのコピーを行うと、音声や動画がとぎれるなどの影響が出る場合があります。

### SD メモリーカードを使用するときの注意

- SD メモリーカードは、標準フォーマットとして、それぞれ「SD メモリーカード」規格、「SDHC メモリーカード」規格、「SDXC メモリーカード」規格に準拠したフォーマットで出荷されており、すぐにお使いになれます。フォーマットが必要な場合は、デジタルカメラなどの SD メモリーカード対応機器か、SD 規格対応フォーマット機能を搭載したアプリなどでフォーマットを行ってください。デジタルカメラなどでのフォーマット方法については、ご使用の機器などに添付のマニュアルをご覧ください。
- 「miniSD カード」「miniSDHC カード」「microSD カード」「microSDHC カード」「microSDXC カード」を使用するときは、必ず使用するメモリーカードに対応した、SD カード変換アダプタに装着してからセットしてください。詳しくはお使いのメモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
- 「microSD カード」「microSDHC カード」「microSDXC カード」をご使用の際、miniSD カード変換アダプタに装着し、さらに SD カード変換アダプタに装着しての動作は保証しておりません。
- 本機では、2G バイトまでの「SD メモリーカード」、32G バイトまでの「SDHC メモリーカード」および 128G バイトまでの「SDXC メモリーカード」で動作確認を行っています。2G バイトを超える容量の「SD メモリーカード」、

32Gバイトを超える容量の「SDHC メモリーカード」および 128Gバイトを超える容量の「SDXC メモリーカード」での動作は保証していません。

- 本機では、「マルチメディアカード (MMC)」には対応していません。
- 本機は、SDIO には対応していません。
- 裏面に通電性（電気を通す性質）がある金属が使用されている SD メモリーカードや変換アダプタは使用しないでください。本機内部のコネクタと接触し本機やメモリーカードの故障の原因になる場合がありますので、ご注意ください。
- SD カード変換アダプタを利用した場合、高速転送規格「UHS- I」および「UHS- II」はサポートしていません。

## SD メモリーカードスロットを制限する

本機では、BIOS セットアップユーティリティの I/O 制限で、SD メモリーカードスロットの有効／無効を設定して、使用を制限することができます。

また、添付の DeviceLock で、SD メモリーカードスロットへの読み込みや書き込みを制限することができます。



### 参照

- **I/O 制限について**  
「セキュリティ機能」の「[I/O 制限 \(P. 198\)](#)」
- **DeviceLock について**  
「セキュリティ機能」の「[DeviceLock Lite \(P. 206\)](#)」

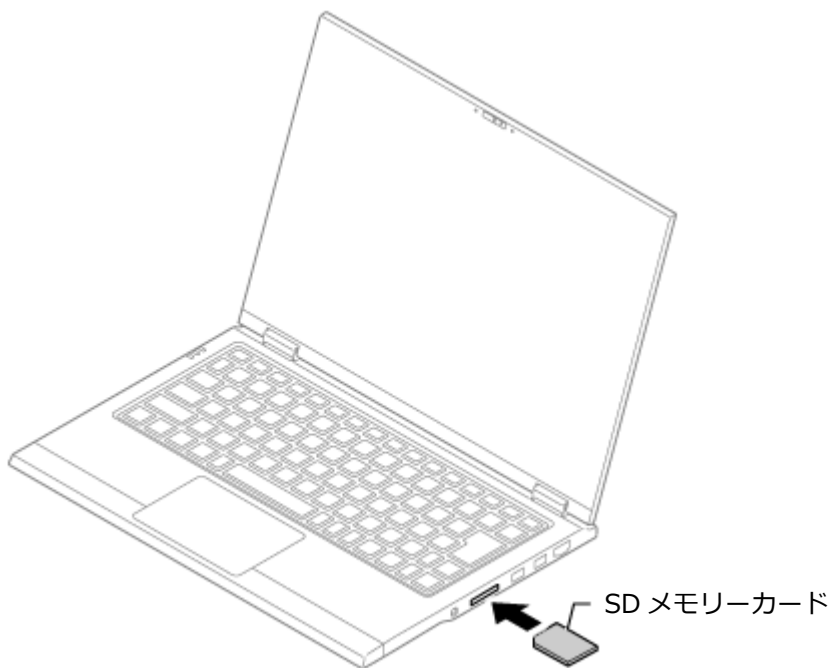
## セットのしかた



### チェック

- ダミーカードがセットされている場合は、セットをする前に「取り出し方」をご覧ください、ダミーカードを取り出してください。
- 「miniSD カード」、「miniSDHC カード」、「microSD カード」、「microSDHC カード」、および「microSDXC カード」も使用できます。ただし SD カード変換アダプタが必要になります。詳しくは、「[使用上の注意 \(P. 137\)](#)」をご覧ください。
- SD メモリーカードには表面と裏面があり、スロットへ差し込む方向が決まっています。間違った向きで無理やり差し込むと、カードやスロットが破損することがあります。詳しくは、SD メモリーカードに添付のマニュアルをご覧ください。

- 1 SD メモリーカードを向きに注意して、SD メモリーカードスロットに奥までしっかり差し込む**  
表面を上にして差し込んでください。



## 取り外し方

- 1 タスク バーの通知領域の  をクリックし、 をクリック**

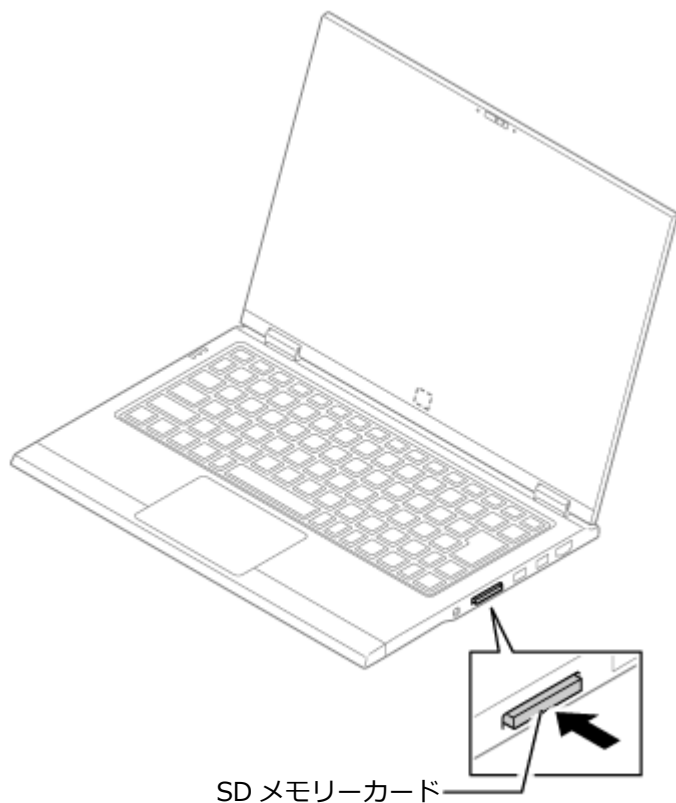
- 2 表示される「×××××の取り出し」から、取り外す周辺機器をクリック**

安全に取り外しができるという内容のメッセージが表示されます。  
表示される「××××の取り出し」に取り外す周辺機器がない場合は手順 3 に進んでください。

---

### 3 SD メモリーカードを押す

SD メモリーカードが飛び出します。



---

### 4 SD メモリーカードを水平に引き抜く

---

本機の音量の調節や、サウンド機能に関する設定などについて説明しています。


▶ 音量の調節.....	142
▶ マイクの設定.....	144
▶ AudioEngine™.....	145

# 音量の調節

[021702-21]

## 音量ミキサーを使う

Windows の「音量ミキサー」で音量を調節することができます。

- 1 タスク バーの通知領域の  (音量) を右クリックし、表示されたメニューから「音量ミキサーを開く」をクリック

「音量ミキサー」が表示されます。

- 2 調節したいデバイスやアプリケーションのスライドで音量を調節する



参照

音量ミキサーについて

Windows のヘルプ

## 音量調整ボタンで調節する

+ を押すと音量を大きく、- を押すと音量を小さく調節することができます。

## キーボードで調節する

【Fn】 + 【F10】 を押すと音量を大きく、【Fn】 + 【F9】 を押すと音量を小さく調節することができます。

## 音声のオン/オフ (ミュート機能)

【Fn】 + 【F1】 を押すと、音声のオン/オフを切り替えることができます。




参照

【Fn】 について

「キーボード」の「キーの使い方 (P. 80)」

## 録音音量の調節

本機で録音音量を調節する場合は次の手順で行ってください。

- 1 タスク バーの通知領域の  (音量) を右クリックし、表示されたメニューから「録音デバイス」をクリック

「サウンド」が表示されます。

ヘッドホンマイクなどの録音機器を使用する場合は、接続してください。

## 2 使用する録音デバイスをクリックし、「プロパティ」ボタンをクリック



### チェック

- 使用する録音デバイスが表示されていない場合は「次のオーディオ録音デバイスがインストールされています」の枠内を右クリックし、「無効なデバイスの表示」にチェックを入れ、表示されたデバイスを有効にしてください。
- 録音デバイスが複数ある場合は、使用するデバイスをクリックし、「既定値に設定」ボタンをクリックしてください。

## 3 「レベル」タブをクリックし、表示される画面で録音音量を調節する

## 4 「OK」ボタンをクリック

## 5 「OK」ボタンをクリック



### チェック

「内蔵マイクのプロパティ」や「ステレオミキサーのプロパティ」の「聴く」タブで「このデバイスを聴く」にチェックを入れないでください。チェックを入れると、常時ハウリングが発生します。

## 「Realtek HD オーディオマネージャ」で設定する

「Realtek HD オーディオマネージャ」でマイクの設定を行うことができます。マイクの設定では、マイクでの録音時のノイズ抑制やエコーの軽減、ビームフォーミング機能の設定などが行えます。マイクの設定は、次の手順で行ってください。

**1** ヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャックにヘッドフォンマイクを差し込む（ヘッドフォンマイクを使用する場合）

**2** タスク バーの通知領域の  をクリックし、（Realtek HD オーディオマネージャ）をダブルクリック

「Realtek HD オーディオマネージャ」が表示されます。

**3** 「外付けマイク」タブ、または「内蔵マイク」タブをクリック

**4** 設定する機能にチェックを付ける

設定できる機能には次のものがあります。

機能	説明
ノイズ抑制	録音時のノイズ抑制を行います。
音響エコーキャンセル	録音時にスピーカが引き起こすエコーを軽減します。
ビームフォーミング (指向性録音)	ステレオマイク使用時に、マイクを向けていない方向からの雑音を軽減します。



### チェック

外付けのヘッドフォンマイク使用時は、ビームフォーミングを利用できません。

**5** 設定が完了したら「OK」ボタンをクリック

以上でマイクの設定は完了です。



AudioEngine™は、長年のヤマハ株式会社のコンサートホール設計の経験に基づいて開発された音場補正技術です。実響実測データに基づいた音場拡大技術、セリフ強調やコンテンツごとの音量差補正にも対応した総合的なサウンド生成技術です。

様々な種類のコンテンツに対して、自然でクリアなサウンド空間を楽しむことができます。

AudioEngine™を構成している機能は以下の3つです。

- Spacious sound (S3D/SHP)
- Clear Voice (CLV)
- Adaptive Volume (ADV)



## チェック

AudioEngine™は、本体内蔵のスピーカおよびヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャックに接続された機器向けの機能です。USB など他の方法で接続された機器では動作しません。

## AudioEngine™を使う

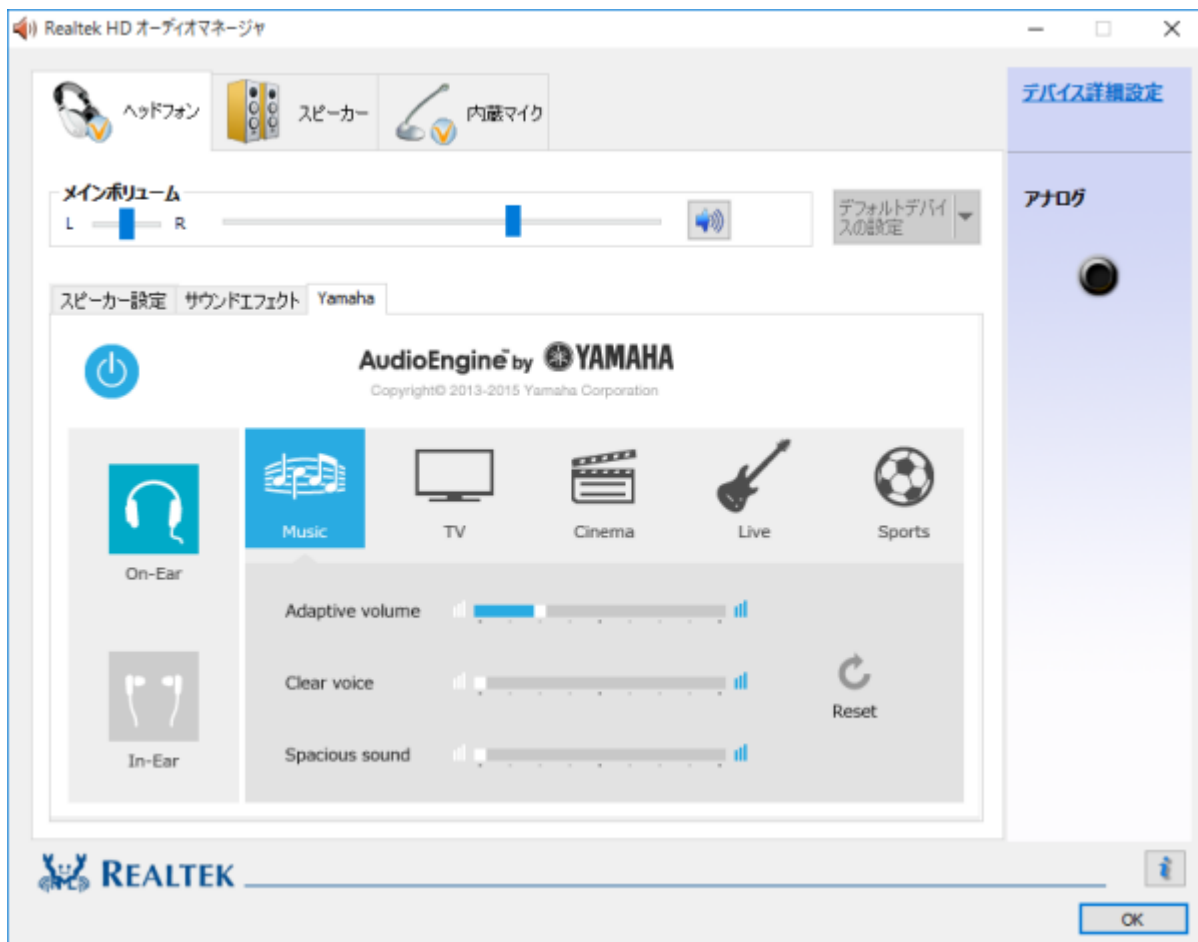
AudioEngine™を使用する際の設定は「Realtek HD オーディオマネージャ」から行います。

### 1 タスク バーの通知領域の をクリックし、 (Realtek HD オーディオマネージャ) をダブルクリック




「Realtek HD オーディオマネージャ」が表示されます。

### 2 「スピーカー」タブまたは「ヘッドフォン」タブの「Yamaha」タブをクリック

AudioEngine™の設定画面が表示されます。



設定できる項目には次のものがあります。

AudioEngine™機能のオン/オフ	 または  をクリックすると AudioEngine™機能全体のオン/オフを切り替えることができます。
On-Ear/In-Ear	ヘッドフォンのタイプを選択します。本体内蔵のスピーカーを選択している場合は表示されません。
プリセット	プリセットの選択ができます。 選択するには、ボタンをクリックしてブルーにします。 「Music」、「TV」、「Cinema」、「Live」、「Sports」から選択し、それぞれに最適な音響特性を設定することができます。
プリセットのカスタマイズ	プリセットで選択した項目それぞれに「Adaptive volume」、「Clear voice」、「Spacious sound」のつまみでカスタマイズができます。 変更したつまみは記憶され、次にプリセットのボタンをクリックしたときには変更した状態になります。 変更した内容を、初期状態に戻すには、  をクリックします。

### 3 設定が完了したら「OK」ボタンをクリック

本機の LAN（ローカルエリアネットワーク）機能を使用する際の注意や設定などについて説明しています。

➤ 本機を安全にネットワークに接続するために. . . . .	148
➤ 使用上の注意. . . . .	150
➤ LAN への接続. . . . .	151
➤ LAN 機能の設定. . . . .	153

# 本機を安全にネットワークに接続するために

[021801-21]

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。

本機の LAN 機能や無線 LAN 機能を使用して、安全にネットワークに接続するために、次の対策を行うことを強くおすすめします。



## チェック

稼働中のネットワークに接続する場合は、接続先のネットワークの管理者の指示に従って接続を行ってください。



## メモ

Windows のセキュリティ機能（セキュリティとメンテナンス）では、ファイアウォールの設定、自動更新、マルウェア対策ソフトウェアの設定、インターネットセキュリティの設定、ユーザーアカウント制御の設定などの、コンピュータ上のセキュリティに関する重要事項の状態をチェックすることができます。詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。

## セキュリティ対策アプリケーションの利用

コンピュータウイルスから本機を守るために、セキュリティ対策アプリケーションをインストールすることをおすすめします。

本機を利用する環境で、使用するセキュリティ対策アプリケーションが定められている場合は、そのアプリケーションを使用してください。

また、本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーションとしてマカフィー リブセーフが添付されています。



## 参照

### マカフィー リブセーフについて

「便利な機能とアプリケーション」の「マカフィー リブセーフ (P. 249)」

## ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスによっては、ネットワークに接続しただけで感染してしまう例も確認されています。このようなコンピュータウイルスから本機を守るためにファイアウォール（パーソナルファイアウォール）を利用することをおすすめします。

本機を利用する環境で、ファイアウォールの利用についての規則などがある場合は、そちらの規則に従ってください。また、本機にインストールされている OS では、標準で「Windows ファイアウォール」機能が有効になっています。「Windows ファイアウォール」について、詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。

## Windows® Update、または Microsoft® Update

最新かつ重要な更新プログラムが提供されています。

Windows を最新の状態に保つため、ネットワークに接続後、定期的に Windows® Update、または Microsoft® Update を実施してください。



### チェック

- PC の安定動作およびセキュリティ向上のため、Windows® Update、または Microsoft® Update を可能な限り OS のセットアップ直後に実施してください。アップデートの前に Edge や Internet Explorer のダウングレードなど、必要な作業項目がある場合は、各手順に従って対応してください。
- 本機には更新プログラムがインストールされています。更新プログラムをアンインストールすると、修正されていた問題が発生する可能性がありますので、更新プログラムのアンインストールは行わないでください。

# 使用上の注意

[021802-21]

LAN に接続して本機を使用するときは、次の点に注意してください。

- システム運用中は、LAN ケーブルを外さないでください。ネットワークが切断されます。ネットワーク接続中に LAN ケーブルが外れたときは、すぐに接続することで復旧し、使用できる場合もありますが、使用できない場合は、Windows を再起動してください。
- LAN 回線を接続してネットワーク通信をする場合は、本機に AC アダプタを接続して使用するようになっています。バッテリーのみで使用すると、使用時間が短くなります。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ネットワークの通信中にはスリープ状態または休止状態にしないでください。
- ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合、使用するアプリケーションによっては、スリープ状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。あらかじめお使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認のうえ、スリープ状態または休止状態を使用してください。
- 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T システムの保守については、ご購入元または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

## ユニバーサル管理アドレスについて

ユニバーサル管理アドレスは、IEEE（米国電気電子技術者協会）で管理されているアドレスで、主に他のネットワークに接続するときなどに使用します。次のコマンドを入力することで、LAN または無線 LAN のユニバーサル管理アドレスを確認することができます。

コマンド プロンプトで次のいずれかのコマンドを入力し、【Enter】を押してください。

コマンド	確認方法
net config workstation	アダプタがアクティブな場合、「アクティブなネットワーク（ワークステーション）」という項目の（ ）内に表示されます。
ipconfig /all	アダプタごとに「物理アドレス」として表示されます。

## LAN の設置

初めてネットワークシステムを設置するためには、配線工事などが必要ですので、ご購入元または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。また、本機に接続するケーブル類やハブなどは、当社製品を使用してください。他社製品を使用し、システムに異常が発生した場合の責任は負いかねますので、ご了承ください。

## 接続方法

本機を有線ネットワークに接続するには、ご購入時に選択した場合に添付される USB-LAN 変換アダプタと別売の LAN ケーブルが必要です。LAN ケーブルは、10BASE-T で接続するにはカテゴリ 3 以上、100BASE-TX で接続するにはカテゴリ 5 以上、1000BASE-T で接続するにはエンハンスドカテゴリ 5 以上の LAN ケーブルを使用してください。また、ネットワーク側のコネクタに空きがない場合、ハブやスイッチでコネクタを増やす必要があります。LAN ケーブルの接続は次の手順で行います。



### チェック

- USB-LAN 変換アダプタは、ご購入時に選択した場合に添付されますが、別途購入することもできます。
- USB-LAN 変換アダプタは、本機の USB ポートに直接接続してください。USB ハブでは使用できません。
- 本機を稼働中の LAN に接続するには、システム管理者またはネットワーク管理者の指示に従って、ネットワークの設定と LAN ケーブルの接続を行ってください。
- 搭載されている LAN アダプタは、接続先の機器との通信速度（1000Mbps/100Mbps/10Mbps）を自動検出して最適な通信モードで接続するオートネゴシエーション機能をサポートしています。なお、セットアップが完了したときに、オートネゴシエーション機能は有効に設定されています。接続先の機器がオートネゴシエーション機能をサポートしていない場合は、「ネットワークのプロパティ」で通信モードを接続先の機器の設定に合わせるか、接続先の機器の通信モードを半二重に設定してください。
- オートネゴシエーションのみサポートしているネットワーク機器でリンク速度を固定して接続する場合、「速度とデュプレックス/スピードと二重」の設定は「ハーフデュプレックス/半二重」に設定してください。「フルデュプレックス/全二重」に設定すると、通信速度が異常に遅かったり、通信ができないなどの問題が発生します。

## 1 本機の電源を切る

## 2 本機の USB コネクタに USB-LAN 変換アダプタを接続する



### チェック

USB-LAN 変換アダプタは、USB コネクタにしっかりと取り付けてください。



参照

### USB コネクタの位置

「各部の名称」の「各部の名称と説明 (P. 27)」

## 3 LAN ケーブルを USB-LAN 変換アダプタに接続する



チェック

LAN ケーブルは、USB-LAN 変換アダプタにしっかりと取り付けてください。

## 4 ハブなどのネットワーク機器に、LAN ケーブルのもう一方のコネクタを接続する

## 5 本機の電源を入れる

ネットワーク側の接続や設定については、接続するネットワーク側の機器のマニュアルをご覧ください。



ここでは、LAN に接続するために必要なネットワークのセットアップ方法を簡単に説明します。



## 参照

### 必要な構成要素の詳細について

Windows のヘルプの中にあるネットワーク関連の項目

## ネットワーク接続のセットアップ



## チェック

工場出荷時は、ネットワークプロトコル (TCP/IP) が設定されています。

**1** 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

**2** 「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリック

**3** 左のメニューから「アダプターの設定の変更」をクリック

**4** 「イーサネット」を右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリック

**5** 「ネットワーク」タブで必要な構成要素の設定をする



## メモ

必要な構成要素がわからない場合は、システム管理者またはネットワーク管理者に相談してください。

**6** 「OK」ボタンをクリック

**7**  をクリック

**8**  をクリック

以上でネットワーク接続のセットアップは完了です。  
続いて、コンピュータ名などの設定を行います。

## 接続するネットワークとコンピュータ名の設定

接続するネットワークに関する設定と、ネットワークで表示されるコンピュータ名を設定します。

**1** 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

**2** 「システムとセキュリティ」をクリックし、「システム」をクリック

**3** 「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」欄の「設定の変更」をクリック

**4** 「コンピューター名」タブの「変更」ボタンをクリック

**5** 「コンピューター名」、「ワークグループ」または「ドメイン」に必要な情報を入力する



メモ

入力する情報がわからない場合は、システム管理者またはネットワーク管理者に相談してください。

**6** 「OK」ボタンをクリック

「ワークグループ」を変更した場合は「xxx (xxx は設定したワークグループ名) ワークグループへようこそ。」と表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

確認のメッセージが表示されます。

**7** 「OK」ボタンをクリック

**8** 「閉じる」ボタンをクリック

**9** 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「今すぐ再起動する」ボタンをクリック

本機が再起動します。

以上で LAN の設定は完了です。

本機の無線 LAN 機能の概要について説明しています。

▶ 概要.....	156
▶ 本機を安全にネットワークに接続するために.....	158
▶ 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意.....	160
▶ 使用上の注意.....	162
▶ 無線 LAN 機能のオン/オフ.....	164
▶ 無線 LAN の設定と接続.....	167
▶ 無線 LAN に関する用語一覧.....	175

## 無線 LAN 機能でできること

無線 LAN 機能を使用することで、次のようなことができます。

### 無線 LAN 対応周辺機器との無線接続

本機と無線 LAN に対応した別売の周辺機器を使用すると、ケーブルで接続せずに LAN を利用できます。例えば、無線 LAN に対応したルータやターミナルアダプタなどを利用してインターネットに接続できます。

### 他の無線 LAN 対応コンピュータとの無線通信

本機と無線 LAN に対応した他のコンピュータとの間で、ケーブル接続やメモリーカードなどの媒体を使用せずに、ファイルのコピーなどが行えます。



#### チェック

- 無線 LAN 機能は、周囲にある IEEE802.11a (5GHz)、IEEE802.11b (2.4GHz)、IEEE802.11g (2.4GHz)、IEEE802.11n (2.4/5GHz) および IEEE802.11ac (5GHz) (IEEE802.11ac 搭載無線 LAN モデルの場合)に対応した無線 LAN 機器を検出し、このうち 1 台を選択して接続できます。
- 40MHz、80MHz の帯域幅を利用した無線 LAN 通信を行うには、接続先の無線 LAN 機器もそれらの帯域幅に対応している必要があります。
- IEEE802.11n (2.4/5GHz) 規格、または IEEE802.11ac (5GHz) 規格による無線通信を行う際は、暗号化方式を AES に設定してください。それ以外の方式に設定した場合、これらの規格が利用できません。
- WPA - エンタープライズ、WPA2 - エンタープライズまたは認証機能 (IEEE802.1X) を使用した接続を行う場合は、各項目の設定内容をネットワークの管理者にお問い合わせください。

## 無線 LAN 機能使用上の注意

- 通信速度・通信距離は、無線 LAN 対応機器や電波環境・障害物・設置環境などの周囲条件によって異なります。
- 電波の性質上、通信距離が離れるに従って通信速度が低下する傾向があります。より快適にお使いいただくために、無線 LAN 対応機器同士は近い距離で使用することをおすすめします。
- 2.4GHz 周波数帯を利用する機器（電子レンジなど）を同時に使用した場合、2.4GHz 無線 LAN 対応機器の通信速度、通信距離が低下する場合があります。2.4GHz 無線 LAN 対応機器と 2.4GHz 周波数帯を利用する機器（電子レンジなど）は離して使用することをおすすめします。
- Bluetooth 機能と無線 LAN 機能を同時に使用した場合、それぞれの通信速度や通信距離が低下する場合があります。
- 2.4GHz 無線 LAN 対応機器と Bluetooth 機器など、同じ周波数帯を利用する機器を同時に使用した場合、それぞれの機器の通信速度や通信距離が低下する場合があります。同じ周波数帯を利用する機器はいずれかをオフにするか、離して使用することをおすすめします。
- ネットワークへの接続には、別売の無線 LAN アクセスポイントなどが必要です。

- 医療機関で使用する場合には、医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源を切るか無線 LAN 機能をオフにしてください。また、医療機関側が本製品の使用を認めた区域でも、近くで医療機器が使用されている場合には、本製品の電源を切るか無線 LAN 機能をオフにしてください。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ファイルコピーなどの通信動作が終了してからスリープ状態または休止状態にしてください。また、使用するアプリケーションによっては、スリープ状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合には、あらかじめお使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認の上、スリープ状態または休止状態を使用してください。



#### 参照

無線 LAN 機能のオン/オフについて

「無線 LAN 機能のオン/オフ (P. 164)」

## 無線 LAN 対応製品との接続

### 無線 LAN 対応製品

本製品と接続できる無線 LAN 対応製品には、無線 LAN 内蔵コンピュータ、無線 LAN アクセスポイント、無線 LAN 周辺機器などがあります。

無線 LAN 機器同士の接続互換性については、業界団体 Wi-Fi Alliance による「Wi-Fi®」認定を取得している、同じ規格の製品をご購入されることをおすすめします。

# 本機を安全にネットワークに接続するために

[021801-21]

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。

本機の LAN 機能や無線 LAN 機能を使用して、安全にネットワークに接続するために、次の対策を行うことを強くおすすめします。



## チェック

稼働中のネットワークに接続する場合は、接続先のネットワークの管理者の指示に従って接続を行ってください。



## メモ

Windows のセキュリティ機能（セキュリティとメンテナンス）では、ファイアウォールの設定、自動更新、マルウェア対策ソフトウェアの設定、インターネットセキュリティの設定、ユーザーアカウント制御の設定などの、コンピュータ上のセキュリティに関する重要事項の状態をチェックすることができます。詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。

## セキュリティ対策アプリケーションの利用

コンピュータウイルスから本機を守るために、セキュリティ対策アプリケーションをインストールすることをおすすめします。

本機を利用する環境で、使用するセキュリティ対策アプリケーションが定められている場合は、そのアプリケーションを使用してください。

また、本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーションとしてマカフィー リブセーフが添付されています。



## 参照

### マカフィー リブセーフについて

「便利な機能とアプリケーション」の「マカフィー リブセーフ (P. 249)」

## ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスによっては、ネットワークに接続しただけで感染してしまう例も確認されています。このようなコンピュータウイルスから本機を守るためにファイアウォール（パーソナルファイアウォール）を利用することをおすすめします。

本機を利用する環境で、ファイアウォールの利用についての規則などがある場合は、そちらの規則に従ってください。また、本機にインストールされている OS では、標準で「Windows ファイアウォール」機能が有効になっています。「Windows ファイアウォール」について、詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。

## Windows® Update、または Microsoft® Update

最新かつ重要な更新プログラムが提供されています。

Windows を最新の状態に保つため、ネットワークに接続後、定期的に Windows® Update、または Microsoft® Update を実施してください。



### チェック

- PC の安定動作およびセキュリティ向上のため、Windows® Update、または Microsoft® Update を可能な限り OS のセットアップ直後に実施してください。アップデートの前に Edge や Internet Explorer のダウングレードなど、必要な作業項目がある場合は、各手順に従って対応してください。
- 本機には更新プログラムがインストールされています。更新プログラムをアンインストールすると、修正されていた問題が発生する可能性がありますので、更新プログラムのアンインストールは行わないでください。

# 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関する ご注意

---

[021902-21]

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピュータ等と無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

## ● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者によって、電波を故意に傍受され、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
- メールの内容

等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

## ● 不正に侵入される

悪意ある第三者によって、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスされ、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

---

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

## ■ 本機で設定できるセキュリティ

### 盗聴（傍受）を防ぐ

---

WEP 機能を使用して暗号キーを設定すると、同じ暗号キーを使用している通信機器間の無線 LAN 通信データを暗号化できるので、通信の盗聴や、関係のないコンピュータや機器からの接続を防ぐことができます。WEP 機能には 64bitWEP 対応、128bitWEP 対応、152bitWEP 対応のものがあり、本機の無線 LAN 機能は、64bitWEP と 128bitWEP に対応しています。



ただし、暗号キーを設定していても、暗号キー自体を第三者に知られたり、暗号解読技術によって暗号を解読されたりする可能性があるため、設定した暗号キーは定期的に変更することをおすすめします。



#### チェック

WEP 機能を利用するには、接続する無線 LAN 対応機器も WEP 機能に対応している必要があります。

### 不正アクセスを防ぐ

- 無線 LAN アクセスポイントに任意のネットワーク名 (SSID) を設定することで、同じ SSID を設定していない通信機器からの接続を回避できます。ただし、同じ SSID を設定していない機器でも、そのネットワークがどんな SSID を使用しているかは検出できてしまうため、SSID を設定しただけではセキュリティを保てません。これを回避するには、無線 LAN アクセスポイント側で SSID を通知しないように SSID の隠ぺいの設定をする必要があります。
- 接続するコンピュータなどの MAC アドレス (ネットワークカードが持っている固有の番号) を無線 LAN アクセスポイントに登録することで、登録した機器以外は無線 LAN アクセスポイントに接続できなくなります (MAC アドレスフィルタリング)。

### より高度なセキュリティ設定を行う

Wi-Fi Alliance が提唱する WPA (Wi-Fi Protected Access) や WPA2 機能を利用します。IEEE802.1X/EAP (Extensible Authentication Protocol) 規格によるユーザー認証、WEP 機能に比べて大幅に暗号解読が困難とされる暗号化方式 TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) や AES (Advanced Encryption Standard) を使用することで、より高度なセキュリティ設定が行えます。



#### チェック

WPA 機能を利用するには、接続する無線 LAN 対応機器とネットワーク環境が WPA 機能をサポートしている必要があります。WPA2 機能を利用するには、接続する無線 LAN 対応機器とネットワーク環境が WPA2 機能をサポートしている必要があります。

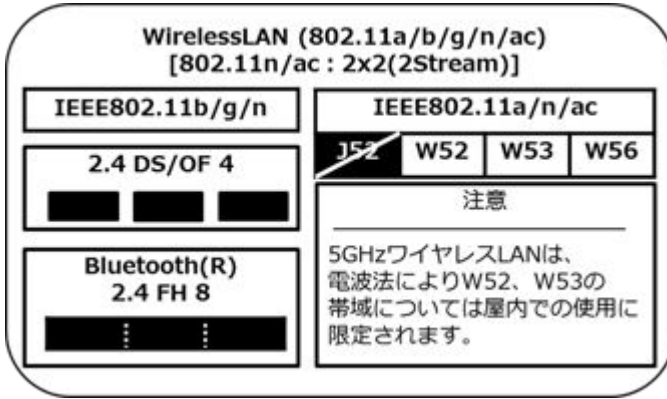
## 使用上の注意

[021903-21]

- 本製品には、2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品は、2.4GHz 全帯域（2.4GHz～2.4835GHz）を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域（2.427GHz～2.47075GHz）が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式と OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
- 本製品には、5GHz 帯小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品に内蔵されている無線設備は、5GHz 帯域（5.15GHz～5.35GHz、5.47GHz～5.725GHz）を使用しており、以下のチャンネルに対応しています。
  - W52 : Ch36 (5180MHz) ,Ch40 (5200MHz) ,Ch44 (5220MHz) ,Ch48 (5240MHz)
  - W53 : Ch52 (5260MHz) ,Ch56 (5280MHz) ,Ch60 (5300MHz) ,Ch64 (5320MHz)
  - W56 : Ch100 (5500MHz) ,Ch104 (5520MHz) ,Ch108 (5540MHz) ,Ch112 (5560MHz) ,Ch116 (5580MHz) ,Ch120 (5600MHz) ,Ch124 (5620MHz) ,Ch128 (5640MHz) ,Ch132 (5660MHz) ,Ch136 (5680MHz) ,Ch140 (5700MHz)
- W52、W53 無線 LAN の使用は、電波法令により屋内に限定されます。
- 本製品は、日本国における電波法施行規則第 6 条第 4 項第 4 号「小電力データ通信システムの無線局」を満足した無線設備であり、日本国における端末設備等規則第 36 条「電波を使用する自営電気通信端末設備」を満足した端末設備です。  
分解や改造などを行っての運用は違法であり、処罰の対象になりますので絶対に行わないでください。  
また、本製品は日本国以外ではご使用になれません。
- 本製品の電波出力は、一般社団法人電波産業会が策定した「電波防護標準規格（RCR STD-38）」に基づく基準値を下回っています。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。
- 自動ドアや火災報知機など、自動制御機器の周辺では、本製品は使用しないでください。自動制御機器の電子回路に影響を与え、誤動作の原因になる場合があります。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ、その他の無線を使用する機器などをお使いになっている近くで本製品を使用すると、それらの機器に影響を与えることがあります（本製品の電源を入/切することで影響の原因になっているかどうか判別できます）。この場合、次のような方法で電波干渉を取り除くようにしてください。
  - 本製品と影響を受けている装置の距離を離してください。
  - 影響を受けている装置が使用しているコンセントと別の電気系統のコンセントから、本製品の電力を供給してください。
  - 電話機やテレビ、ラジオの干渉について経験のある技術者に相談してください。
- トラック無線（CB 無線）やアマチュア無線などを違法に改造した無線機から影響を受ける場合には、影響を受ける場所・時間を特定し、ご使用場所の管轄の電波管理局へ申し入れてください。  
詳しくは、ご使用場所管轄の電波管理局へお問い合わせください。
- 他の無線機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。
- 電子レンジなど、本製品と同じ周波数帯域を使用する産業・科学・医療用機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。
- 本製品は、電波の特性上、設置場所によって通信距離や通信速度が異なります。

## ワイヤレス注意ラベル（本体底面）

- IEEE802.11a/b/g/n/ac に対応していて、かつ Bluetooth にも対応している場合



# 無線 LAN 機能のオン/オフ

[021904-21]

無線 LAN 機能のオン/オフを切り替えるには、次の方法があります。

- すべてのワイヤレス デバイスを切り替える. . . . . 164
- 無線 LAN 機能のみを切り替える. . . . . 166




## メモ

- オン/オフの設定は、電源を切った後も保存されます。
- 外付け接続した無線 LAN モジュールの無線 LAN 機能のオン/オフにも対応します。



## チェック

- 無線 LAN 機能のオン/オフを行う場合は、切り替えが完了したのを確認してから行うようにしてください。
- 他の機器に影響を与える場合やワイヤレス機能を使用しない場合は、ワイヤレス機能をオフにすることをおすすめします。
- BIOS セットアップユーティリティでワイヤレスデバイスそのものを無効にしている場合、これらの方法で無線 LAN 機能を有効にすることはできません。BIOS セットアップユーティリティでワイヤレスデバイスを有効に設定してから操作を行ってください。
- 無線 LAN 機能のオン/オフは、次の手順で確認できます。

**1** タスク バーの通知領域のネットワークアイコン (  ) をクリック

**2** Wi-Fi のタイルを確認する



## 参照

**BIOS セットアップユーティリティおよび設定項目について**  
『システム設定』の「システム設定」 - 「BIOS セットアップユーティリティについて」および「設定項目一覧」

## すべてのワイヤレス デバイスを切り替える

無線 LAN 機能を含むすべてのワイヤレス機能のオン/オフを切り替えることができます。



### チェック

- 無線 LAN 機能を含むワイヤレス機能をオンにしたときに、Bluetooth のドライバのインストールが始まった場合は、インストールが完了するまでお待ちください。また、再起動を促すメッセージが表示された場合は、本機を再起動してください。
- 無線 LAN 機能を含むワイヤレス機能のオン/オフの際、Bluetooth のドライバの組み込み/取り外しに時間がかかる場合があります。  
再度、無線 LAN 機能を含むワイヤレス機能のオン/オフを行う場合は、Bluetooth 機能の切り替えが完了したのを確認してから行うようにしてください。Bluetooth 機能の切り替えが完了しないうちに、連続してオン/オフの操作を行わないようにしてください。

## ワイヤレススイッチ (【Fn】 + 【F2】) で切り替える

キーボードの【Fn】 + 【F2】を押すことで、ワイヤレス機能のオン/オフを切り替えることができます。



### メモ

ワイヤレススイッチでオンにしても、無線 LAN または Bluetooth が機能しない場合は、時間を置いてオフ/オンを切り替えてみてください。



### 参照

#### 【Fn】について

「キーボード」の「キーの使い方 (P. 80)」

## 「機内モード」で切り替える

Windows 標準の機能を使って、ワイヤレス機能のオン/オフを切り替えることができます。



### チェック

機内モード中でも、無線 LAN 機能を個別にオンにしておくことができます。

#### ●ワイヤレス機能をオフにする場合

**1** タスク バーの通知領域のネットワークアイコン (📶) をクリック

**2** 「機内モード」をオンにする

#### ●ワイヤレス機能をオンにする場合

**1** タスク バーの通知領域のネットワークアイコン (📶) をクリック

**2** 「機内モード」をオフにする

## 無線 LAN 機能のみを切り替える


無線 LAN 機能のみのオン/オフを切り替えることができます。

### 無線 LAN 機能のみを切り替える

---

Windows 標準の機能を使って、無線 LAN 機能のみのオン/オフを切り替えることができます。

#### ●無線 LAN 機能をオフにする場合


**1** タスク バーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

---

**2** Wi-Fi をオフにする

---

#### ●無線 LAN 機能をオンにする場合

**1** タスク バーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

---

**2** Wi-Fi をオンにする

---

# 無線 LAN の設定と接続

[021905-21]

➤ 無線 LAN の設定をする. . . . .	169
➤ セキュリティとデータの暗号化について. . . . .	172
➤ 設定済みの接続先に接続する. . . . .	173
➤ 接続を切断する. . . . .	173



## メモ

- セキュリティ設定や周囲の無線環境によっては、接続までに時間がかかる場合や、通信速度が低下する場合があります。
- 工場出荷時の状態では、2.4GHz のみを使用できる設定になっています。5GHz を使用する場合は、次の手順で設定を変更してください。

**1 「デバイス マネージャー (P. 11)」を開く**

**2 「ネットワーク アダプター」をダブルクリック**

**3 「Intel(R) Dual Band Wireless-AC 7265」をダブルクリック**

**4 「詳細設定」タブをクリック**

**5 「プロパティ」欄で「ワイヤレス モード」を選択する**

**6 「値」欄の▼をクリックし、「6. 802.11a/b/g」を選択する**

**7 「OK」ボタンをクリック**

- WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応した無線 LAN アクセスポイントと接続する場合、PIN の入力や、ルーターのボタンを押すことを要求する画面が表示されることがあります。これらの操作でも無線 LAN アクセスポイントと接続できますが、機器の組み合わせによっては接続に失敗することもありますので、その場合はセキュリティ キーを入力して接続を行ってください。
- WPS で接続する場合は、セキュリティが自動的に設定されます。設定されたセキュリティについては、無線 LAN アクセスポイントの設定画面かマニュアルなどで確認してください。
- PIN の記載箇所については、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
- 「電源の管理」タブの設定は変更しないでください。



## メモ

- IEEE802.11n 規格による無線 LAN 通信において、2.4GHz 帯のチャンネルを 40MHz 幅で接続する場合は、次の手順で設定を確認してください。

- 1 「デバイス マネージャー (P. 11)」を開く
- 2 「ネットワーク アダプター」をダブルクリック
- 3 「Intel(R) Dual Band Wireless-AC 7265」をダブルクリック
- 4 「詳細設定」タブをクリック
- 5 「プロパティ」欄で「2.4 GHz 用 802.11n チャンネル幅」を選択する
- 6 「値」欄が「自動」になっているかを確認する  
「自動」になっていない場合は、をクリックして「自動」を選択してください。
- 7 「OK」ボタンをクリック

- IEEE802.11ac (5GHz) モードによる通信を行うには、次の手順で設定を行ってください。

- 1 「デバイス マネージャー (P. 11)」を開く
- 2 「ネットワーク アダプター」をダブルクリック
- 3 「Intel(R) Dual Band Wireless-AC 7265」をダブルクリック
- 4 「詳細設定」タブをクリック
- 5 「プロパティ」欄で「HT モード」を選択する
- 6 「値」欄のをクリックし、「VHT モード」を選択する
- 7 「OK」ボタンをクリック





## メモ

- 無線 LAN ユーティリティを使用することで、Windows 標準の無線 LAN 機能でサポートしていない認証機能 (LEAP など) をご利用いただけます。  
無線 LAN ユーティリティは、NEC の「ビジネス PC」サイト (<http://jpn.nec.com/products/bizpc/>) より提供予定です。次の手順でダウンロードしてください。


**1** NEC の「ビジネス PC」サイト (<http://jpn.nec.com/products/bizpc/>) で「サポート情報 (ダウンロード)」をクリック

**2** 「商品情報・ドライバ」欄の「ドライバ・ソフトウェア」をクリック  
「モジュール、ドライバ」欄で該当するユーティリティをダウンロードしてください。

## 無線 LAN の設定をする

接続する機器によって、設定手順が異なります。お使いの環境にあわせて設定を行ってください。

### ネットワーク名 (SSID) を通知する無線 LAN アクセスポイントに接続する場合

**1** タスク バーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

ネットワーク名 (SSID) と信号状態の一覧が表示されます。



#### チェック

表示されるアイコンは、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

**2** 無線 LAN 機能がオンになっていることを確認する

「無線 LAN 機能のオン/オフ」をご覧になり、無線 LAN 機能がオフになっている場合は、無線 LAN 機能をオンにしてください。



#### 参照

無線 LAN 機能のオン/オフについて  
「無線 LAN 機能のオン/オフ (P. 164)」

**3** 接続する無線 LAN アクセスポイントのネットワーク名 (SSID) をクリック



### チェック

- 選択した無線 LAN アクセスポイントに間違いがないか、ネットワーク名（SSID）を確認してください。
- ネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、無線 LAN アクセスポイントがネットワーク名（SSID）を通知しない設定になっている場合があります。無線 LAN アクセスポイントの設定を確認し、「ネットワーク名（SSID）を通知しない無線 LAN アクセスポイントに接続する場合 (P. 170)」の手順で設定を行ってください。

## 4 「自動的に接続」にチェックが付いていることを確認して、「接続」ボタンをクリック



### メモ

自動的に接続する設定は、後から変更できます。

## 5 「ネットワーク セキュリティ キー」の入力を要求する画面が表示された場合は、接続先に設定されているものと同じネットワーク セキュリティ キーを入力して、「次へ」ボタンをクリック

これ以降は画面の指示に従って操作してください。



### チェック

「閉じる」ボタンが表示された場合は、「閉じる」ボタンをクリックしてください。

これで設定は完了です。

## ネットワーク名（SSID）を通知しない無線 LAN アクセスポイントに接続する場合

### 1 無線 LAN 機能がオンになっていることを確認する

「無線 LAN 機能のオン/オフ」をご覧になり、無線 LAN 機能がオフになっている場合は、無線 LAN 機能をオンにしてください。



### 参照

無線 LAN 機能のオン/オフについて  
「無線 LAN 機能のオン/オフ (P. 164)」

### 2 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

### 3 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック

### 4 「ネットワーク設定の変更」欄の「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリック

## 5 「ワイヤレス ネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

ワイヤレス ネットワークの情報を入力する画面が表示されます。

## 6 「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」にチェックを付ける

## 7 接続先の無線 LAN アクセスポイントにあわせて設定を行う

- 「ネットワーク名」  
接続先の無線 LAN アクセスポイントのネットワーク名（SSID）を入力します。
- 「セキュリティの種類」、「暗号化の種類」  
接続先の無線 LAN アクセスポイントの設定にあわせて選択します。  
セキュリティと暗号化の種類については、「[セキュリティとデータの暗号化について \(P. 172\)](#)」をご覧ください。
- 「セキュリティ キー」  
接続先の無線 LAN アクセスポイントに設定されているものと同じネットワーク セキュリティ キーを入力します。
- 「この接続を自動的に開始します」  
チェックを付けると、接続先が通信可能範囲にある場合、自動で接続するように設定されます。

## 8 「次へ」ボタンをクリック

## 9 「正常に <ネットワーク名 (SSID) > を追加しました」と表示されたら、次の手順を行う

- 設定を変更しない場合  
手順 10 に進んでください。
- 設定を変更する場合  
「接続の設定を変更します」をクリックし、表示される画面で設定を行ってください。  
設定が完了したら「OK」ボタンをクリックし、手順 10 へ進んでください。



### チェック

接続先の無線 LAN アクセスポイントに WEP キーが設定されており、暗号化キー番号（キーインデックス）が「1」以外に設定されている場合は、ここで設定を変更する必要があります。「接続の設定を変更します」をクリックし、「セキュリティ」タブの「キー インデックス」で設定を行ってください。

## 10 「閉じる」ボタンをクリック

これで設定は完了です。

手順 7 で「この接続を自動的に開始します」にチェックを付けなかった場合は、「[設定済みの接続先に接続する \(P. 173\)](#)」をご覧ください。手動で接続を行ってください。

## セキュリティとデータの暗号化について

セキュリティと暗号化の方式は、無線 LAN アクセスポイントの設定にあわせる必要があります。本機の無線 LAN 機能で設定できる、セキュリティと暗号化の方式は次の通りです。

### 選択できるセキュリティと暗号化の方式

セキュリティの種類	暗号化の種類
認証なし（オープン システム）	なし、WEP
WPA2 - パーソナル	TKIP、AES
WPA - パーソナル	
WPA2 - エンタープライズ	
WPA - エンタープライズ	
802.1X	WEP



#### メモ

- セキュリティは設定することを強く推奨します。セキュリティの設定を行わない場合は、「無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意 (P. 160)」の内容をご確認の上、使用してください。
- WPA2 - エンタープライズ、WPA - エンタープライズ、および認証機能 (IEEE802.1X) を使用した接続を行う場合は、各項目の設定内容をネットワークの管理者にお問い合わせください。

### ネットワーク セキュリティ キー

データの暗号化を行う場合、ネットワーク セキュリティ キーを設定します。ネットワーク セキュリティ キーは、通信を行う無線 LAN アクセスポイントと同じ設定にします。

暗号化の方式と、ネットワーク セキュリティ キーとして使用できる文字種と文字数は以下の通りです。

#### ●WEP の場合

キーの長さが長い (bit 数が大きい) ほど、通信内容の解読がされにくくなり、安全性が高くなります。

入力形式	長さ	キーに使用する文字	説明
ASCII テキスト	64bit	半角英数字で 5 文字	相手の機器が 64bit 暗号キーに対応している場合に使えます。64bit のうち 40bit をユーザーが指定し、24bit はシステムが設定します。
16 進数		16 進数 (0~9、A~F の半角英数字) で 10 文字	
ASCII テキスト	128bit	半角英数字で 13 文字	相手の機器が 128bit 暗号キーに対応している場合に使えます。128bit のうち 104bit をユーザーが指定し、24bit はシステムが設定します。
16 進数		16 進数 (0~9、A~F の半角英数字) で 26 文字	

#### ●WPA - パーソナル (TKIP、AES) または WPA2 - パーソナル (TKIP、AES) の場合

入力されたネットワーク セキュリティ キーを元にして、一定時間ごとにキー自体が自動更新されるため、WEP よりも安全性が高くなります。

入力形式	キーに使用する文字
ASCII テキスト	半角英数字で 8 文字以上 63 文字以下
16 進数	16 進数 (0~9、A~F の半角英数字) で 64 文字



#### チェック

WPA - パーソナルや WPA2 - パーソナルによる暗号化を使用するには、接続する相手の機器も同じセキュリティ機能に対応している必要があります。

## 設定済みの接続先に接続する

設定済みの接続先に接続するには、次の手順で行います。

### 1 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン (📶) をクリック

ネットワーク名 (SSID) と信号状態の一覧が表示されます。



#### チェック

表示されるアイコンは、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

### 2 無線 LAN 機能がオンになっていることを確認する

「無線 LAN 機能のオン/オフ」をご覧になり、無線 LAN 機能がオフになっている場合は、無線 LAN 機能をオンにしてください。



#### 参照

無線 LAN 機能のオン/オフについて  
「無線 LAN 機能のオン/オフ (P. 164)」

### 3 接続先をクリックし、「接続」ボタンをクリック

以上で接続は完了です。

## 接続を切断する

接続中のネットワーク接続を切断するには、次の手順で行います。

### 1 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン (📶) をクリック

ネットワーク名 (SSID) と信号状態の一覧が表示されます。



### チェック

表示されるアイコンは、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

## 2 切断する接続先をクリックし、「切断」ボタンをクリック



### メモ

現在接続中の接続先には「接続済み」と表示されています。



### チェック

接続の状態の表示は、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

以上で切断は完了です。

# 無線 LAN に関する用語一覧

[021913-21]

ここでは無線 LAN に関する用語について説明します。無線 LAN の設定をするときにご覧になると便利です。

用語	説明
<b>AES</b>	Advanced Encryption Standard の略。 米国政府内での情報処理用に採用された「次世代標準暗号化方式」のこと。規定の基準（暗号強度、処理速度など）を満足しており、その仕様も公開されていることから、広い分野での利用が行われている。IEEE802.11i の暗号化方式の 1 つに採用されている。
<b>ANY プロープ応答禁止</b>	SSID の問い合わせを拒否する設定。
<b>ANY 接続拒否</b>	SSID を「ANY」にセットした無線 LAN 端末もしくは SSID に任意の文字列を入れた端末からの接続を拒否する設定。
<b>EAP</b>	Extensible Authentication Protocol の略。 任意の認証機能を用いるための仕様。ダイヤルアップで用いられる PPP（Point-to-Point Protocol）の拡張として開発された。 ユーザー名・パスワード以外にもスマートカード（IC カード）やデジタル証明書などさまざまな認証方式をサポートできる。EAP-TLS、EAP-TTLS などがある。
<b>EAP-TLS</b>	Transport Layer Security の略。 EAP 方式の認証プロトコルの 1 つで、利用にはクライアント証明書とサーバ証明書が必要となる。
<b>EAP-TTLS</b>	Tunneled Transport Layer Security の略。 EAP 方式の認証プロトコルの 1 つで、EAP-TLS とは異なり、クライアント証明書は必要とせず、代わりにユーザー名・パスワードが用いられる。
<b>IEEE802.11a</b>	IEEE が標準化した 5GHz 帯の電波を使い最大 54Mbps の転送速度の無線 LAN の物理層の規格。
<b>IEEE802.11b</b>	IEEE が標準化した 2.4GHz 帯の電波を使い最大 11Mbps の転送速度の無線 LAN の物理層の規格。
<b>IEEE802.11g</b>	IEEE が標準化した 2.4GHz 帯の電波を使い最大 54Mbps の転送速度の無線 LAN の物理層の規格。
<b>IEEE802.11i</b>	IEEE が標準化を進めている「無線 LAN 用セキュリティ規格」認証方式や暗号化方式、暗号化キーの取り扱いなどについて規定している。
<b>IEEE802.11n</b>	IEEE が標準化した 2.4GHz、5GHz 帯のいずれかの電波を使い最大 600Mbps（理論値）の転送速度の無線 LAN の物理層の規格。
<b>IEEE802.11ac</b>	IEEE が標準化した 5GHz 帯の電波を使い最大 6.93Gbps（理論値）の転送速度の無線 LAN の物理層の規格。
<b>IEEE802.1X</b>	無線 LAN 上で認証と動的なキーの生成と配送を行う仕組み。 IEEE 標準。有線 LAN でポートアクセス管理を行うためにも用いられる。EAP と RADIUS を用いる。

<b>MAC アドレスフィルタリング</b>	無線 LAN 端末固有の MAC アドレスを無線 LAN アクセスポイントに設定することで、無線 LAN 端末を無線 LAN アクセスポイントに接続するかどうかを制御するセキュリティ方式。													
<b>PSK</b>	Pre-Shared Key の略。 暗号化キーを生成するために用いられる共有（秘密）鍵のこと。この鍵を用いて直接暗号化を行うものではなく、暗号鍵を生成するためのものであることから“事前共有鍵”と呼ばれる。PSK とは、事前共有鍵を用いる認証方式を表す場合がある。													
<b>RADIUS</b>	Remote Authentication Dial-in User Service の略。 ネットワークアクセス全般に対する認証、アクセス承認、課金管理を行うプロトコル。													
<b>SSID</b>	Service Set Identifier の略。 無線 LAN を構成する無線 LAN アクセスポイントと端末に付けられた識別子のこと。無線 LAN をグループ化するために用いられる。 無線 LAN アクセスポイントと端末に同じ SSID が設定されていないと通信できない。無線 LAN アクセスポイントを中心とした 1 つのグループである BSS (Basic Service Set) が、802.11 による無線 LAN のインフラストラクチャ通信の最小単位となるが、複数の無線 LAN アクセスポイントにまたがった際のローミングを考慮し、BSS を複数束ねた ESS (Extended Service Set) が定義されている。このため、SSID は ESSID と呼ばれることもある。 無線 LAN 接続ツールによっては、ネットワーク名と記載している場合もある。													
<b>SSID の隠ぺい</b>	SSID を無線 LAN アクセスポイントにより定期的に送信されるビーコン中に含まないように設定すること。													
<b>TKIP</b>	Temporal Key Integrity Protocol の略。 暗号化方式の一種で、WPA の暗号化方式として採用されている。 PSK と呼ばれる“事前共有鍵”を元に暗号化キーを一定のデータ量また時間ごとに生成し、暗号化を行う。													
<b>WEP キー</b>	WEP 暗号化方式で用いられる“暗号化キー”のこと。種類は共有（秘密）鍵である。													
<b>WPA</b>	① Wi-Fi Protected Access の略。 Wi-Fi Alliance が規格化した、新しいセキュリティ規格のこと。 WEP 方式よりセキュリティ強度が強化されている。暗号化方式と認証プロトコルにより、以下の 4 つに分類できる。 <table border="1" data-bbox="528 1467 1485 1704"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="2">認証</th> </tr> <tr> <th>PSK</th> <th>EAP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">暗号</th> <th>TKIP</th> <td>(1)</td> <td>(2)</td> </tr> <tr> <th>AES</th> <td>(3)</td> <td>(4)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※WPA 仕様書では、暗号プロトコル「AES」は必須ではないため、WPA をサポートしていても、AES をサポートしていない場合がある。</p> <p>② WPA にて認証に外部サーバを用いる方式を表す。上記表内の (2) または (4) の方式。</p>			認証		PSK	EAP	暗号	TKIP	(1)	(2)	AES	(3)	(4)
				認証										
		PSK	EAP											
暗号	TKIP	(1)	(2)											
	AES	(3)	(4)											
<b>WPA - パーソナル</b>	WPA にて認証に外部サーバも用いない方式を表す。上記表内の (1) または (3) の方式。													
<b>暗号化キー</b>	暗号化を行う鍵のことで、暗号化方式により、公開鍵と共有（秘密）鍵の 2 種類ある。													



<b>インフラストラクチャ通信</b>	無線 LAN 端末と無線 LAN アクセスポイントを利用した形態の通信。
<b>オープンシステム認証</b>	無線 LAN の認証方式の 1 つ。無線 LAN 端末からは資格情報なしに無線 LAN アクセスポイントに認証依頼を行い、無線 LAN アクセスポイントは依頼された認証をそのまま受け入れる。そのため、ネットワークキーによる認証は行われていない（サーバ認証とは別）。
<b>キーインデックス</b>	WEP 暗号化方式では、仕様上 4 つの WEP キーを切り替えることができる。WEP 暗号化方式では、無線 LAN アクセスポイントと無線 LAN 端末の両方のキーインデックスを同じにしなければいけない。製品によってはキーインデックスの値が「0～3」のものと「1～4」のものがあり、設定に注意しなければならない。
<b>キー更新間隔</b>	暗号化キーを生成するデータ量間隔または時間間隔のこと。
<b>共有キー認証</b>	無線 LAN の認証方式の 1 つ。無線 LAN アクセスポイントと端末はネットワークキーを用いたチャレンジレスポンス認証を行う。
<b>ネットワークキー</b>	共有キー認証の「認証キー」と暗号化機能の「暗号化キー」または「PSK」の両方に用いられる「キー」のこと。
<b>ネットワーク認証</b>	無線 LAN の認証方式の総称。オープンシステム認証、共有キー認証、WPA、WPA - パーソナル、WPA2、WPA2 - パーソナルなどがある。
<b>無線 LAN アクセスポイント</b>	ネットワークに無線 LAN 端末を接続する機器であり、一般的には有線 LAN の HUB に相当する機能を持つ。

# USB コネクタ

---

[022000-21]

- 使用上の注意..... 179
- USB 機器の取り付け／取り外し..... 181

## 使用上の注意

[022001-21]

- 本機の USB コネクタには、USB 1.1 対応機器、USB 2.0 対応機器、USB 3.0 対応機器が取り付け可能です。ただし、対応する規格の異なる USB コネクタに USB 機器を取り付けたときの、動作規格（転送速度）については次の表をご覧ください。

		本体側コネクタ
		USB コネクタ (USB 3.0 対応) 
取り付ける機器	USB 1.1 対応機器	USB 1.1 (12Mbps <sup>※1</sup> )
	USB 2.0 対応機器	USB 2.0 <sup>※2</sup> (480Mbps <sup>※1</sup> )
	USB 3.0 対応機器	USB 3.0 <sup>※3</sup> (5Gbps <sup>※1</sup> )

※1 記載の速度は理論値（最大）です。

※2 USB ハブ、USB ケーブルも USB 2.0 に対応したものを使用する必要があります。

※3 USB ハブ、USB ケーブルも USB 3.0 に対応したものを使用する必要があります。

- USB 機器の取り付け／取り外しを行うときは、3 秒以上の間隔をおいて行ってください。
- USB コネクタにプラグをすばやく抜き差ししたり斜めに差したり半差しにしたりすると、正常に認識されないことがあります。その場合はプラグを USB コネクタから抜いて、正しく差しなおしてください。
- 初めて USB 機器を取り付けたときに、画面に何も表示されない場合は、USB コネクタにプラグを正しく差し込めていない可能性があります。いったんプラグを抜き、再度差し込んでみてください。
- スリープ状態に移行する前に USB 機器（マウスまたはキーボード以外）を取り外してください。USB 機器を取り付けた状態ではスリープ状態に移行または復帰できない場合があります。
- 省電力状態（スリープ状態や休止状態）の時や、省電力状態への移行中、省電力状態からの復帰中は、USB 機器の取り付け／取り外しをしないでください。
- 省電力状態への移行中は、取り付けている USB 機器を操作しないでください。
- 外付け USB ハブ経由で USB 機器を使用する場合は、USB ハブを本機に取り付けてから、USB ハブに USB 機器を取り付けるようにしてください。USB 機器を取り付けた状態で USB ハブを本機に取り付けると、USB 機器が正常に認識されないことがあります。
- USB 機器の有無にかかわらず「デバイス マネージャー」にある「ユニバーサル シリアル バス コントローラー」は削除、無効にしないでください。
- 印刷中にプリンタが停止し、「印刷キュー」に印刷中のドキュメントが残っている場合は、すべてのドキュメントを一度キャンセルし、プリンタに取り付けている USB ケーブルを抜き差ししてから再度印刷してください。なお、印刷中ドキュメントのキャンセルには時間がかかる場合があります。



## メモ

- 本機での USB 機器の動作確認情報については、各機器に添付のマニュアルをご覧ください。各機器の発売元にお問い合わせください。なお、NEC 製の USB 対応機器の情報は、NEC の「ビジネス PC」サイト (<http://jpn.nec.com/bpc/>) から、次の手順で確認してください。

### 1 「サポート情報（ダウンロード）」をクリック

### 2 「商品情報・ドライバ」にある「製品型番検索」にお使いのモデル型番を入力し、をクリック

お使いのモデルの型番で検索し、取り付け可能な USB 対応機器を確認してください。

- 取り付ける機器によっては、接続ケーブルが必要な場合があります。

## USB 機器を制限する

本機では、BIOS セットアップユーティリティの I/O 制限で、USB コネクタの有効/無効を設定して、USB 機器の使用を制限することができます。

また、添付の DeviceLock でも、取り付けている USB 機器単位で読み込みや書き込みを制限することができます。



## 参照

- **I/O 制限について**  
「セキュリティ機能」の「I/O 制限 (P. 198)」
- **DeviceLock について**  
「セキュリティ機能」の「DeviceLock Lite (P. 206)」

# USB 機器の取り付け／取り外し

[022002-21]

## 取り付けの前に

機器によっては、使用するためにドライバやアプリケーションのインストール、設定の変更などが必要になる場合があります。

USB 機器に添付のマニュアルなどをご覧になり、必要な準備を行ってください。



### メモ

- 取り付けてすぐ使うことができる USB 機器がありますが、そのままではいくつかの機能が制限される可能性があります。必ず添付のマニュアルをよく読んでください。
- USB 機器は、本機の電源を入れたままの状態でも取り付けることができます。取り付け前に電源を切る必要はありません。
- 外付け USB ハブ経由で USB 機器を使用する場合は、はじめに USB ハブを本機に取り付けてから、USB ハブに USB 機器を取り付けるようにしてください。

## USB 機器の取り付け

### 1 USB コネクタ (USB 3.0 対応) (SS⇄またはSS⇄) にプラグを差し込む

プラグの向きに注意して、止まるまで軽く押し込んでください。

取り付けした USB 機器が正しく本機に認識されたかどうかを確認してください。確認する方法は、機器の種類によって異なります。機器によっては、取り付けた後で別の設定作業が必要になる場合があります。詳しくは、各 USB 機器に添付のマニュアルなどをご覧ください。

## USB 機器の取り外し

### 1 タスク バーの通知領域の をクリックし、 をクリック

このアイコンが表示されていない場合は手順 3 に進んでください。

### 2 表示された「××××の取り出し」から、取り外したい USB 機器をクリック

安全に取り外しができるという内容のメッセージが表示されます。

表示された「××××の取り出し」に取り外したい USB 機器がない場合は手順 3 に進んでください。

### 3 USB 機器を取り外す

以上で USB 機器の取り外しは完了です。

本機の Bluetooth 機能について説明しています。

▶ 概要.....	183
▶ セキュリティに関するご注意.....	185
▶ 使用上の注意.....	186
▶ Bluetooth 機能の設定と接続.....	188
▶ Bluetooth 機能のオン/オフ.....	192

## Bluetooth 機能について

Bluetooth（ワイヤレステクノロジー）機能は、Bluetooth ワイヤレステクノロジーが搭載された機器とデータ通信を行う Bluetooth Special Interest Group（SIG）が策定した世界標準の通信規格です。

## Bluetooth 機能でできること

次のような、Bluetooth 機器とワイヤレスで接続することができます。

- マウスやキーボード
- 携帯電話、タブレット
- ヘッドセット、ヘッドフォン

など

最大で 7 台の Bluetooth 機器を同時に接続できます。



### チェック

- Bluetooth 機能をお使いになる前に、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。
- 同時に利用する Bluetooth 機器の台数が多い場合、通信負荷が大きくなり動作に影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth 機器によっては、複数同時に使用できない仕様のものがあります。
- 同じ種類の Bluetooth 機器でも機能差がある場合があります。
- Bluetooth 機能は、すべての Bluetooth 機器に対して動作を保証するものではありません。Bluetooth 機器の動作環境と接続の可否を確認してください。

## 接続できる機器

本機の Bluetooth 機能は、Ver.1.1 以降で Ver.4.1 までのいずれかの規格に対応した機器（マウスやキーボードなど）と接続できます。ただし、接続する機器が、Bluetooth プロファイルに対応している必要があります。また、使用する機器やソフトによっては接続できないことがあります。機器をご購入する前に製造元や販売店に確認してください。

対応している Bluetooth プロファイルについては、「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。

<http://121ware.com/support/>

シンプルペアリング機能（Ver.2.1 以降）に対応した機器と接続する場合は、パスコード（PIN コード）を入力することなく機器同士をペアリングすることができます。

また、次の機能が強化されています。

- **省電力機能 (Ver.2.1 以降)**

Ver.2.0 + EDR よりも省電力が強化され、マウスやキーボードなどのバッテリー駆動時間の延長に効果があります。

- **ペアリング機能**

第三者の介入によって情報が傍受される可能性を排除する防御機能が搭載されています。

- **Enhanced Data Rate (EDR) 機能**

従来の規格の約 3 倍 (理論上) の速度で通信を行えます。

- **Advanced Frequency Hopping (AFH) 機能**

無線 LAN (IEEE802.11b/g/n) など、他の 2.4GHz 帯域を利用する無線機器が利用している周波数を避けて干渉の可能性を低減させます。



#### チェック

- 回避できる周波数帯域が確保できない場合は、この機能の効果が得られないことがあります。
- 2.4GHz 帯域の中でも無線 LAN (IEEE802.11n) はより強い干渉を受ける場合があります。

- **Low Energy 機能 (Ver.4.0 以降)**

従来の機器に比べて低消費電力の Bluetooth Smart 機器 (マウスなど) と接続することが可能です。

## 通信距離と速度

### 通信できる距離

本機は、相手の機器間と見通して約 10m の範囲まで通信できます。ただし、10m 以内でもデータ通信タイミングを必要とする音楽データ通信などは音とびが発生する場合があります。

### 通信速度

実際の通信速度は、各通信モードの規格値の半分程度を目安にしてください。

Enhanced Data Rate (EDR) 規格に対応した機器同士の最大通信速度は 3Mbps (規格値) です。

前述の HS および EDR に対応していない機器の場合 (Basic Rate:BR) は、最大通信速度 (非同期) は 1Mbps (規格値) です。



#### チェック

接続する機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のソフト、および OS などによって、通信速度や距離は大きく変化します。



# セキュリティに関するご注意

---

[023102-21]

Bluetooth 機能では、セキュリティを確保するため、機器ごとに割り振られた固有の ID で機器の識別をしています。さらにパスコード (PIN コード) を設定して接続認証を行ったり、通信データを暗号化することで通信を傍受された場合にもデータの内容を守ることができます。また、通信中に使用する周波数帯域を接続単位ごとにランダムに変更しながら通信することで通信傍受されにくくなっています。



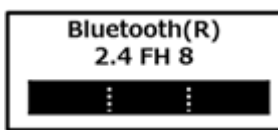
## チェック

- これらの設定は危険性をより低くするための手段であり、安全性を 100%保証するものではありません。
- 身に覚えのない接続を要求された場合は、無視するか受付をしないでください。

## 使用上の注意

[023103-21]

- 接続相手と通信中（ファイル転送中やプリンタで印刷中、オーディオ機器で音楽再生中など）に、本機を休止状態やスリープ状態にしないでください。
- 本製品に標準内蔵以外の Bluetooth® ワイヤレステクノロジー機器をセットアップして使用しないでください。
- Bluetooth 対応オーディオ機器をご使用になる場合は、SCMS-T 方式の著作権保護機能をサポートした機器をおすすめします。本機を用いて著作権保護されたデータのコピーを作成することは違法となる場合があります。
- 本製品には、2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品は、2.4GHz 全帯域（2.4GHz～2.4835GHz）を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域（2.427GHz～2.47075GHz）と重複しており、この重複する周波数帯での干渉を回避することができません。変調方式として FH-SS 方式を採用しており、与干渉距離は 80m です。



- 本製品は、日本国における電波法施行規則第 6 条第 4 項第 4 号「小電力データ通信システムの無線局」を満足した無線設備であり、日本国における端末設備等規則第 36 条「電波を使用する自営電気通信端末設備」を満足した端末設備です。分解や改造などを行っての運用は違法であり、処罰の対象になりますので絶対に行わないでください。また、本製品は日本国以外ではご使用になれません。
- 本製品の電波出力は、一般社団法人 電波産業会が策定した「電波防護標準規格（RCR STD-38）」に基づく基準値を下回っています。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。
- 自動ドアや火災報知機等、自動制御機器の周辺では、本製品は使用しないでください。自動制御機器の電子回路に影響を与え、誤動作の原因になる場合があります。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ、その他の無線を使用する機器などをお使いになっている近くで本製品を使用すると、それらの機器に影響を与えることがあります（本製品の電源を入/切することで影響の原因になっているかどうか判別できます）。この場合、次のような方法で電波干渉を取り除くようにしてください。
  - 本製品と影響を受けている装置の距離を離してください。
  - 影響を受けている装置が使用しているコンセントと別の電気システムのコンセントから、本製品の電力を供給してください。
  - 電話機やテレビ、ラジオの干渉について経験のある技術者に相談してください。
- トラック無線（CB 無線）やアマチュア無線などを違法に改造した無線機から影響を受ける場合には、影響を受ける場所・時間を特定し、ご使用場所の管轄の電波管理局へ申し入れてください。詳しくは、ご使用場所の管轄の電波管理局へお問い合わせください。
- 本製品は、電波の特性上、設置場所によって通信距離や通信速度が異なります。
- 本製品は、Bluetooth® パスコード（PIN コード）や暗号化機能等を使用することにより、無線ネットワークでの不正アクセスを防止することが可能ですが、日頃からの接続デバイスの管理をされることをおすすめします。

- 病院内や航空機内など電子機器、無線機器の使用が禁止されている区域では使用しないでください。機器の電子回路に影響を与え、誤作動や事故の原因になるおそれがあります。
- 埋め込み型心臓ペースメーカーを装備されているかたは、本商品をペースメーカー装置部から 30cm 以上離して使用してください。
- その他、本製品から移動体識別用特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、NEC またはご購入元にお問い合わせください。



## メモ

安定した通信のため、次の点にご注意ください。

- 本機と接続する Bluetooth 機器との距離は、できるだけ近くする
- 接続する Bluetooth 機器との間に障害物を置かないようにする
- 金属製のパソコンラックなどで本機を使用しない
- 通信中は近くで同じ周波数帯域を使用する電子レンジや他の無線機器を使用しない

## Bluetooth 機器の接続


Bluetooth 機器を接続するときは、機器に添付のマニュアルもあわせてご覧ください。

### 1 接続する Bluetooth 機器を接続可能な状態にする

### 2 タスク バーの通知領域の をクリックして表示される (Bluetooth デバイス) をクリックし、表示されたメニューから「Bluetooth デバイスの追加」をクリック



## メモ

 (Bluetooth デバイス) がない場合は、「Bluetooth 機能のオン/オフ (P. 192)」をご覧ください。

### 3 接続する Bluetooth 機器を選択し、「ペアリング」ボタンをクリック





## チェック

デバイスの追加で認証エラーが発生し自動で接続できない場合には「閉じる」をクリックし、デバイスを選んで「ペアリング」をクリックします。「XXXXXX のパスコードを入力してください」の画面が表示されたら、デバイスのマニュアルに記載のデバイスのパスコードを入力するか、もしくはパスコードを使用しないで接続を繰り返してみてください。



## メモ

登録済みのデバイスを確認する場合は、タスク バーの通知領域の  をクリックして表示される  (Bluetooth デバイス) をクリックし、「Bluetooth デバイスの表示」をクリックして一覧を開いて確認してください。



## チェック

- Bluetooth キーボードを接続するときにパスコード (PIN コード) の入力を求められたときは、画面に表示されたコードを入力して最後に【Enter】を押してください。その他の機器でパスコード (PIN コード) の入力を求められたときは、その製品に添付のマニュアルなどをご確認ください。
- ドライバのインストール中に本機の動作が遅くなる場合があります。
- ドライバによっては再起動を求められる場合があります。
- Bluetooth 対応オーディオ機器を使用する場合は、SCMS-T 方式の著作権保護機能をサポートした機器をおすすめします。
- Bluetooth 機器によってサポートしている機能に差分があったりアプリケーションソフトが対応できなかったりする場合がありますので、ご購入前にサポート機能の確認を行ってください。



## メモ

- Bluetooth 対応オーディオ機器 (ステレオヘッドフォンなど) を接続していて音が切れる (音飛びする) 場合は、一度切断して本機の Bluetooth 側から再接続することをおすすめします。これはオーディオ機器によるホスト処理の負荷が高いため、遅れが出る場合があるからです。解決しない場合は、本機と接続機器の距離を近くするか、バッテリー駆動の機器の場合はバッテリー容量の残量を確認してください。
- 無線 LAN を使用していない (アクセスポイントに接続していない) ときに、接続している Bluetooth 機器の動作が不安定 (オーディオ機器のノイズ、マウスのカクツキなど) な場合は、無線 LAN 機能のみをオフにしてください。システム処理の負荷を軽減することができます。





## 参照

### 無線 LAN 機能のオン/オフについて

「無線 LAN 機能」の「無線 LAN 機能のオン/オフ (P. 164)」


## Bluetooth 機能の設定を変更する

必要に応じて Bluetooth 機能の設定を変更することができます。設定の変更は次の手順で行ってください。

- 1 タスク バーの通知領域の  をクリックして表示される  (Bluetooth デバイス) をクリックし、表示されたメニューから「設定を開く」をクリック



## メモ

 (Bluetooth デバイス) がない場合は、「Bluetooth 機能のオン/オフ (P. 192)」をご覧ください。Bluetooth 機能をオンにしてください。



## チェック

接続した Bluetooth 機器の設定変更の方法は、機器に添付のマニュアルを参照ください。

## Bluetooth 接続でのファイルの送受信

Bluetooth 機器間で一時的に小さなファイルを簡単にやりとりすることができます。

## ファイルの送信

ファイルの送信は次の手順で行います。



### メモ

受信側の Bluetooth 機器でのファイル受信については、機器により異なるので受信側の機器のマニュアルをご覧ください。

- 1 送信するファイルを右クリックし、表示されたメニューから「送る」→「Bluetooth デバイス」をクリック



### チェック

複数のファイルをまとめて送信したい場合でも、フォルダの送信はできません。ファイルを送信してください。

- 2 リストに表示される送信先のデバイスを選択し、「次へ」ボタンをクリック

- 3 受信側（送信先）でファイルの受け取りを承諾する

受信側で受信を許可すると、「Bluetooth ファイル転送」上でファイルの送信が開始されます。「ファイルが正しく転送されました」と表示されれば送信終了です。



- 4 「完了」ボタンをクリック

## ファイルの受信




### チェック

接続した Bluetooth 機器の設定変更の方法は、機器に添付のマニュアルを参照ください。

- 1 タスク バーの通知領域の  をクリックして表示される  (Bluetooth デバイス) をクリックし、表示されたメニューから「設定を開く」をクリック





### メモ

 (Bluetooth デバイス) がない場合は、「Bluetooth 機能のオン/オフ (P. 192)」をご覧ください。Bluetooth 機能をオンにしてください。

- 2 「オプション」タブの「検出」の「Bluetooth デバイスによるこの PC の検出を許可する」にチェックを付ける

- 3 「OK」をクリック

- 4 タスク バーの通知領域の  をクリックして表示される  (Bluetooth デバイス) をクリックし、表示されたメニューから「ファイルの受信」をクリック

「Bluetooth ファイル転送」画面が表示されます。

- 5 送信側で送信する

「デバイスの追加」が表示された場合は、クリックし手順にしたがってください。



- 6 「受信したファイルの保存」でファイルの保存先を選択し、「完了」をクリックする

## Bluetooth 機器の接続の切断

接続先のデバイスのマニュアルを参照し、切断してください。


## Bluetooth 機器の登録削除

使用しない Bluetooth 機器の登録を削除する場合は、次の手順で行います。

- 1 タスク バーの通知領域の  をクリックして表示される  (Bluetooth デバイス) をクリックし、表示されたメニューから「Bluetooth デバイスの表示」をクリック



メモ

 (Bluetooth デバイス) がない場合は、「Bluetooth 機能のオン/オフ (P. 192)」をご覧ください。

Bluetooth 機器の一覧が表示されます。

- 2 登録を削除したい Bluetooth 機器のアイコンをクリックし、「デバイスの削除」ボタンをクリック

- 3 「このデバイスを削除しますか？」と表示されたら「はい」ボタンをクリック

# Bluetooth 機能のオン/オフ

[023105-21]

Bluetooth 機能のオン/オフを切り替えるには、次の方法があります。

- ▶ ワイヤレススイッチ（【Fn】 + 【F2】）で切り替える..... 192
- ▶ 「アクション センター」で切り替える..... 193



## チェック

他の機器に影響を与える場合や Bluetooth 機能を使用しない場合、Bluetooth 機能が使用できない環境で本機を使用する場合は、Bluetooth 機能をオフにしてください。

Bluetooth 機能の状態については、タスク バーの通知領域の  をクリックして表示されるアイコンで確認できます。

アイコン	Bluetooth 機能の状態
	スタンバイ/動作中
アイコン無し	オフ

## ワイヤレススイッチ（【Fn】 + 【F2】）で切り替える

【Fn】 + 【F2】を押すことで、Bluetooth 機能を含むワイヤレス機能のオン/オフを切り替えることができます。



## チェック

- この方法でオフにした場合、Bluetooth 機能を含むすべてのワイヤレス機能がオフになります。
- Bluetooth 機能を含むワイヤレス機能をオンにした時に、Bluetooth のドライバのインストールが始まった場合は、インストールが完了するまでお待ちください。また、再起動を促すメッセージが表示された場合は、本機を再起動してください。
- Bluetooth 機能のオン/オフ切り替え時、ドライバの組み込み/取り外しに時間がかかる場合があります。再度、Bluetooth 機能のオン/オフを行う場合は、切り替えが完了したのを確認してから行うようにしてください。切り替えが完了しないうちに、連続してオン/オフの操作を行わないようにしてください。



## 参照

- **【Fn】について**  
「キーボード」の「キーの使い方 (P. 80)」
- **BIOS セットアップユーティリティおよび設定項目について**  
『システム設定』の「システム設定」 - 「BIOS セットアップユーティリティについて」および「設定項目一覧」



## 「アクションセンター」で切り替える

Bluetooth 機能のみをオフにしたい場合は、「アクションセンター」で Bluetooth 機能をオフにしてください。  
「アクションセンター」での Bluetooth 機能のオン/オフの切り替えは、次の手順で行います。



### チェック

Bluetooth 機能をオンにしてください。

### オンにする

1 「アクションセンター (P. 17)」を表示する

2 「Bluetooth」をオンにする

### オフにする

1 「アクションセンター (P. 17)」を表示する

2 「Bluetooth」をオフにする

# セキュリティ機能

[022500-21]

本機で利用可能なセキュリティ機能について説明しています。

➤ セキュリティ機能について.....	195
➤ スーパバイザパスワード/ユーザパスワード.....	196
➤ ハードディスクパスワード機能.....	197
➤ I/O 制限.....	198
➤ 盗難防止用ロック.....	199
➤ DEP (Data Execution Prevention) 機能.....	200
➤ 暗号化ファイルシステム (EFS) .....	201
➤ インテル® アイデンティティ・プロテクション・テクノロジー.....	202
➤ ウイルス検出・駆除.....	203
➤ セキュリティチップ機能.....	204
➤ NASCA.....	205
➤ DeviceLock Lite.....	206

# セキュリティ機能について

[022501-21]

本機には、機密データの漏えいや改ざんを防止したり、コンピュータウイルスの侵入を防ぐために、次のようなセキュリティ機能があります。



## チェック

- お使いのモデルによっては使用できない場合があります。詳しくは各機能の説明をご覧ください。
- 工場出荷時にインストールされていない機能やアプリケーションのインストールには、光学ドライブが必要です。
- 本機の各種セキュリティ機能は、完全なセキュリティを保証するものではありません。セキュリティ機能を使用している場合でも、重要なデータなどの管理や取り扱いには十分注意してください。

➤ スーパーバイザパスワード/ユーザパスワード.....	196
➤ ハードディスクパスワード機能.....	197
➤ I/O 制限.....	198
➤ 盗難防止用ロック.....	199
➤ DEP (Data Execution Prevention) 機能.....	200
➤ 暗号化ファイルシステム (EFS) .....	201
➤ インテル® アイデンティティ・プロテクション・テクノロジー.....	202
➤ ウイルス検出・駆除.....	203
➤ セキュリティチップ機能.....	204
➤ NASCA.....	205
➤ DeviceLock Lite.....	206

# スーパーバイザパスワード/ユーザパスワード

[022502-21]

スーパーバイザパスワード/ユーザパスワードは、BIOS セットアップユーティリティの起動や設定、本機の使用を制限するためのパスワードです。

## BIOS セットアップユーティリティの使用者の制限

スーパーバイザパスワード/ユーザパスワードを設定すると、BIOS セットアップユーティリティ起動時にパスワードの入力画面が表示されます。スーパーバイザパスワードまたはユーザパスワードを入力しない限り、BIOS セットアップユーティリティは起動できません。

また、ユーザパスワードを入力して BIOS セットアップユーティリティを起動した場合、設定可能な項目が制限されます。本機の管理者と使用者が異なるときに、使用者が設定変更してしまうことを防止する場合などに有効です。

## 本機不正使用の防止 (BIOS 認証)

スーパーバイザパスワード/ユーザパスワードを設定し、BIOS セットアップユーティリティの「Security」メニューで「Password Check」を「Always」に変更してください。

本機の起動時にパスワード入力画面が表示され、本機を使用するにはスーパーバイザパスワードまたはユーザパスワードの入力が必要になります。



### チェック

- ユーザパスワードは、スーパーバイザパスワードが設定されていなければ設定できません。
- NEC に本機の修理を依頼される際は、設定してあるパスワードは解除しておいてください。
- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードは本機を再セットアップしても解除できません。パスワードを忘れてしまった場合、有償での解除処置となります。



### 参照

#### BIOS セットアップユーティリティについて

『システム設定』の「システム設定」 - 「BIOS セットアップユーティリティについて」

# ハードディスクパスワード機能

[022503-21]

本機の SSD にハードディスクパスワードを設定することで、本機の SSD を本機以外のパソコンに取り付けて使用するときパスワードの入力が必要になり、不正使用や重要なデータの漏えいを防止できます。

ハードディスクパスワードには、ハードディスクマスタパスワードとハードディスクユーザパスワードの 2 つがあります。

## ■ ハードディスクマスタパスワード

管理者がハードディスクの認証やハードディスクパスワードの設定変更を行うパスワードです。

## ■ ハードディスクユーザパスワード

使用者が SSD の認証やハードディスクパスワードの設定変更を行うためのパスワードです。



### チェック

- ハードディスクユーザパスワードは、ハードディスクマスタパスワードが設定されていなければ設定できません。
- 購入元または NEC に本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除または無効にしておいてください。また、起動できずにパスワードを解除または無効にできない場合は、修理から戻ってきた際に、使用していたマスタパスワードとユーザパスワードを再設定してください。
- ハードディスクパスワードを忘れてしまった場合、NEC に持ち込んでもロックの解除はできません。SSD に保存されているデータは二度と使用できなくなり、SSD も有償で交換することになります。ハードディスクパスワードは忘れないように十分注意してください。



### 参照

#### ハードディスクパスワードの設定について

『システム設定』の「システム設定」 - 「設定項目一覧」 - 「Security」メニュー

# I/O 制限

---

[022504-21]

本機では、BIOS セットアップユーティリティで、各種デバイスの I/O（データの入出力）を制限することができます。この機能を利用することで、部外者のデータアクセスや、システムに影響を及ぼすアプリケーションのインストールを制限することができます。



## 参照

### I/O 制限について

『システム設定』の「システム設定」 - 「設定項目一覧」 - 「Advanced」メニュー

# 盗難防止用ロック

---

[022505-21]

別売のセキュリティーケーブル（PC-VP-WS16）を利用することで、本機を机などに繋ぐことができ、本機の盗難防止に効果的です。



## チェック

当社製セキュリティーケーブル（PK-SC/CA01）は、本機では使用できません。ご注意ください。



## 参照

### 盗難防止用ロックについて

「各部の名称」の「各部の名称と説明 (P. 27)」

## DEP (Data Execution Prevention) 機能

---

[022507-21]

不正なプログラムやデータの実行をハードウェア的に防止する機能です。コンピュータウイルスが不正にプログラムコードを書き込んだり、実行しないようにすることができます。



# 暗号化ファイルシステム（EFS）

---

[022510-21]

EFS（Encrypting File System）は、Windows 10 の標準ファイルシステムである NTFS が持つファイルやフォルダの暗号化機能です。暗号化を行ったユーザー以外、データ復号化が行えないため、高いセキュリティ効果をもたらすことが可能です。

# インテル® アイデンティティ・プロテクション・テクノロジー

---

[022519-21]

本機は、インテル® アイデンティティ・プロテクション・テクノロジーに対応しています。

インテル® アイデンティティ・プロテクション・テクノロジーに対応した Web サイトにアクセスする際、ユーザー名やパスワードなどに、30 秒ごとに更新されるワンタイムパスワードを組み合わせて使用することで、不正アクセス防止を強化します。

# ウイルス検出・駆除

---

[022508-21]



## チェック

マカフィー リブセーフは、工場出荷時にはインストールされていません。

コンピュータウイルスの検出、識別、および駆除を行うためのアプリケーションとして「マカフィー リブセーフ」が添付されています。



## 参照

### マカフィー リブセーフについて

「便利な機能とアプリケーション」の「マカフィー リブセーフ (P. 249)」

# セキュリティチップ機能

---

[022509-21]

本機は TPM (Trusted Platform Module) と呼ばれるセキュリティチップを実装しており、セキュリティチップ内で暗号化や復号化、鍵の生成を行うことで、強固なセキュリティを実現します。

また、セキュリティチップ上に暗号化キーを持つため、SSD を取り外して持ち出されても、セキュリティチップ上の暗号化キーを用いて暗号化したデータは読み取られることはありません。



## チェック

セキュリティチップは、データやハードウェアの完全な保護を保証していません。重要なデータなどの管理や取り扱いには十分注意して、運用を行ってください。

「PC のリセット」、再セットアップを行った場合は、セキュリティチップの初期化を行ってください。



## チェック

NASCA は、工場出荷時にはインストールされていません。

NASCA は、複数の認証方法を使用した高度な個人認証機能です。

認証情報を登録していない第三者が本機を使用することを防止したり、Web サイトへのアクセスやアプリケーションの実行に必要な情報（パスワードなど）を自動的に保存、入力することができます。

保存された情報は、セキュリティチップと連携することによって、安全に管理されます。



## チェック

マカフィー リブセーフがインストールされ、リアルタイムスキャンが「有効」の場合は、NASCA のインストールと TPM の設定はできません。

以下の手順でリアルタイムスキャンを「無効」にしてからインストールしてください。

**1**

お使いのパソコンをネットワークから切断する

**2**

マカフィー リブセーフのリアルタイムスキャンを「無効」に設定する

**3**

NASCA をインストールし、TPM の設定を完了する

**4**

マカフィー リブセーフのリアルタイムスキャンを「有効」に戻す

**5**

ネットワークに再接続する

マカフィー リブセーフのリアルタイムスキャンを無効・有効にする方法については、マカフィー公式サイトの下記 URL をご参照ください。

<https://service.mcafee.com/webcenter/portal/cp/home/articleview?locale=ja-JP&articleId=TS101643&fromSearch=true&platform=pc>



## 参照

### NASCA について

「アプリケーションディスク」の「NASCA※」フォルダの「NASCA User's Guide.chm」

※ アプリケーションディスクによっては、タイプ名が表示されている場合があります。その場合は、ご使用のタイプ名のフォルダを選択してください。



## チェック

DeviceLock Lite は、工場出荷時にはインストールされていません。

DeviceLock Lite（以下、DeviceLock）は、各種周辺機器の使用を制限することができるアプリケーションです。



## 参照

### DeviceLock について

「便利な機能とアプリケーション」の「[DeviceLock Lite \(P. 231\)](#)」

# セキュリティチップ

---

[040000-21]

- セキュリティチップを初期化する. . . . . 208
- 辞書攻撃防御機能. . . . . 209
- 本機を修理に出した後. . . . . 210

# セキュリティチップを初期化する

[040206-21]

次の手順で、セキュリティチップを初期化してください。

Windows の BitLocker ドライブ暗号化を利用している場合は、BitLocker ドライブ暗号化を無効にしてからセキュリティチップの初期化を行ってください。

**1** デスクトップの  をクリック

**2**  をクリックし、「シャットダウン」をクリック

**3** 本機の電源スイッチを押す

**4** 「コントロール パネル (P. 11)」を表示し、「システムとセキュリティ」→「BitLocker ドライブ暗号化」→左のメニューから「TPM の管理」をクリック

「コンピューターのトラステッド プラットフォーム モジュール (TPM) の管理 (ローカル コンピューター)」画面が表示されます。

**5** 「操作」から、「TPM をクリア」をクリック

**6** 「再起動」ボタンをクリック

サインアウトする旨のメッセージが表示され、自動的に再起動します。



**チェック**

「閉じる」をクリックする必要はありません。

**7** 本機の再起動後、【Shift】 + 【F10】 または 【F12】 を押す確認画面が表示された場合は、指示に従って押す

設定値が保存され、本機が再起動します。

これでセキュリティチップが初期化されました。



# 辞書攻撃防御機能

---

[040404-21]

パスワードで保護されたセキュリティを破るために用いられる「辞書攻撃」という手法から、本機を防御するための機能です。

Windows の BitLocker ドライブ暗号化など、セキュリティチップに関連する機能で、誤ったパスワード入力を繰り返すと一時的にパスワードの入力ができなくなります。

再度、パスワードの入力を行うには、一定時間の経過が必要です。

なお、再度、パスワードの入力が可能になるまでの時間は、誤入力の回数によって決定され、誤入力の回数が多いほど、入力可能になるまでの時間も長くなります。

## 本機を修理に出した後

---

[040602-21]

本機を修理に出し、「マザーボード交換」や「セキュリティチップ交換」、「SSD 交換」、「再セットアップ」等が行われた場合には、セキュリティチップの初期化を行ってください。



### チェック

セキュリティチップの初期化手順については、「[セキュリティチップを初期化する \(P. 208\)](#)」をご覧ください。

# 便利な機能とアプリケーション

[060000-21]

➤ アプリケーションの種類と機能. . . . .	212
➤ アプリケーションのインストール. . . . .	214
➤ アプリケーションのアンインストール. . . . .	218
➤ Office Home & Business 2016. . . . .	221
➤ Office Home & Business Premium. . . . .	224
➤ Access Connections. . . . .	227
➤ DeviceLock Lite. . . . .	231
➤ Acrobat Reader DC. . . . .	233
➤ ECO モード設定ツール. . . . .	235
➤ ピークシフト設定ツール. . . . .	236
➤ CyberLink Power2Go. . . . .	237
➤ CyberLink PowerDVD. . . . .	239
➤ CyberLink PowerBackup. . . . .	243
➤ 拡張ディスプレイ操作ツール. . . . .	245
➤ フリック入力補助ツール. . . . .	247
➤ マカフィー リブセーフ. . . . .	249
➤ OneNote. . . . .	254
➤ パーティション設定ツール. . . . .	255
➤ HD 革命/Eraser Ark シュレッダー. . . . .	256

# アプリケーションの種類と機能

[060100-21]

本機にインストール、または添付されているアプリケーションはモデルによって異なります。

## 標準でインストール、または添付されているアプリケーション

アプリケーション	機能
Access Connections	ネットワークの設定、接続、切り替えおよびロケーション・プロファイルのインポートとエクスポートをする
Acrobat Reader DC	PDF 形式のマニュアルを表示、閲覧、印刷する
ECO モード設定ツール	【Fn】 + 【F4】、または設定したホットキーでモード（電源プラン）を切り替える
ピークシフト設定ツール	電力需要がピークに達する時間帯の電力消費を他の時間帯に移行する
DeviceLock Lite	周辺機器の使用を制限する
バッテリー・リフレッシュ&診断ツール※2	バッテリーのリフレッシュと性能診断
NASCA	ID・パスワードの保護と管理
ハードディスクデータ消去ツール※4	SSD のデータを消去する
フリック入力補助ツール	フリック機能を使ってショートカットキーイベントを操作する
拡張ディスプレイ操作ツール	アプリケーションを外部ディスプレイへ移動したり、操作したりする
マカフィー リブセーフ	ウイルス対策とマルウェア対策などを行う包括的で高速なセキュリティソフトウェア
OneNote	メモを自由に書き込み保存する
パーティション設定ツール	パーティションの設定変更
HD 革命/Eraser Ark シュレツダー	不要となったデータやファイル・フォルダーを完全に抹消する

※2 機能の詳細、使用方法については「本機の機能」の「バッテリー」-「バッテリー・リフレッシュ&診断ツール (P. 65)」をご覧ください。

※4 再セットアップ用ディスクが必要です。機能の詳細、使用方法については『メンテナンスとアフターケアについて』をご覧ください。

## モデルによってインストール、または添付されているアプリケーション

### ◆Office Home & Business 2016 モデル

アプリケーション	機能
Word 2016	文章を作成する HTML を作成する

Excel 2016	表計算をする
Outlook 2016	予定やスケジュールを管理する 住所録を作る ファイルを管理する 電子メールを送受信する
PowerPoint 2016	プレゼンテーションや企画書を作成する
OneNote 2016	電子ノートブック機能

#### ◆Office Home & Business Premium モデル

アプリケーション	機能
Word 2016	文章を作成する HTML を作成する
Excel 2016	表計算をする
Outlook 2016	予定やスケジュールを管理する 住所録を作る ファイルを管理する 電子メールを送受信する
PowerPoint 2016	プレゼンテーションや企画書を作成する
OneNote 2016	電子ノートブック機能

#### ◆Web カメラ搭載モデル

アプリケーション	機能
YouCam 5 BE※1	Web カメラを利用して省電力動作へ移行させたり、コンピュータを監視カメラとして使用する

※1 機能の詳細、使用方法については「本機の機能」の「Web カメラ」 - 「Web カメラについて (P. 122)」をご覧ください。

#### ◆DVD-ROM ドライブモデル

アプリケーション	機能
CyberLink PowerDVD	DVD を再生する

#### ◆DVD スーパーマルチドライブモデル

アプリケーション	機能
CyberLink PowerDVD	DVD を再生する
CyberLink Power2Go	CD-R などにデータを保存する
CyberLink PowerBackup	ファイルをバックアップする

# アプリケーションのインストール

[060200-21]

本機にインストール、または添付されているアプリケーションをインストールする場合の手順を説明します。



## チェック

- アプリケーションのインストールは、必ず管理者（ユーザー名は半角英数字）でサインインして行ってください。
- アプリケーションをインストールする前にマカフィーリブセーフをインストールし、その後更新してください。  
更新の方法については「マカフィー リブセーフ」－「使用上の注意」の「[アップデートについて \(P. 250\)](#)」をご参照ください。  
マカフィー リブセーフが最新の状態になるまで、添付ディスクの他のアプリケーションをインストールしないでください。
- インストールしたいアプリケーションが複数表示されている場合は、お使いのモデルに当てはまるものを選択してください。
- 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、表示された内容をよく確認し、操作を行ってください。
- 再セットアップ、PC リセットおよび PC リフレッシュの後に続けてアプリケーションのインストールを行う場合は必ず Windows の再起動後に行ってください。
- 光学ドライブが添付されていないモデルをお使いの場合は、別売の光学ドライブが必要です。
- アプリケーションの修復インストールはできません。  
いったんアンインストールしてから、インストールし直してください。
- 「管理者」とは Administrator 権限を持つユーザーを指し、コンピュータの全体的な構成を管理することができます。  
ユーザーアカウントに関する詳細については Windows のヘルプをご覧ください。
- 光学ドライブを D ドライブとした場合の手順を説明します。  
必要に応じて読み替えてください。

アプリケーションによってインストール方法は異なります。

アプリケーション	インストール方法
マカフィー リブセーフ	工場出荷状態ではインストールされていません。「C:¥MAVP¥McAfeeLS ¥Install.exe」をダブルクリックすることで簡単にインストールできます。 購入した「再セットアップ用メディア」を使用して本機を再セットアップした場合は、SSD にインストーラーは格納されません。再セットアップ時のインストール方法は「 <a href="#">「Nxsetup.exe」を使ってインストールする (P. 215)</a> 」をご確認ください。
ECO モード設定ツール ピークシフト設定ツール	工場出荷状態でインストールされています。改めてインストールする場合は「 <a href="#">「Nxsetup.exe」を使ってインストールする (P. 215)</a> 」をご確認ください。
Access Connections DeviceLock Lite※1	工場出荷状態ではインストールされていません。インストール方法は「 <a href="#">「Nxsetup.exe」を使ってインストールする (P. 215)</a> 」をご確認ください。

フリック入力補助ツール 拡張ディスプレイ操作ツール	
パーティション設定ツール CyberLink PowerDVD CyberLink PowerBackup	工場出荷状態ではインストールされていません。インストール方法は「 <a href="#">アプリケーションのディスクからインストールする (P. 216)</a> 」をご確認ください。
CyberLink Power2Go	工場出荷状態でインストールされています。インストールは不要です。改めてインストールする場合は「 <a href="#">アプリケーションのディスクからインストールする (P. 216)</a> 」をご確認ください。
HD 革命/Eraser Ark シュレッダー	工場出荷状態ではインストールされていません。「C:¥MAVP¥ArkShredder ¥ArkShredder5043R5Setup.exe」をダブルクリックすることで簡単にインストールできます。 購入した「再セットアップ用メディア」を使用して本機を再セットアップした場合は、SSD にインストーラーは格納されません。再セットアップ時のインストール方法は「 <a href="#">アプリケーションのディスクからインストールする (P. 216)</a> 」をご確認ください。
Acrobat Reader DC	工場出荷状態ではインストールされていません。「C:¥MAVP ¥AdobeAcrobatReaderDC¥setup.exe」をダブルクリックすることで簡単にインストールできます。 アプリケーションディスクをご利用になる場合は、「 <a href="#">アプリケーションのディスクからインストールする (P. 216)</a> 」をご確認ください。
NASCA	工場出荷状態ではインストールされていません。インストールについては「アプリケーションディスク」の「NASCA <sup>※3</sup> 」フォルダの「NASCA User's Guide.chm」をご覧ください。

※1 インストールおよび使用するときは、事前に BIOS セットアップユーティリティの「Secure Boot」を「Disabled」にしてください。

※3 アプリケーションディスクによっては、タイプ名が表示されている場合があります。その場合は、ご使用のタイプ名のフォルダを選択してください。

## 「Nxsetup.exe」を使ってインストールする

### 1 Windows を起動する

### 2 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする

### 3 「スタート」ボタン ( ) をクリック

### 4 「Windows システム ツール」をクリック

### 5 「ファイル名を指定して実行」をクリック

### 6 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥Nxsetup.exe

### 7 インストールしたいアプリケーションを選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

## 8 インストールが完了したら、Windows を再起動する

## 9 Windows を再起動後、光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出す

以上でインストールは完了です。

## アプリケーションのディスクからインストールする

インストールしたいアプリケーションによって、使用するディスク、フォルダ名、「名前」に入力するパスが異なります。

アプリケーション	ディスク	フォルダ名	入カパス
Acrobat Reader DC	アプリケーションディスク	AdobeAcrobatReaderDC	D:¥AdobeAcrobatReaderDC¥setup.exe
パーティション設定ツール	アプリケーションディスク	NECWinPartition	D:¥NECWinPartition¥setup.exe
HD 革命/Eraser Ark シュレッダー	アプリケーションディスク	ArkShredder	D:¥ArkShredder¥ArkShredder5043R5Setup.exe
CyberLink PowerDVD	CyberLink PowerDVD ディスク	POWERDVD(Win10)	D:¥POWERDVD(Win10)¥setup.exe
CyberLink Power2Go	CyberLink Power2Go ディスク	Power2Go	D:¥Power2Go¥Setup.exe
CyberLink PowerBackup	CyberLink PowerBackup ディスク	PowerBackup	D:¥PowerBackup¥setup.exe

## 1 Windows を起動する

## 2 光学ドライブにディスクをセットする

## 3 「スタート」ボタン ( ) をクリック

## 4 「Windows システム ツール」をクリック

## 5 「ファイル名を指定して実行」をクリック

## 6 「名前」にパスを入力し、「OK」ボタンをクリック

パスは上記表の「入カパス」をご覧ください。



これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

---

## **7** インストールが完了したら、光学ドライブからディスクを取り出し、Windows を再起動する

---

以上でインストールは完了です。

# アプリケーションのアンインストール

[060300-21]

本機にインストールされているアプリケーションまたは購入後にインストールされた本機添付のアプリケーションのアンインストールの手順を説明します。アプリケーションには「デスクトップアプリ」と「Windows ストアアプリ」があり、アンインストール方法が異なります。

ご自分でインストールされた別売のアプリケーションのアンインストールについては、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。



## チェック

- アプリケーションのアンインストールは、必ず管理者（ユーザー名は半角英数字）でサインインして行ってください。
- 「コントロール パネル」の「プログラムのアンインストール」で、アプリケーションを選択して「アンインストール」、または「アンインストールと変更」をクリックした後は、中断してもそのままではアプリケーションを使用できない場合があります。  
その際には Windows を再起動後、アプリケーションを使用してください。
- アプリケーションをアンインストールした後に、システムの復元機能でアンインストール前の状態に復元しても、復元されたアプリケーションは正常に動作しない場合があります。  
また、復元されたアプリケーションを「コントロール パネル」の「プログラムのアンインストール」からアンインストールしても、アンインストールできない場合があります。  
その場合は、そのアプリケーションのマニュアルをご覧になり、インストールの操作を行ってください。  
復元の状況によって、インストールもしくはアンインストールが開始されます。  
アンインストールが開始されたら、画面の指示に従い、アンインストールを行ってください。  
インストールが開始されたら、画面の指示に従ってインストールを行い、インストール完了後にマニュアルをご覧になり、アンインストールを行ってください。
- アプリケーションのアンインストール中に、すでにアンインストールされている旨のメッセージが表示されることがあります。その場合でも正常にアンインストールは完了しており、動作に影響はありません。
- NASCA をアンインストールする場合は「アプリケーションディスク」の「NASCA<sup>※</sup>」フォルダの「NASCA User's Guide.chm」をご覧ください。  
※アプリケーションディスクによっては、タイプ名が表示されている場合があります。その場合は、ご使用のタイプ名のフォルダを選択してください

## 「設定」からアンインストールする

「設定」からアンインストールできます。アプリケーション一覧の表示方法を変更できるため、目的のアプリをすばやく見つけることができます。デスクトップアプリと Windows ストアアプリの両方をアンインストールできます。次の手順で行います。

**1** 「設定 (P. 11)」を表示する

**2** 左上の「システム」をクリック

**3** 「アプリと機能」をクリック

**4** 一覧から、アンインストールしたいアプリケーションをクリック

**5** 「アンインストール」をクリック

**6** 画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作を進める

以上でアンインストールは完了です。

## スタートメニューのアプリ一覧からアンインストールする

スタートメニューのアプリ一覧からアンインストールできます。デスクトップアプリと Windows ストアアプリの両方をアンインストールできます。

次の手順で行います。

**1** 「スタート」ボタン (  ) をクリック

**2** アプリ一覧から、アンインストールしたいアプリケーションを右クリックし、表示されたメニューから「アンインストール」をクリック

**3** 画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作を進める

以上でアンインストールは完了です。

## スタートメニューのタイルからアンインストールする

スタートメニューのタイルに表示されているアプリケーションをアンインストールできます。

次の手順で行います。



### メモ

スタートメニューのタイルにピン止めしているデスクトップアプリもアンインストールできます。

**1** 「スタート」ボタン (  ) をクリック

**2** スタートメニューのタイルから、アンインストールしたいアプリケーションを右クリックし、表示されたメニューから「アンインストール」をクリック

**3** 画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作を進める

以上でアンインストールは完了です。

## コントロール パネルからアンインストールする

コントロール パネルからアンインストールできます。デスクトップアプリのみアンインストールできます。次の手順で行います。

- 1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する
- 2 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック
- 3 一覧から、アンインストールしたいアプリケーションをクリック
- 4 「アンインストール」、「変更」、「アンインストールと変更」のいずれかをクリック



### メモ

アプリケーションによってクリックするボタン名が異なります。必要に応じて読み替えてください。

- 5 画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作を進める

以上でアンインストールは完了です。

# Office Home & Business 2016

[063600-01]

概要	221
初回起動手順	221
使用上の注意	222
インストール	222
アンインストール	223

## 概要

Word 2016、Excel 2016、Outlook 2016、PowerPoint 2016、OneNote 2016 が同梱されています。  
機能の詳細や操作方法、最新情報については、以下をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法

各 Office アプリケーションのヘルプ

### ●Office Home & Business 2016 の最新の情報

<http://office.microsoft.com/ja-jp/>



#### チェック

Web サイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

## 初回起動手順

初回起動によりライセンス認証を完了させる必要があります。  
以下の初回起動手順を行ってください。



#### チェック

- ライセンス認証が完了していない場合、アプリ起動時に認証画面が表示されます。初回起動した日から 5 日間試用することができます。5 日間を経過すると機能が制限され、認証が完了するまで閲覧専用となります。
- ライセンス認証が完了すると、ほかの Office アプリで再度行う必要はありません。
- 初回起動手順は、マイクロソフト社によるアップデートなどで変更される場合があります。その場合は、画面の手順に従って入力してください。

**1** スタートメニューから Word2016、Excel2016 など Office アプリのいずれかをクリック

**2** 「開始する」画面が表示されたら、「ライセンス認証」をクリック

**3** プロダクトキーの入力とサインインの選択画面で、「プロダクト キーの入力」をクリック

**4** 「プロダクト キーを入力してください」と表示されたら、プロダクトキーを入力し、「インストール」をクリック



**チェック**

プロダクト キーは Office カード自体に記載されています。

ライセンス認証が正常に完了すると、「Office 2016 へようこそ」画面が表示されます。

**5** 「最初に行う設定です。」と表示されたら、「同意する」をクリック

「使用許諾契約書」の内容を確認後、「OK」ボタンをクリックし、また「同意する」をクリックしてください。

**6** 「Office 2016 へようこそ」画面に戻り、「XXXX (Office アプリ名) の使用を開始」をクリック

Office アプリの画面に戻ります。

以上で初回起動手順は終了です。

## ■ 使用上の注意

### Microsoft® Update について

Office の安定性と安全性を向上させるための更新プログラムが提供されています。

Office を最新の状態に保つために、Microsoft® Update を定期的 to 実施してください。



**チェック**

- Microsoft® Update を行うにはインターネットに接続できる環境が必要です。
- Microsoft® Update は必ず Office の「初回起動手順 (P. 221)」を済ませてから実施してください。

## ■ インストール



**チェック**

インストールを行うには、インターネットへの接続環境が必要となります。

インストールする場合は、「アプリケーションのインストール (P. 214)」を参照してください。

## ■ アンインストール

アンインストールする場合は、「[アプリケーションのアンインストール \(P. 218\)](#)」を参照してください。

# Office Home & Business Premium

[060700-01]

概要	224
初回起動手順	224
使用上の注意	225
インストール	226
アンインストール	226

## 概要

Word 2016、Excel 2016、Outlook 2016、PowerPoint 2016、OneNote 2016 が同梱されています。  
機能の詳細や操作方法、最新情報については、以下をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法

各 Office アプリケーションのヘルプ

### ●Office Home & Business Premium の最新の情報

<http://office.microsoft.com/ja-jp/>



#### チェック

Web サイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

## 初回起動手順

初回起動によりライセンス認証を完了させる必要があります。  
以下の初回起動手順を行ってください。



#### チェック

- ライセンス認証が完了していない場合、アプリ起動時に認証画面が表示されます。初回起動した日から 5 日間試用することができます。5 日間を経過すると機能が制限され、認証が完了するまで閲覧専用となります。
- ライセンス認証をするには、インターネットへの接続と Microsoft アカウントが必要です。
- ライセンス認証が完了すると、ほかの Office アプリで再度行う必要はありません。
- 初回起動手順は、マイクロソフト社によるアップデートなどで変更される場合があります。その場合は、画面の手順に従って入力してください。

## 1 スタートメニューから Word2016、Excel2016 など Office アプリのいずれかをクリック



**2** 「こんにちは。始める前に…」と表示されたら、「はじめに」をクリック

**3** 「プロダクト キーの入力」画面でプロダクトキーを入力し、「次へ」をクリック



**チェック**

プロダクト キーは Office カード自体に記載されています。

**4** 「Microsoft アカウントでサインイン」画面が表示されたら、「サインイン」をクリック

**5** 「サインイン」画面で、Microsoft アカウントとパスワードを入力し、「サインイン」をクリック

**6** 「最新情報をお知らせします」画面が表示されたら、情報を受け取るかどうかを選択し、「次へ」をクリック

ライセンス認証が完了すると、「Office 2016 へようこそ」の画面が表示されます。

**7** 「最初に行う設定です。」画面が表示されたら、「同意する」をクリック

「使用許諾契約書」の内容を確認後、「OK」ボタンをクリックし、また「同意する」をクリックしてください。

**8** 「Office 2016 へようこそ」画面に戻り、「XXXX (Office アプリ名) の使用を開始」をクリック

Office アプリの画面に戻ります。

以上で初回起動手順は終了です。

## ■ 使用上の注意

### Microsoft® Update について

Office の安定性と安全性を向上させるための更新プログラムが提供されています。

Office を最新の状態に保つために、Microsoft® Update を定期的 to 実施してください。



**チェック**

- Microsoft® Update を行うにはインターネットに接続できる環境が必要です。
- Microsoft® Update は必ず Office の「初回起動手順 (P. 224)」を済ませてから実施してください。

## ■ インストール



### チェック

インストールを行うには、インターネットへの接続環境が必要となります。

インストールする場合は、「[アプリケーションのインストール \(P. 214\)](#)」を参照してください。

## ■ アンインストール

アンインストールする場合は、「[アプリケーションのアンインストール \(P. 218\)](#)」を参照してください。

# Access Connections

[061100-21]

概要	227
使用上の注意	228
Access Connections での無線 LAN の設定と接続	229
Access Connections での有線 LAN の設定と接続	
インストール	230
アンインストール	230

## 概要

Access Connections はネットワークの設定、接続、切り替えおよびロケーション・プロファイルのインポートとエクスポートができます。


機能の詳細や操作方法、最新情報については、以下をご覧ください。



### メモ

Windows 標準の無線 LAN 機能を使用して無線 LAN のオン/オフや設定、接続をする場合は、「本機の機能」の「無線 LAN 機能 (P. 155)」をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法

Access Connections のヘルプ (Access Connections を起動し、 ボタンをクリック→「Access Connections ヘルプ」をクリック)



### チェック

ヘルプに記載されている機能は、実際に利用できる機能と多少異なる場合があります。

## 起動方法

1 「スタート」ボタン () をクリック

2 「Access Connections」をクリック

Access Connections のメインウィンドウが表示されます。



## チェック

Access Connections は複数のユーザーで同時に使用することはできません。

複数のユーザーがログオンしている環境で他のユーザーが Access Connections のメインウィンドウを起動すると「Access Connections は、別のユーザーによって使用されています。別のユーザーをログオフし、もう一度実行してください。」と表示され、Access Connections を使用することができません。

ユーザーの切り替えを行う場合、Access Connections のメインウィンドウを閉じてからユーザーを切り替えてください。

## 使用上の注意

- 本アプリケーションを使用する前に、「本機の機能」の「無線 LAN 機能」に記載している以下の内容をあわせてご覧ください。

- ▶ 概要..... 156
- ▶ 本機を安全にネットワークに接続するために..... 158
- ▶ 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意..... 160
- ▶ 使用上の注意..... 162

- ネットワークの切断について  
ネットワークの切断を行うと無線 LAN 機能が自動的にオフに変更されます。無線 LAN 機能がオフになった場合、下記の手順で無線 LAN 機能をオンにしてください。

### 1 タスク バーの通知領域にある アイコンをクリック

### 2 Wi-Fi のタイルをクリック

- カスタムテキストサイズの設定について  
カスタムテキストサイズの設定 (DPI) を推奨値以上に変更した場合、Access Connections が画面からはみ出る場合があります。その場合は、カスタムテキストサイズの設定 (DPI) を推奨値に変更してご使用ください。

### 1 「アクションセンター (P. 17)」を表示する

### 2 「すべての設定」をクリック

### 3 「システム」をクリック

### 4 「ディスプレイ」をクリック

### 5 「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」にあるスライダーを左に動かし、推奨値にする

### 6 「一部のアプリは、サインアウトするまで、拡大縮小の設定に応答しません。」と表示されたら、「今すぐサインアウトする」をクリック

Windows からサインアウトします。  
サインイン画面が表示されたら、サインインしなおしてください。

## Access Connections での無線 LAN の設定と接続

### 無線 LAN の設定をする

#### 1 無線 LAN 機能がオンになっていることを確認する

#### 2 「スタート」ボタン ( ) をクリック

#### 3 「Access Connections」をクリック

#### 4 「インターネットに接続」タブをクリック

ネットワーク名 (SSID) の一覧が表示されます。

#### 5 接続する無線 LAN アクセスポイントのネットワーク名 (SSID) をクリック



##### チェック

- 選択した無線 LAN アクセスポイントに間違いがないか、ネットワーク名 (SSID) を確認してください。
- ネットワーク名 (SSID) の一覧に接続するネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、「再検索」ボタンをクリックしてください。それでもネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、無線 LAN アクセスポイントがネットワーク名 (SSID) を通知しない設定になっている場合があります。無線 LAN アクセスポイントの設定を確認し、「Access Connections ヘルプ」をご覧ください。無線 LAN アクセスポイントの設定を確認し、「Access Connections ヘルプ」をご覧ください。


#### 6 「接続」ボタンをクリック

#### 7 「ネットワークにはネットワーク・キーが必要です。」と表示されたら、「パスワード」を入力して「接続」ボタンをクリック

#### 8 「この接続をロケーションの1つとして保存しますか？」と表示されたら、「ロケーション名」を入力して「保存」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

## 設定済みの接続先に接続する

- 1 無線 LAN 機能がオンになっていることを確認する
- 2 「スタート」ボタン (  ) をクリック
- 3 「Access Connections」をクリック
- 4 「ロケーション」にある接続先から接続するロケーション プロファイルを選択し、「接続」ボタンをクリック

以上で接続は完了です。

## インストール

インストールする場合は、「[アプリケーションのインストール \(P. 214\)](#)」を参照してください。

## アンインストール

アンインストールする場合は、「[アプリケーションのアンインストール \(P. 218\)](#)」を参照してください。



### チェック

- 「ユーザー アカウント制御」画面にある「発行元」が「不明」と表示されますが問題ありません。
- アンインストール中に「システムの実行中に更新できないファイルまたはサービスを、セットアップで更新する必要があります。続行する場合は、セットアップを完了するために再起動が必要となります。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。
- アンインストール中に「Access Connections プロファイルを続けてご利用になりますか？」と表示されたら、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

# DeviceLock Lite

[061200-21]

▶ 概要.....	231
▶ 使用上の注意.....	231
▶ インストール.....	232
▶ アンインストール.....	232

## 概要

DeviceLock Lite (以下、DeviceLock) は、外部デバイスへのデータ漏えいを防止する情報漏えい対策ソフトウェアです。機能の詳細や操作方法、制限事項については、以下をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法、制限事項

DeviceLock User Manual (「アプリケーションディスク」内の「DeviceLock¥DeviceLock User Manual.chm」)

## 使用上の注意

### CyberLink Power2Go と同時に使用する場合の注意

DeviceLock で書き込みを制限していると、CyberLink Power2Go を使用してメディアへ書き込みやファイルバックアップはできません。

メディアへ書き込みやファイルバックアップを行う場合は、DeviceLock で光学ドライブを機器単位で有効に設定するか、書き込み制限を解除してください。

### CyberLink PowerDVD と同時に使用する場合の注意

バッテリー駆動中に、CyberLink PowerDVD を使用して DVD を再生する場合は、CyberLink PowerDVD の電源設定を変更する必要があります。

設定方法については、「CyberLink PowerDVD」の「使用上の注意 (P. 239)」をご覧ください。

### Bluetooth の制御をする場合の注意

Bluetooth の制御機能は、マウス、キーボードのみ使用禁止にできます。

携帯電話等とのファイル送受信については使用禁止にできません。

### 各種デバイス接続時の注意

DeviceLock の制御機能は、接続したデバイスを監視するため、通常の接続よりも認識に時間がかかる場合があります。

## インストール



### チェック

インストールおよび使用するときは、事前に BIOS セットアップユーティリティの「Secure Boot」を「Disabled」にしてください。BIOS セットアップユーティリティの設定手順については、『システム設定』を参照してください。



### 参照

- **BIOS セットアップユーティリティについて**  
『システム設定』の「システム設定」 - 「BIOS セットアップユーティリティについて」
- **「Secure Boot」の設定について**  
『システム設定』の「システム設定」 - 「設定項目一覧」 - 「Security」メニュー

インストールする場合は、「[アプリケーションのインストール \(P. 214\)](#)」を参照してください。

## アンインストール

アンインストールする場合は、「[アプリケーションのアンインストール \(P. 218\)](#)」を参照してください。



# Acrobat Reader DC

[061300-01]

概要	233
使用上の注意	234
インストール	234
アンインストール	234

## 概要

Acrobat Reader DC は PDF (Portable Document Format) 形式のマニュアルの表示、閲覧、印刷を行うことができるビューアです。

機能の詳細、操作方法、および最新情報については、以下をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法

ヘルプ (Acrobat Reader DC を起動し、「ヘルプ」→「オンラインサポート」をクリック)



#### チェック

ヘルプを参照するにはインターネットに接続できる環境が必要です。

### ●Acrobat Reader DC の最新の情報

<http://www.adobe.com/jp/index.html>



#### チェック

Web サイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

## 起動方法

1 「スタート」ボタン (  ) をクリック

2 「Acrobat Reader DC」をクリック



#### チェック

インストール後、初めてお使いになる場合は、起動時に「Adobe Acrobat Reader DC - パーソナルコンピュータでの使用に関する配布の使用許諾契約」画面が表示されます。内容を確認し「同意する」ボタンをクリックしてください。

Acrobat Reader DC の主な機能を紹介する画面が表示されたら、それぞれ画面の内容を確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

「外出先でも。」画面で「完了」ボタンをクリックしてください。

Acrobat Reader DC の画面が表示されます。

## ■ 使用上の注意

- マルチランゲージには対応していません。
- Windows 10 では PDF 形式のファイルを表示するビューアが標準に搭載されております。Acrobat Reader DC を使用して PDF 形式のファイルを表示する場合は下記の手順を行ってください。

### 1 PDF 形式のファイルを右クリック

---

### 2 「プログラムから開く」をクリックして「Adobe Acrobat Reader DC」をクリック

---

## ■ インストール

インストールする場合は、「[アプリケーションのインストール \(P. 214\)](#)」を参照してください。

## ■ アンインストール

アンインストールする場合は、「[アプリケーションのアンインストール \(P. 218\)](#)」を参照してください。

# ECO モード設定ツール

[061400-21]

概要	235
インストール	235
アンインストール	235

## 概要

【Fn】 + 【F4】、または設定したホットキーで簡単にモード（電源プラン）を切り替えることができます。機能の詳細、操作方法については、以下をご覧ください。



### 参照

#### 機能の詳細、操作方法について

「本機の機能」の「省電力機能」 - 「ECO モード機能 (P. 49)」

## 設定方法

**1** 「スタート」ボタン (  ) をクリック

**2** 「ECO モード設定ツール」をクリック

**3** 「ECO モード設定ツール」をクリック

ECO モード設定ツールの設定画面が表示されます。

## インストール

インストールする場合は、「アプリケーションのインストール (P. 214)」を参照してください。

## アンインストール

アンインストールする場合は、「アプリケーションのアンインストール (P. 218)」を参照してください。



### チェック

アンインストール中に「インストールを続行するには、次のアプリケーションを終了する必要があります」と表示された場合は、「セットアップの完了後、アプリケーションを自動的に終了して、再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

# ピークシフト設定ツール

[061500-21]

概要	236
インストール	236
アンインストール	236

## 概要

電力需要がピークに達する時間帯の電力消費を、他の時間帯に移行することをピークシフトといいます。本機は、「ピークシフト設定ツール」で設定を行うことで「ピークシフト機能」を使用できます。機能の詳細や使用上の注意、操作方法については、以下をご覧ください。



### 参照

機能の詳細や使用上の注意、操作方法について

「本機の機能」の「省電力機能」 - 「ピークシフト機能 (P. 53)」

## 設定方法

1 「スタート」ボタン (  ) をクリック

2 「ピークシフト設定ツール」をクリック

3 「ピークシフト設定ツール」をクリック

ピークシフト設定ツールの設定画面が表示されます。

## インストール

インストールする場合は、「アプリケーションのインストール (P. 214)」を参照してください。

## アンインストール

アンインストールする場合は、「アプリケーションのアンインストール (P. 218)」を参照してください。



### チェック

アンインストール中に「インストールを続行するには、次のアプリケーションを終了する必要があります」と表示された場合は、「セットアップの完了後、アプリケーションを自動的に終了して、再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

概要	237
使用上の注意	238
インストール	238
アンインストール	238

## 概要

### Power2Go の主な機能

CyberLink Power2Go は、すべてのドライブおよびディスク (CD、DVD など) に対応する PC 向けのオール メディアライティング ソフトです。

CyberLink Power2Go を使うと、データ ディスクやミュージック ディスクなどの作成、書き込みができます。ディスクユーティリティを使ってディスクを消去、コピーすることもできます。

### 対応するファイル タイプ

データ ディスク (あらゆるファイル タイプが書き込み可能なもの) を除き、音楽、動画、画像ディスクの作成時にインポート可能なファイル形式は次の通りです。

- **音声形式:**MP3、M4A、WAV、WMA
- **動画形式:**ASF、AVI、DAT、DVR-MS、M2T、M2TS、MOV、MOD、MP4、MPE、MPEG、MPG、MTS、TS、TOD、VOB、VRO、WMV、WTV

### 対応するディスク タイプ

Power2Go は次のディスク タイプの書き込みに対応しています。

- **CD:**CD-R/RW
- **DVD:**DVD-R/RW、DVD-R/RW DL、DVD+R/RW、DVD+R/RW DL、DVD-RAM


#### ●機能の詳細や操作方法

#### ● Power2Go のヘルプ

**1** 「CyberLink Power2Go 8」を起動する

**2** ホーム画面の右上にある **?** をクリックする

### 起動方法

**1** 「スタート」ボタン (  ) をクリック

## 2 「CyberLink Power2Go 8」をクリック

## 3 「CyberLink Power2Go 8」をクリック

Power2Go の画面が表示されます。

### ■ 使用上の注意

- データ ディスクを書き込む際に、コンテンツが追記可能なマルチセッション ディスクを作成することができます (ディスクに空き容量がある場合)。CD、DVD への書き込みで、マルチセッション ディスクを作成することができます (追記禁止を選択していない場合)。
- マルチセッション ディスクでは、ディスク容量が上限に達するか、追記禁止を選択するまで、コンテンツを何度も追記することができます。
- 媒体に傷が付いていたり、誤ってデータを削除してしまうと、データの復旧ができません。重要なデータは必ずバックアップを取るよう to してください。
- 書き込みまたはフォーマットを行っている際に表示される進捗状況バー、および推定残り時間は、実際の処理と合わない場合がありますが動作に影響はありません。

### ■ インストール



#### チェック

パソコンの状態によっては、インストール後に Windows を再起動するまでアプリケーションが使用できない場合があります。

その場合は、Windows を再起動してからアプリケーションを起動してください。

インストールする場合は、「[アプリケーションのインストール \(P. 214\)](#)」を参照してください。

### ■ アンインストール

アンインストールする場合は、「[アプリケーションのアンインストール \(P. 218\)](#)」を参照してください。

概要	239
使用上の注意	239
インストール	242
アンインストール	242

## 概要

DVD を再生することができます。  
機能の詳細、操作方法については、以下をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法

「CyberLink PowerDVD」のヘルプ（画面右上の「？」ボタンをクリックすることで開くことができます）



#### チェック

- CyberLink PowerDVD では音楽 CD、ビデオ CD、および DVD-Audio の再生はサポートしていません。
- 本機では、リージョンコード（国別地域番号）が「ALL」または「2」が含まれている DVD のみ再生することができます。
- お使いのモデルによっては CyberLink PowerDVD は添付されていない場合があります。「アプリケーションの種類と機能 (P. 212)」をご覧ください。

## 起動方法

1 「スタート」ボタン (  ) をクリック

2 「CyberLink PowerDVD」をクリック

3 「CyberLink PowerDVD」をクリック

CyberLink PowerDVD 画面が表示されます。

## 使用上の注意

- CyberLink PowerDVD の起動中は、次のことに注意してください。
  - 他のソフトを起動しないでください。コマ落ちが発生する場合があります。
  - ソフトによっては（同じように映像を表示するタイプのソフトなど）、他のソフトが起動できないことがあります。
  - 再生中は省電力状態（スリープや休止状態）へ移行しないようになっています。電源スイッチやスタートメニューなどを使って強制的にスリープや休止状態にしないでください。

- CyberLink PowerDVD を起動中に解像度/表示色/表示するディスプレイ/デュアルディスプレイ環境時のモニタ位置の変更など、おこなわないでください。
- デュアルディスプレイ機能を使っているときにディスクを再生すると、プライマリに設定されているデバイスのみに表示される場合があります。
- HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) 規格に対応していない外部ディスプレイでは、著作権保護された映像をデジタル出力できません。
- 画面回転機能使用時、画面の向きが 90 度と 270 度での再生はサポートしていません。
- スナップ機能をご利用の場合、デスクトップ画面のサイズによっては、PowerDVD の一部の機能が使用できない場合があります。PowerDVD をご使用になる場合は、デスクトップを全画面表示にしてください。
- 電源プランを「ECO」にすると、CyberLink PowerDVD は正常に動作しない可能性があります。その場合は電源プランを「標準」に変更してください。
- お使いの外部ディスプレイによっては、PowerDVD のフルスクリーン表示時に再生画面が画面サイズに収まりきらなかったり、画面サイズより小さく表示される場合があります。このような場合は、次の手順でディスプレイの設定を変更してください。

## 1 「アクションセンター (P. 17)」を表示する

## 2 「すべての設定」をクリック

## 3 「システム」をクリック

## 4 「ディスプレイ」をクリック

## 5 「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」にあるスライダーを左に動かし、推奨値にする

## 6 「一部のアプリは、サインアウトするまで、拡大縮小の設定に応答しません。」と表示されたら、「今すぐサインアウトする」をクリック

Windows からサインアウトします。

サインイン画面が表示されたら、サインインしなおしてください。

- DVD 再生開始時や DVD ディスク内タイトルの切り替え時に時間がかかることがあります。
- ビットレートの高い映像では、スムーズな再生品質を得られない場合があります。
- DVD コンテンツの作り方により、メニュー等でマウス選択できない場合があります。
- DVD タイトルの中には、DVD 再生用アプリケーションを含んだものがありますが、インストールする必要はありません。
- ディスク再生時に AC アダプタを接続した状態で使用することをおすすめします。
- CyberLink PowerDVD でディスクが認識しない場合は、次のような原因が考えられます。

### <ディスクの確認>

- 記録面に傷や指紋などの汚れがついている  
ディスクに傷が付いていると、使用できない場合があります。  
また、汚れている場合は、乾いたやわらかい布で内側から外側に向かって拭いてから使用してください。



- ディスクが光学ドライブに正しくセットされていない  
セットされているディスクの表裏を確認して、光学ドライブのディスクトレイの中心に、きちんとセットしてください。
- 書き込みに失敗したディスク  
書き込みに失敗したディスクは読み込めない場合があります。
- ファイナライズされていないディスク  
デジタルビデオカメラや、ライティングソフトで作成した場合、ファイナライズを行わないと、光学ドライブで読めない場合があります。
- 映像データファイルを記録したディスク  
CyberLink PowerDVD はファイル再生には対応しておりません。  
他の映像再生アプリケーション（Windows Media Player など）をご利用ください（その場合には、他社・コミュニティなどが用意するコーデックが必要になることがあります）。
- ディスクの劣化  
記録ディスクの品質により、経年劣化、光劣化などを起こすことがあります。  
ディスクを交換して試してみてください。

#### <ディスクの規格の確認>

AVCREC、AVCHD、ブルーレイディスクを再生させようとした可能性があります。  
本機で使用できるディスクの規格を確認してください。

- AVCREC 規格で記録された DVD  
著作権保護付きで、DVD 媒体にハイビジョン画質のデータを記録するための規格
- AVCHD 規格で記録された DVD  
ハイビジョン映像を撮影・録画するデジタルビデオカメラの規格



#### 参照

#### 本機で使用できるディスク

「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。  
<http://121ware.com/support/>

#### <光学ドライブの確認>

- 光学ドライブの読み取りレンズが汚れているため読み取り不良になる。  
ほこりや油膜などによりレンズが汚れていると、読み込みに失敗したり、読み込み時間が長くなったりすることがあります。  
レンズクリーナーでレンズをクリーニングしてください。
- 光学ドライブが、使用可能ハードウェアとして認識されていない。  
BIOS セットアップユーティリティの I/O 制限、DeviceLock は周辺機器の使用を制限することができます。  
光学ドライブを使用不可に設定していないか確認してください。
- VGA 変換アダプタを使用して外部ディスプレイに接続した環境では、著作権保護されたコンテンツの再生はサポートしていません。

- DeviceLock Lite をインストールしている環境でバッテリー駆動中に PowerDVD で DVD 再生を行う場合、PowerDVD の設定変更が必要です。

以下の手順で PowerDVD の設定変更をおこなってください。

## 1 光学ドライブにディスクがセットされている場合、ディスクを取り出す

## 2 「CyberLink PowerDVD」を起動する

## 3 PowerDVD の画面下部にある をクリック

## 4 「モバイル電源設定」をクリック

## 5 「電源設定」で「パフォーマンス優先」を選び、「OK」をクリック



### チェック

PowerDVD のバージョンによっては、「電源設定」がない場合があります。  
その場合は設定を変更する必要はありません。

## インストール

インストールする場合は、「[アプリケーションのインストール \(P. 214\)](#)」を参照してください。

## アンインストール

アンインストールする場合は、「[アプリケーションのアンインストール \(P. 218\)](#)」を参照してください。



### チェック

アンインストール中に「CyberLink PowerDVD の個人設定を保持しますか？」と表示されたら、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

概要	243
使用上の注意	244
インストール	244
アンインストール	244

## 概要

CyberLink PowerBackup は、ローカルディスクにあるデータを DVD 等の外部メディアにバックアップできるバックアップ ソフトウェアです。

## PowerBackup の主な機能

- バックアップ、リストアおよび比較機能
- 完全 (すべて)、増分および差分バックアップ
- バックアップ間隔スケジュールの設定 (1 回、毎日、毎週、毎月)
- 複数ボリューム バックアップ
- CD-R/-RW、DVD-R/-RW、DVD+R/+RW、DVD-R DL/+R DL および DVD-RAM ディスク タイプのサポート
- すでにファイルが含まれているディスクなど、あらゆるディスク サイズに合わせて自動調整
- ハード ディスク、USB、MO ドライブのサポート
- データ圧縮
- パスワード保護
- 特定の拡張子のファイルにフィルターを適用するため、フィルター リストを作成
- ファイルの検索
- バックアップ ファイルの名前を指定

### ●機能の詳細や操作方法

- PowerBackup のヘルプ

**1** 「CyberLink PowerBackup 2.6」を起動する

**2** 「ヘルプ」メニューの「ヘルプ」をクリック

## 起動方法

**1** 「スタート」ボタン (  ) をクリック

**2** 「CyberLink PowerBackup 2.6」をクリック

### 3 「CyberLink PowerBackup 2.6」をクリック

PowerBackup の画面が表示されます。

---

#### ■ 使用上の注意

- ヘルプは多重起動できます。
- ネットワークに接続していない状態で、アップグレードボタンを押しても反応しません。

#### ■ インストール

インストールする場合は、「[アプリケーションのインストール \(P. 214\)](#)」を参照してください。

#### ■ アンインストール

アンインストールする場合は、「[アプリケーションのアンインストール \(P. 218\)](#)」を参照してください。

# 拡張ディスプレイ操作ツール

[062900-21]

概要	245
使用上の注意	245
インストール	246
アンインストール	246

## 概要

拡張ディスプレイ操作ツールは、アプリケーションを外部ディスプレイ側へ移動したり、操作したりできるツールです。

機能の詳細、操作方法、および最新情報については、以下をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法

デスクトップやエクスプローラから、外部ディスプレイへ移動したいアプリケーションやファイルのアイコンを、「拡張ディスプレイ操作ツール」のウィンドウへドラッグ&ドロップします。

アプリケーションが、外部ディスプレイ側に表示されます。

## 起動方法

1 「スタート」ボタン (  ) をクリック

2 「拡張ディスプレイ操作ツール」をクリック

3 「拡張ディスプレイ操作ツール」をクリック

## 使用上の注意

- 本ツールは、デスクトップ画面上で動作するアプリケーションです。Office や Internet Explorer、Windows Media Player、Adobe Reader などが対象です。使用するアプリケーションによっては正常に移動、操作できないものがあります。
- 評価版、試用期間の情報ダイアログが表示されるようなアプリケーションを外部ディスプレイに表示しようとする時、操作しているパソコンのディスプレイにダイアログ表示されます。このため、アプリケーションが外部ディスプレイに表示できないことがあります。あらかじめご注意ください。
- 本ツールを管理者として実行すると、ドラッグ&ドロップが動作しなくなるためランチャー機能は使えません。
- ツール内に表示される疑似タッチパッドを使うと、外部ディスプレイに移動したアプリケーション上でタッチ機能が利用できます。ただし、一部の操作は利用できないことがあります。
- 操作中は外部ディスプレイに表示されているマウスカーソルが点滅します。
- 本ツールを起動した後に、他の「常に最前面に表示される」アプリを起動すると、本ツールは背面に隠れて見えなくなります。本ツールを表示させる場合は起動したアプリの「最小化」ボタンを押して最小化するか、または「閉じる」ボタンを押して終了してください。

- 本ツールを起動したままユーザを切替えると操作できない場合があります。この場合はツールを再起動する必要があります。

## ■ インストール

インストールする場合は、「[アプリケーションのインストール \(P. 214\)](#)」を参照してください。

## ■ アンインストール

アンインストールする場合は、「[アプリケーションのアンインストール \(P. 218\)](#)」を参照してください。



### チェック

- アンインストール中に「システムの実行中に更新できないファイルまたはサービスを、セットアップで更新する必要があります。続行する場合は、セットアップを完了するために再起動が必要となります。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。
- アンインストールが完了したら、Windows を再起動してください。

# フリック入力補助ツール

[062800-21]

概要	247
使用上の注意	
インストール	248
アンインストール	248

## 概要

フリック入力補助ツールは、フリック機能を使ってコントロールキーや Windows キーを使ったショートカットキーイベントを操作するツールです。

また、「フリック入力補助ツール設定」で設定変更することによって、組み合わせ操作するキーを並び替えることができます。

機能の詳細、操作方法、および最新情報については、以下をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法

フリック入力補助ツールのヘルプ（「フリック入力補助ツール設定」を起動し、「ショートカットの割り当て」右にある「？」ボタンをクリック）

## 起動方法

### ●フリック入力補助ツールの起動

1 「スタート」ボタン (  ) をクリック

2 「フリック入力補助ツール」をクリック

3 「フリック入力補助ツール」をクリック

### ●「フリック入力補助ツール設定」の起動



#### チェック

「フリック入力補助ツール」をお使いになった上で、設定キーの変更が必要な場合に起動してください。  
設定キーはユーザアカウントごとに登録することができます。

1 「スタート」ボタン (  ) をクリック

2 「フリック入力補助ツール」をクリック

3 「フリック入力補助ツール設定」をクリック

「フリック入力補助ツール設定」の画面が表示されます。

## ■ インストール

インストールする場合は、「[アプリケーションのインストール \(P. 214\)](#)」を参照してください。

## ■ アンインストール

アンインストールする場合は、「[アプリケーションのアンインストール \(P. 218\)](#)」を参照してください。



### チェック

- アンインストール中に「システムの実行中に更新できないファイルまたはサービスを、セットアップで更新する必要があります。続行する場合は、セットアップを完了するために再起動が必要となります。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。
- アンインストールが完了したら、Windows を再起動してください。



# マカフィー リブセーフ

[063000-21]

概要	249
使用上の注意	250
インストール	253
アンインストール	253

## 概要

マカフィー リブセーフは、リアルタイムのウイルス対策とマルウェア対策、迷惑メール対策、双方向ファイアウォールの脆弱性対策、保護者機能などを搭載した包括的なセキュリティソフトウェアです。機能の詳細、操作方法、制限事項、および最新情報については、以下をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法

マカフィー リブセーフのヘルプとサポート（マカフィー リブセーフを起動して、ホーム画面の右上にある「ヘルプ」ボタンをクリック）

定期的にウイルスを検索するスケジュール スキャン、ネットワークや外付けドライブを経由したウイルスの侵入を常に見張る機能やウイルスを駆除する機能などがあります。



#### チェック

マカフィー リブセーフのヘルプやサポート情報などを確認するには、インターネットに接続して行います。

### ●動作環境、制限事項に関する情報

試用期間は、初めてマカフィー リブセーフをセットアップした時点から 60 日間になります。60 日間は無料で試用することができますが、試用期間が終了するとウイルス定義ファイル(DAT)、ウイルス検索エンジンを含む製品のアップデートを行なうことができなくなります。

マカフィー リブセーフのすべての機能を引き続きご利用になる場合は、マカフィー リブセーフを購入する必要があります。

購入に関する詳細な情報は以下のホームページをご覧ください。

<http://www.mcafee.com>



#### チェック

試用期間の終了後もウイルス定義ファイル・ウイルス検索エンジンによる本体でのウイルス検索は、引き続き行なうことができます。ただし、試用期間の終了後に発見されたウイルスに対して検出・駆除が実施されませんのでご注意ください。

### ●マカフィー リブセーフの最新の情報

<http://www.mcafee.com>



### チェック

- マカフィー リブセーフに関する緊急アップデート等の重要な製品情報が掲載されますので、マカフィーのホームページにて定期的に最新情報を確認することをおすすめします。
- コンピュータウイルスを検出した場合は、『メンテナンスとアフターケアについて』をご覧ください。

## 起動方法



### チェック

インストール後、初めてお使いになる場合は、起動時に使用許諾契約が表示されます。内容を確認し「承諾」ボタンをクリックしてください。再び起動すると、機能を紹介する画面が表示されます。

**1 「スタート」ボタン (  ) をクリック**

**2 「マカフィー」をクリック**

**3 「マカフィーリブセーフ - インターネットセキュリティ」をクリック**

マカフィー リブセーフの画面が表示されます。

## 使用上の注意

### マカフィー リブセーフについて

パソコンのデータと Web 閲覧を保護するために、マカフィーセキュリティ対策の最新の更新をインストールしてください。

新しいウイルス、ハッカーの攻撃など、パソコンやデータはオンライン脅威に常にさらされています。セキュリティ対策の更新により、新しいウイルス、スパイウェアなどの脅威を阻止するだけでなく、マカフィーソフトウェアの機能強化もインストールすることができます。



### チェック

- マカフィー リブセーフの更新やクラウドを使用したウイルスチェックなどはインターネットに接続して行います。インターネットに接続のために必要なインターネット接続料金や電話料金などがかかります。特に携帯電話など、インターネット接続を従量制で契約されている場合は通信料金にご注意ください。
- インターネットに接続していない場合は、パソコンに保存されている情報をもとにウイルスチェックを行うため、最新の情報でない場合があります。
- コンピュータ全体のバックアップを定期的に作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまった場合にも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

## アップデートについて

新たに発生する脅威からパソコンを保護するために、マカフィーソフトウェアを常に最新の状態にしてください。



## チェック

- マカフィーソフトウェアを購入して登録すると、更新が自動的に確認され、インストールされます。
- マカフィー リブセーフの更新は、インターネットに接続して行います。

### ◆更新の確認

自動更新が有効になっている場合でも、更新を確認することができます。更新を確認するときは、次の手順で行います。

#### 1 「セキュリティを管理する」→「マカフィー 更新」をクリック

#### 2 「更新の確認」をクリック



## メモ

通知領域にあるマカフィーのアイコンを右クリックして「更新の確認」を選択しても、更新を確認することができます。

### ◆更新オプションの選択

自動更新では、新しいウイルスやスパイウェアなどの脅威に対する保護機能だけでなく、マカフィーソフトウェアの機能強化もインストールされます。また、更新の方法を手動で変更することができます。更新オプションを選択するときは、次の手順で行います。

#### 1 「セキュリティを管理する」→「マカフィー 更新」をクリック

#### 2 「更新の設定」をクリック

#### 3 自動更新の取得方法を選択する

- 「更新を自動的にダウンロードしてインストールする。」
- 「更新をダウンロードするが、インストール前に通知する。」
- 「更新が使用可能になったら通知する。」

#### 4 「適用」をクリック

### ◆自動更新の有効/無効の設定

自動更新は、次の手順で有効または無効にすることができます。



## チェック

更新を受信することで、新たに発生する脅威からパソコンを保護することができるため、自動更新を無効にしないことをおすすめします。

#### 1 「セキュリティを管理する」→「マカフィー 更新」をクリック

## 2 「更新の設定」をクリック

## 3 「有効にする」または「無効にする」をクリック

### スケジュール スキャンについて

スケジュール スキャンを設定すると、パソコンを定期的にスキャンし、ウイルス、スパイウェアなどの脅威を確認することができます。

次の手順で、スケジュール スキャンを設定してください。

## 1 「セキュリティを管理する」→「ウイルスおよびスパイウェア対策」をクリック

## 2 「スケジュール スキャン」をクリック

## 3 「スケジュール スキャン」で、ステータスが「無効」の場合は「有効にする」をクリック

## 4 「スキャン スケジュールの設定」をクリックし、スキャンのスケジュールを選択する



### チェック

独自のスキャンスケジュールを設定する場合は、「独自のスキャン スケジュールを作成する」を選択し、スキャンを開始する週/曜日/時刻を選択してください。

## 5 スキャン中のパソコンのリソース消費を最小限にするには、「最小限のコンピューターリソースを使用してスキャンを実行する」にチェックを付ける

## 6 パソコンのバッテリー消費を最小限にするには、「電源プラグ使用時にのみスキャンを開始する」にチェックを付ける

## 7 「適用」をクリック

以上でスケジュール スキャンの設定は終了です。

### ファイル/フォルダのセキュリティ監視について

アプリケーションのインストール、アンインストール、または使用中に警告を受けたときは、対象のアプリケーションが安全なものであることを確認した上で、マカフィー リブセーフのヘルプをご覧ください。スキャン対象外に設定してください。

## ボリューム削除時のウィンドウについて

---

「ディスクの管理」より「ボリュームの削除」を行うと、ボリューム使用中を表す警告ウィンドウが表示される場合がありますが動作に影響はありません。

警告ウィンドウが表示された場合は、「はい」 ボタンをクリックしてください。

### ■ インストール

インストールする場合は、「[アプリケーションのインストール \(P. 214\)](#)」を参照してください。

### ■ アンインストール

アンインストールする場合は、「[アプリケーションのアンインストール \(P. 218\)](#)」を参照してください。

## 概要

メモを自由に書き込んで保存できる電子ノートの Windows ストア アプリです。工場出荷時にプリインストールされています。

機能の詳細、操作方法については、以下をご覧ください。

## 起動方法

---

**1** 「スタート」 ボタン (  ) をクリック

---

**2** 「OneNote」 をクリック

「OneNote」 の画面が表示されます。

---

# パーティション設定ツール

[064600-21]

▶ 概要.....	255
▶ 使用上の注意.....	255
▶ インストール.....	255
▶ アンインストール.....	255

## 概要

パーティションのサイズ変更や分割、結合などを行うことができます。

### ●機能の詳細や操作方法

#### ●パーティション設定ツールのヘルプ

**1** 「パーティション設定ツール」を起動する

**2** ホーム画面の右上にあるヘルプボタンをクリックする

## 起動方法

**1** 「スタート」ボタン (  ) をクリック

**2** 「NEC Personal Computers, Ltd」をクリック

**3** 「パーティション設定ツール」をクリック

パーティション設定ツールの画面が表示されます。

## 使用上の注意

- パーティション設定ツールをご利用する時は、ACアダプタを接続してください。
- あらかじめデータのバックアップをしてください。パーティションの変更の仕方によっては、データが失われる場合（ボリュームの削除等）があります。万が一に備えて、データのバックアップをしておくことをお勧めします。

## インストール

インストールする場合は、「アプリケーションのインストール (P. 214)」を参照してください。

## アンインストール

アンインストールする場合は、「アプリケーションのアンインストール (P. 218)」を参照してください。

# HD 革命/Eraser Ark シュレッダー

[064900-21]

概要	256
使用上の注意	256
インストール	257
アンインストール	257

## 概要

HD 革命/Eraser Ark シュレッダーは Windows を使用中に生成され、その後に不要となったデータやファイル・フォルダーを完全に抹消するためのソフトウェアです。

機能の詳細、操作方法については、以下をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法、制限事項

ヘルプ (HD 革命/Eraser Ark シュレッダーを起動し、「メニューマップ」→「サポート情報」→「HD 革命/Eraser Ark シュレッダー ヘルプ」をクリック)

## 起動方法

### 1 「スタート」ボタン ( ) をクリック

### 2 「アーク革命シリーズ」をクリック

### 3 「Ark ランチャー」をクリック

HD 革命/Eraser Ark シュレッダーの画面が表示されます。

## 使用上の注意

- 抹消したデータは復旧用ソフトウェアでは復元できません。抹消するデータは十分に注意して選択してください。
- ファイルのサイズ、ハードウェアの速度によっては抹消に大変時間がかかることがあります。ノート型コンピューターをご利用の場合はバッテリー切れ防止のため AC アダプタを使用してください。
- 抹消中にコンピューターの電源を切ったりリセットボタンを押したりすると、データが不完全な状態で残ってしまう場合があります。
- HD 革命/Eraser Ark シュレッダーは、BitLocker で保護されているドライブの抹消には非対応となります。(抹消を実行することはできませんが、ディスクへの書き込みは BitLocker により暗号化されます。実際のディスクには暗号化後のデータが書き込まれますのでご注意ください。)
- DeviceLock Lite でデバイスへの書き込みを制限していると、そのデバイス上のデータの抹消ができません。(抹消を実行すると、抹消できなかったデータを示す画面が表示されます。)  
デバイス上のデータを抹消する場合は、DeviceLock Lite でそのデバイスへの書き込み制限を解除してください。



## ■ インストール

インストールする場合は、「[アプリケーションのインストール \(P. 214\)](#)」を参照してください。

## ■ アンインストール

アンインストールする場合は、「[アプリケーションのアンインストール \(P. 218\)](#)」を参照してください。

# トラブル解決 Q&A

---

[100000-21]

▶ 電源.....	259
▶ バッテリ.....	261
▶ タッチパネル.....	266
▶ 表示.....	268
▶ ファイル保存.....	272
▶ LAN 機能.....	275
▶ 無線 LAN 機能.....	277
▶ サウンド.....	279
▶ 印刷.....	282
▶ SSD.....	284
▶ 光学ドライブ.....	286
▶ 周辺機器.....	290
▶ Bluetooth 機能.....	292
▶ アプリケーション.....	295
▶ 再セットアップ.....	302
▶ その他.....	304

[100100-21]

- 「パスワードが正しくありません。入力し直してください。」と表示された..... 260


Q : 「パスワードが正しくありません。入力し直してください。」と表示された

---

[100106-21]

**A : キャップスロックキーランプ (  ) の状態を確認し、もう一度パスワードを入力してください。**

---

キャップスロックの状態によって、入力される文字が異なり、パスワードを正しく入力できない場合があります。キャップスロックキーランプ (  ) でキャップスロックオン/オフを切り替えて、もう一度パスワードを入力してください。

キャップスロックのオン/オフは【Shift】 + 【Caps Lock】で切り替えることができます。



参照

表示ランプについて

「本機の機能」の「各部の名称」 - 「表示ランプ (P. 32)」

**A : ユーザー名を確認し、もう一度パスワードを入力してください。**

---

選択したユーザー名を確認し、選択したユーザーのパスワードをもう一度正しく入力してください。

## Q&A : バッテリ

---

[100300-21]

- 本機に AC アダプタを取り付け、AC コンセントに接続してもバッテリーの充電が始まらない. . . . . 262
- タスク バーの通知領域に電源アイコンが表示されない. . . . . 263
- 満充電したのに、バッテリー充電ランプが点灯する. . . . . 264
- バッテリー充電ランプが点滅する. . . . . 265

## Q : 本機に AC アダプタを取り付け、AC コンセントに接続してもバッテリーの充電が始まらない

---

[100301-21]

### A : バッテリー充電ランプを確認してください。

---

- **バッテリー充電ランプが点滅している場合**

バッテリーにエラーが発生しています。AC アダプタを取り外し、取り付けなおしてください。

それでもエラーが発生する場合は、バッテリーの交換が必要です。

バッテリーの交換については、121 コンタクトセンターまたはビジネス PC 修理受付センターにご相談ください。

- **バッテリー充電ランプが消灯している場合**

バッテリーが満充電、または満充電に近い状態の可能性があります。そのような状態では、充電が始まらない場合があります。

## Q : タスク バーの通知領域に電源アイコンが表示されない

[100302-01]

A : 次の手順で設定してください。

**1** 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

**2** 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「タスク バーとナビゲーション」をクリック  
「タスク バー」画面が表示されます。

**3** 「通知領域」の「タスク バーに表示するアイコンを選択してください」をクリック

**4** 「電源」をオンにする

## Q : 満充電したのに、バッテリー充電ランプが点灯する

---

[100303-21]

A : 故障ではありません。バッテリーは少しずつ自然放電しているため、それを補充するため、本機に AC アダプタを取り付け、AC コンセントに接続しているときは自動的に充電が始まります。

---



## Q : バッテリー充電ランプが点滅する

---

[100304-21]

**A : 電源を切り、AC アダプタを取り外してからもう一度正しく取り付けなおしてください。**

---

AC アダプタを取り付けなおしても直らない場合は、バッテリーの寿命ですので、バッテリーの交換が必要です。バッテリーの交換については、121 コンタクトセンターまたはビジネス PC 修理受付センターにご相談ください。

## Q&A : タッチパネル

---

[102800-21]

- タッチした位置と反応する位置がずれる、タッチパネルに反応しない領域がある..... 267

## Q：タッチした位置と反応する位置がずれる、タッチパネルに反応しない領域がある

---

[102802-21]

### A：タッチパネルの設定をリセットしてみてください。

---

タッチパネルの設定をリセットし、ご購入時の状態に戻してみてください。

タッチパネルの設定をリセットしても、問題が解決しない場合は、本機の故障が考えられます。ご購入元に相談するか、NECにご相談ください。



#### 参照

- **タッチパネルの設定のリセットについて**  
「本機の機能」の「タッチパネル」 - 「タッチパネルの設定」 - 「タッチパネル操作時の表示、画面の回転に関する設定をする (P. 75)」
- **NECのお問い合わせ先について**  
『保証規定 & 修理に関するご案内』

[100600-21]

- ▶ 外部ディスプレイで画面が流れるように表示される. . . . . 269
- ▶ デスクトップ上のアイコンの名前が隠れてしまう. . . . . 270
- ▶ タブレット スタイルで本体を回転させても画面が自動的に回転しない. . . . . 271

## Q : 外部ディスプレイで画面が流れるように表示される

---

[100611-21]

**A : お使いのディスプレイのディスプレイ情報ファイルを最新のものに更新してください。**

---

一部の DDC 対応ディスプレイにおいて、ディスプレイ情報ファイルがないためにディスプレイの同期がとれず、画面が流れるように表示される場合があります。

この場合には、ディスプレイ製造元より最新のディスプレイ情報ファイルを入手し、セットアップしてください。

## Q : デスクトップ上のアイコンの名前が隠れてしまう

---

[100621-01]

### A : 「アイコンの自動整列」を有効にしてください。

---

画面の解像度やアイコンサイズを変更した場合、デスクトップ上のアイコンの名前が一部隠れてしまうことがあります。そのような場合は、次の手順で「アイコンの自動整列」を有効にしてください。

#### 1 デスクトップの何も無い場所を右クリック

---

#### 2 「表示」の「アイコンの自動整列」を有効にする

---

## Q : タブレット スタイルで本体を回転させても画面が自動的に回転しない

[100624-21]

### A : 自動回転機能をオンにしてください。

次の手順で自動回転機能をオンにしてください。

**1** 「アクション センター (P. 17)」を表示する

**2**  をタップ



参照

自動回転機能について

「本機の機能」の「液晶ディスプレイ」 - 「画面の回転 (P. 101)」

## Q&A : ファイル保存

---

[100800-21]

- ▶ はじめに確認してください..... 273
- ▶ DVD、CD にデータを書き込めない（保存できない）..... 274



# はじめに確認してください

---

[100801-21]

## DeviceLock で光学ドライブの機能を制限していないか確認してください。

---

DeviceLock は周辺機器の使用を制限するアプリケーションです。

DeviceLock をインストールしている場合は、DeviceLock 管理コンソールを表示し、設定を確認してください。



### 参照

#### DeviceLock について

「便利な機能とアプリケーション」の「[DeviceLock Lite \(P. 231\)](#)」

Q : DVD、CD にデータを書き込めない（保存できない）

---

[101711-01]

A : 「光学ドライブ」の「はじめに確認してください (P. 287)」の内容をご確認ください。

---

[100900-21]

▶ 動作が不安定になった.....	276
-------------------	-----

## Q : 動作が不安定になった

---

[100904-01]

**A : LAN に接続して通信中にスリープ状態や休止状態にすると、本機が正常に動作しなくなる場合があります。**

---

LAN に接続して通信中にスリープ状態や休止状態にすると、本機が正常に動作しなくなる場合があります。通信中にスリープ状態や休止状態にしないでください。

Windows の電源プランで自動的にスリープ状態になる設定をしている場合は、設定を解除してください。

## Q&A : 無線 LAN 機能

---

[101000-21]

- ④ 「ネットワーク」上のコンピュータのアイコンをダブルクリックしても内容が表示されない. . . . . 278

Q : 「ネットワーク」上のコンピュータのアイコンをダブルクリックしても内容が表示されない

---

[101004-20]

A : 相手のコンピュータに共有しているフォルダやプリンタなどが無い可能性があります。

---

相手のコンピュータ上で共有化したいフォルダやプリンタを共有する設定にしてください。

[101200-21]

- ▶ HDMI 接続した機器から音声が出力されない. . . . . 280

## Q : HDMI 接続した機器から音声が出力されない

[101209-21]

### A : HDMI の映像が正しく表示されているか確認してください。

映像が正しく表示されていない場合は、テレビや外部ディスプレイとの接続、設定を確認してください。

### A : 接続している機器が、HDMI の音声出力のサンプリングレートに対応しているか確認してください。

次の手順で確認してください。

#### 1 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

#### 2 「ハードウェアとサウンド」をクリック

#### 3 「サウンド」をクリック

「サウンド」が表示されます。



#### チェック

「インテル(R) ディスプレイ用オーディオ」にチェックが付いていない場合は、チェックを付けて「既定値に設定」をクリックしてください。

#### 4 「再生」タブをクリック

#### 5 「インテル(R) ディスプレイ用オーディオ」をクリックし、「プロパティ」をクリック

#### 6 「詳細」タブをクリック

#### 7 「既定の形式」欄の設定が接続先の機器に対応していることを確認する



#### 参照

対応しているサンプリングレートについて  
接続している機器のマニュアル



## A : 音声の出力設定を確認してください。

音声を、本機のスピーカやヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャックから出力する設定になっている場合、HDMI 接続で音声は出力されません。

HDMI 接続で音声を出力するには、次の手順で出力先を設定してください。

**1** 「コントロール パネル (P. 11)」を表示する

**2** 「ハードウェアとサウンド」をクリック

**3** 「サウンド」をクリック

「サウンド」が表示されます。

**4** 「再生」タブをクリック

**5** 「インテル(R) ディスプレイ用オーディオ」をクリックし、「既定値に設定」をクリック

**6** 手順 5 で選択した項目にチェックが付いていることを確認し、「OK」をクリック

A : I/O 制限で、HDMI コネクタの接続を使用不可に設定していないか確認してください。



参照

I/O 制限について

「本機の機能」の「セキュリティ機能」 - 「I/O 制限 (P. 198)」

[101300-21]

- ▶ PDF 形式のマニュアルがうまく印刷できない..... 283

## Q : PDF 形式のマニュアルがうまく印刷できない

---

[101302-00]

**A : 白抜きの文字やグラデーション、図形などがうまく印刷できない場合は次の対処方法を試してみてください。**

- Acrobat Reader DC の「印刷」ダイアログボックスの「詳細設定」ボタンをクリックして、「画像として印刷」にチェックを付けるか、プリンタのプロパティの中から「きれい」、「高品位」などを選択する
- プリンタドライバを最新のものにする
- プリンタが複数ある場合は、印刷先を別のプリンタに切り替え、同様に試してみる

[101600-21]

- 領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない. . . . . 285

## Q : 領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

---

[101604-21]

### A : 計算方法の違いによるもので、故障ではありません。

---

カタログなどに記載されている SSD の容量は、1MB=1,000,000 バイトで計算しています。これに対し、SSD を領域作成するときには、1MB=1,024×1,024=1,048,576 バイトで計算しているため、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。

GB（ギガバイト）についても、同様の記述となっています。

### A : SSD に、システム復旧時に必要なデータなどを格納する領域があるためです。

---

本機の SSD には、Windows の起動や復旧に必要なファイルを格納するため、約 2GB の容量が確保されています。そのため、使用可能な容量がその領域の分だけ少なくなります。

この領域にあるデータは削除しないでください。

## Q&A : 光学ドライブ

---

[101700-21]

- ▶ はじめに確認してください. . . . . 287
- ▶ DVD、CD にデータを書き込めない（保存できない）. . . . . 288
- ▶ ドライブ文字がおかしい. . . . . 289

# はじめに確認してください

[101718-21]

## 光学ドライブの接続を確認してください。

USB 接続の光学ドライブを使用するモデルをお使いの場合、光学ドライブが正しく取り付けられているかどうか確認してください。

## DeviceLock で光学ドライブを制限していないか確認してください。

DeviceLock は周辺機器の使用を制限するアプリケーションです。  
DeviceLock をインストールしている場合は、設定を確認してください。



参照

**DeviceLock について**

「便利な機能とアプリケーション」の「DeviceLock Lite (P. 231)」

## ディスクが正しくセットされているか確認してください。

セットされている DVD、CD の表裏を確認して、光学ドライブのディスクトレイ中心の軸に、きちんとセットしてください。



参照

**光学ドライブ使用上の注意**

「本機の機能」の「光学ドライブ (P. 127)」

## 本機のドライブで使用できるディスクを確認してください。

お使いのモデルにより光学ドライブで使えるディスクは異なります。使用できるディスクについては、「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。

<http://121ware.com/support/>

Q : DVD、CD にデータを書き込めない（保存できない）

---

[101711-01]

A : 「光学ドライブ」の「はじめに確認してください (P. 287)」の内容をご確認ください。

---



## Q：ドライブ文字がおかしい

---

[101715-01]

**A：周辺機器を接続したままスリープ状態や休止状態にすると、光学ドライブのドライブ文字が変更される場合があります。**

---

このような場合は、Windows を再起動してください。

[101800-21]

- ▶ はじめに確認してください..... 291

# はじめに確認してください

[101803-21]

## お使いの周辺機器が、本機や Windows 10 に対応しているか確認してください。

周辺機器によっては、本機や Windows 10 で動作しないものや、別途 Windows 10 に対応したドライバが必要なものがあります。

## 周辺機器が正しく接続されているか確認してください。

コネクタやネジが緩んだり外れたりしていないか、接続が正しく行われているか確認してください。



### 参照

#### 周辺機器の接続について

周辺機器に添付のマニュアル

## 周辺機器の取り付け／取り外し時には、「高速スタートアップ」の機能を無効にしてください。

周辺機器によっては、周辺機器の取り付け／取り外し時に「高速スタートアップ」の機能を無効にする必要があります。工場出荷時の設定では「高速スタートアップ」の機能が有効になっています。



### 参照

#### 「高速スタートアップ」の機能を無効にする

「本機の機能」の「電源の入れ方と切り方」 - 「高速スタートアップ」について (P. 35)」

## DeviceLock で無効に設定していないか確認してください。

DeviceLock は周辺機器の使用を制限するアプリケーションです。

DeviceLock をインストールしている場合は、DeviceLock 管理コンソールを起動し、該当する周辺機器を無効に設定していないか確認してください。



### 参照

#### DeviceLock について

「便利な機能とアプリケーション」の「DeviceLock Lite (P. 231)」

▶ はじめに確認してください.....	293
---------------------	-----

# はじめに確認してください

[102601-21]

## Bluetooth 機能がオンになっていることを確認してください。



### 参照

#### Bluetooth 機能のオン/オフについて

「本機の機能」の「Bluetooth 機能」 - 「Bluetooth 機能のオン/オフ (P. 192)」

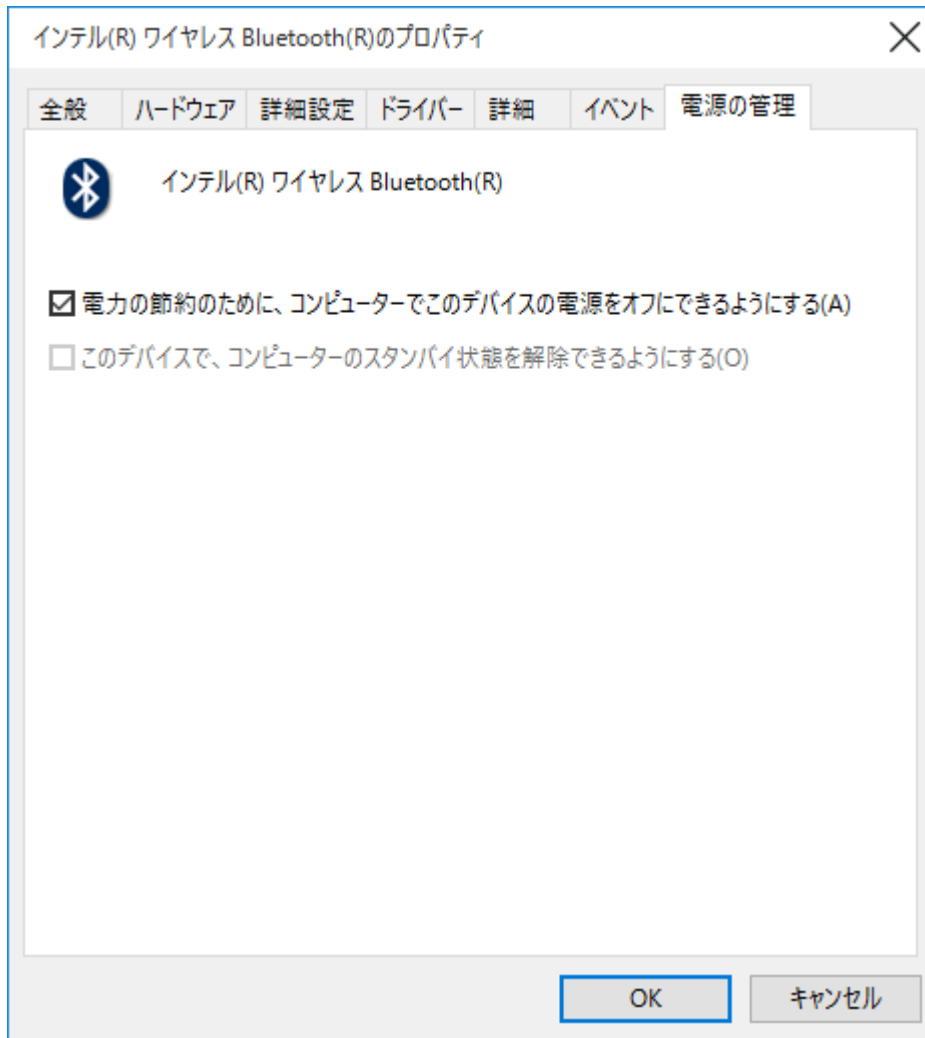
Bluetooth 機能を「デバイス マネージャー」でオンにしているにも関わらず、Bluetooth 機能が使用できない場合（「デバイス マネージャー」で Bluetooth に「！」が付くなど）は、ワイヤレススイッチ（【Fn】 + 【F2】）で Bluetooth 機能をオフにして、再度オンにしてみてください。

## Bluetooth 機能を一定時間使用していなくても通信が切れないようにするには、「電源の管理」の設定を変更してください。

Bluetooth 機器を一定時間使用していない場合、通信が切れて動作しなくなることがあります。

Bluetooth 機器を一定時間使用していなくても通信が切れないようにするには、次の手順に従って「電源の管理」の設定を変更してください。

- 1 「デバイス マネージャー (P. 11)」を開く
- 2 「Bluetooth」をダブルクリック
- 3 「インテル(R) ワイヤレス Bluetooth(R)」をダブルクリック
- 4 「電源の管理」タブをクリック
- 5 「電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」のチェックを外す



#### メモ

画面はモデルによって異なります。

## 6 「OK」 ボタンをクリック

## Q&A : アプリケーション

---

[101900-21]

- ▶ はじめに確認してください. . . . . 296
- ▶ アプリケーションをインストールできない. . . . . 297
- ▶ アプリケーションを強制的に終了させたい. . . . . 298
- ▶ アプリケーションが本機で使用できるか知りたい. . . . . 299
- ▶ 使用している Windows への対応が明記されていない Windows 用アプリケーションを使用したい. . . . . 300
- ▶ Internet Explorer、関連製品に関するサポート技術情報について知りたい. . . . . 301

## はじめに確認してください

---

[101902-21]

### お使いのアプリケーションが、本機や Windows 10 に対応しているか確認してください。

---

アプリケーションによっては、本機や Windows 10 で動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

### お使いのアプリケーションが、使用している Windows 10 に対応しているか確認してください。

---

32 ビット版のアプリケーションも使用可能ですが、アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。アプリケーションのマニュアルで確認してください。

### 本機のドライブで使用できるディスクを確認してください。

---

お使いのモデルにより光学ドライブで使えるディスクは異なります。使用できるディスクについては、「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。

<http://121ware.com/support/>



## Q : アプリケーションをインストールできない

[101908-01]

### A : 権限を制限されたユーザーでサインインしていないか確認してください。

本機を複数の人で使用している場合は、管理者によってユーザーの設定できる項目に制限がかけられている場合があります。

このような場合は、管理者に依頼して制限を解除してもらるか、または管理者 (Administrator) 権限を持つユーザーでサインインしてアプリケーションのインストールを行う必要があります。

### A : ユーザー名に環境依存文字を使用していないか確認してください。

ユーザー名に環境依存文字を使用していると、アプリケーションによっては正しく動作しない場合があります。

### A : アプリケーションのインストール先が SSD 以外のドライブになっていないか確認してください。

SSD にインストールして使用するアプリケーションのインストール先が SSD 以外のドライブになっていた場合は、インストール先を SSD に変えて、インストールしなおしてください。

### A : アプリケーションを新しくインストールするときに、SSD に一定の空き領域が必要な場合があります。

アプリケーションを新しくインストールするときに、SSD に一定の空き領域が必要な場合があります。アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。SSD に必要な空き領域を確認してください。

SSD の空き領域が足りない場合は、空き領域のある他のドライブにインストールしてください。



#### メモ

アプリケーションによっては、必要最低限の機能だけをインストールしたり、使用する機能だけを選択してインストールすることで、必要な空き容量を減らせる場合があります。

## Q : アプリケーションを強制的に終了させたい

[101909-21]

**A : アプリケーションがフリーズするなどの異常を起こしていて、電源が切れないなどの問題が起きている場合、次の方法で異常を起こしているアプリケーションを強制的に終了してください。**



### チェック

この方法でアプリケーションを終了させると、保存していないデータは消えてしまうことがあります。

1

【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】 を 1 回押す

2

「タスク マネージャー」をクリック

3

「詳細」をクリック

4

「プロセス」タブをクリック

5

「状態」のところに「応答なし」と表示されているタスク（アプリケーション）をクリックし、「タスクの終了」ボタンをクリック

この場合、アプリケーションで編集していたデータは保存できません。



### チェック

「状態」が表示されていない場合は、「名前」を右クリックして、表示されるメニューから「状態」をクリックしてください。

この方法で異常を起こしていたアプリケーションが終了できた場合は、「本機の機能」の「電源」 - 「電源の入れ方と切り方」の手順で電源を切ってください。



### 参照

#### 正しい電源の入れ方と切り方

「本機の機能」の「電源」 - 「電源の入れ方と切り方 (P. 34)」

## Q : アプリケーションが本機で使用できるか知りたい

---

[101910-00]

**A : アプリケーションのカタログなどで必要な動作環境を確認するか、製造元に確認してください。**

---

アプリケーションが必要とする動作環境は、アプリケーションによって異なります。アプリケーションのカタログなどで必要な動作環境について確認するか、アプリケーションの製造元に確認してください。

## Q: 使用している Windows への対応が明記されていない Windows 用アプリケーションを使用したい

---

[101911-01]

### A : アプリケーションの製造元に確認してください。

---

Windows 10 への対応が明記されていない、Windows 用アプリケーションが使用できるかどうかは、アプリケーションによって異なります。

アプリケーションの製造元に確認してください。アプリケーションの使用についての情報や、使用に必要なアップデートプログラムなどが入手できる場合があります。

## Q : Internet Explorer、関連製品に関するサポート技術情報について知りたい

---

[101913-01]

**A : Internet Explorer、その関連製品に関するサポート技術情報は、次の手順で調べることができます。**

---

**1** インターネットに接続する

---

**2** Internet Explorer を表示し、【Alt】 を押し、「ヘルプ」 → 「Internet Explorer ヘルプ」 をクリック

---

Microsoft 社のサポートページが表示されます。この後は、そのページの説明に従って操作してください。

## Q&A : 再セットアップ

---

[102000-21]

- ▶ 「再セットアップをすることはできません。」と表示される..... 303

Q : 「再セットアップをすることはできません。」 と表示される

---

[102001-01]

A : 本機の機種情報が書き換わっている可能性があります。

---

ご購入元、または NEC にお問い合わせください。



参照

NEC のお問い合わせ先について

『保証規定 & 修理に関するご案内』

[102100-21]

- ▶ クリップなどの異物が本体内部に入ってしまった..... 305



## Q : クリップなどの異物が本体内部に入ってしまった

---

[102102-20]

A : 異物が入り込んでしまった場合は、すぐに電源を切って AC アダプタを取り外し、ご購入元にお問い合わせください。

---



### チェック

そのままお使いになると、発煙、発火や故障の原因になります。

[130000-00]

▶ 仕様一覧.....	307
-------------	-----

# 仕様一覧

---

[130100-00]

本機の仕様に関する詳細情報は、「仕様一覧」に記載しております。



## メモ

「仕様一覧」をご覧になるには、インターネットへの接続環境が必要です。

「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。

<http://121ware.com/support/>

## 活用ガイド

### UltraLite タイプVN

---

第2版 2017年 3月

©NEC Personal Computers, Ltd. 2017

NECパーソナルコンピュータ株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。

---